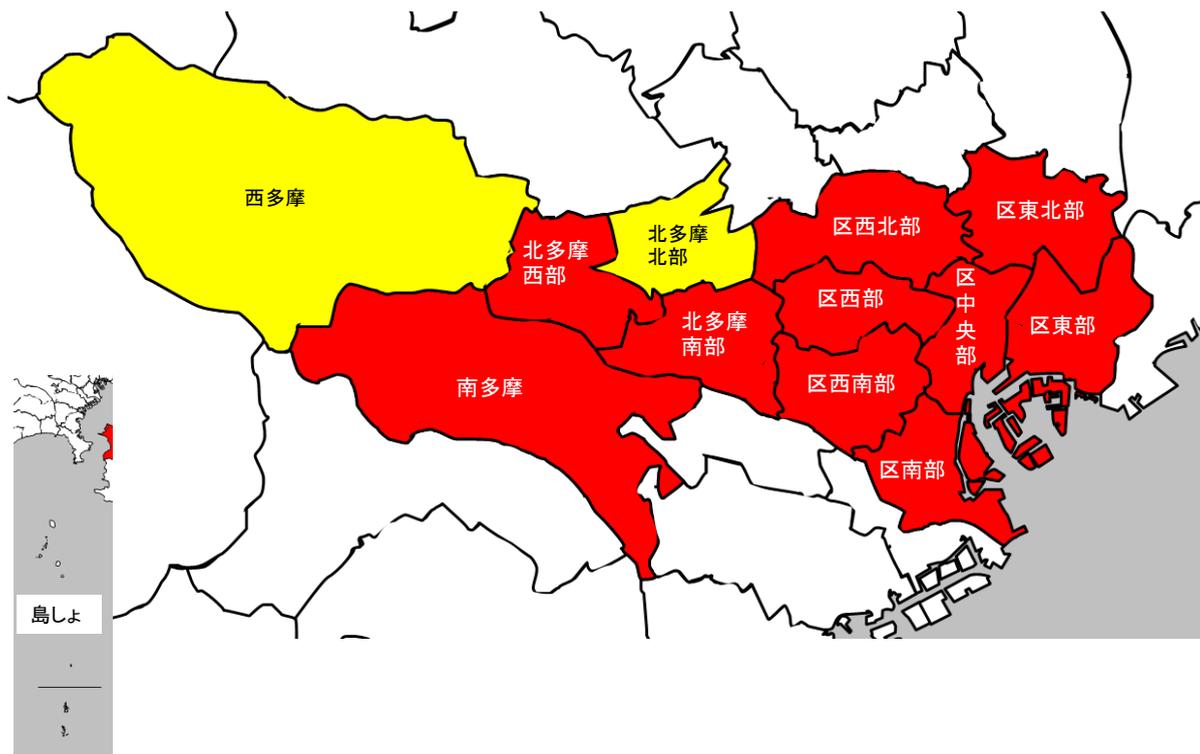


# 13. 東京都



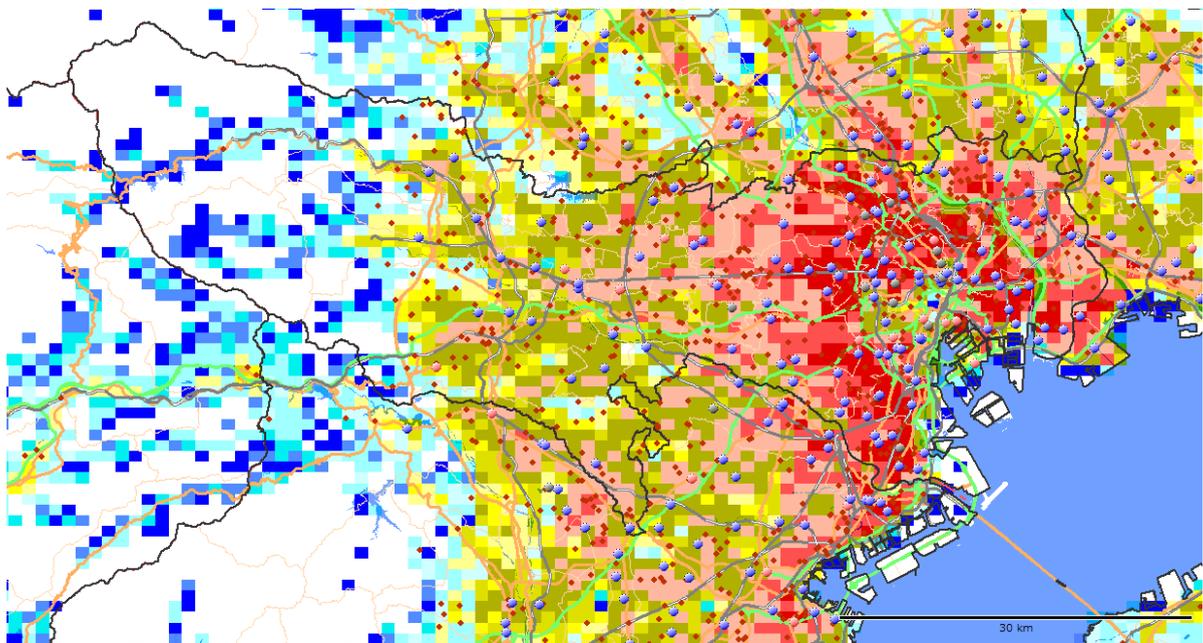
## 13. 東京都（2016年版）

### 目次

東京都	13	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	13	-	8
1. 区中央部医療圏	13	-	26
2. 区南部医療圏	13	-	31
3. 区西南部医療圏	13	-	36
4. 区西部医療圏	13	-	41
5. 区西北部医療圏	13	-	46
6. 区東北部医療圏	13	-	51
7. 区東部医療圏	13	-	56
8. 西多摩医療圏	13	-	61
9. 南多摩医療圏	13	-	66
10. 北多摩西部医療圏	13	-	71
11. 北多摩南部医療圏	13	-	76
12. 北多摩北部医療圏	13	-	81
13. 島しょ医療圏	13	-	86

# 13. 東京都

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （東京都） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 東京都は、総人口約13349千人（2015年推計）、面積2178km<sup>2</sup>、人口密度は6130人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 東京都の総人口は2025年に13179千人へと減少し（2015年比-1%）、2040年に12308千人へと減少する（2025年比-7%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の1473千人が、2025年にかけて1977千人へと増加し（2015年比+34%）、2040年には2139千人へと増加する（2025年比+8%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 東京都の一人当たり医療費（国保）は285千円（偏差値42）、介護給付費は252千円（偏差値50）であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 東京都の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が59（病院医師数56、診療所医師数64）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 東京都の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、127489人（75歳以上1000人当たりの偏差値42）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が68071床（偏差値39）、高齢者住宅等が59418床（偏差値51）である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員（介護施設等）の合計は、89336人（75歳以上1000人当たりの偏差値36）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム61、軽費ホーム45、グループホーム40、サ高住44である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、20821人（75歳以上1000人当たりの偏差値51）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-50%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

東京都の総人口は、2005年12576601人が、2015年に13349453人と6%増加し、2025年の人口が13178672人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

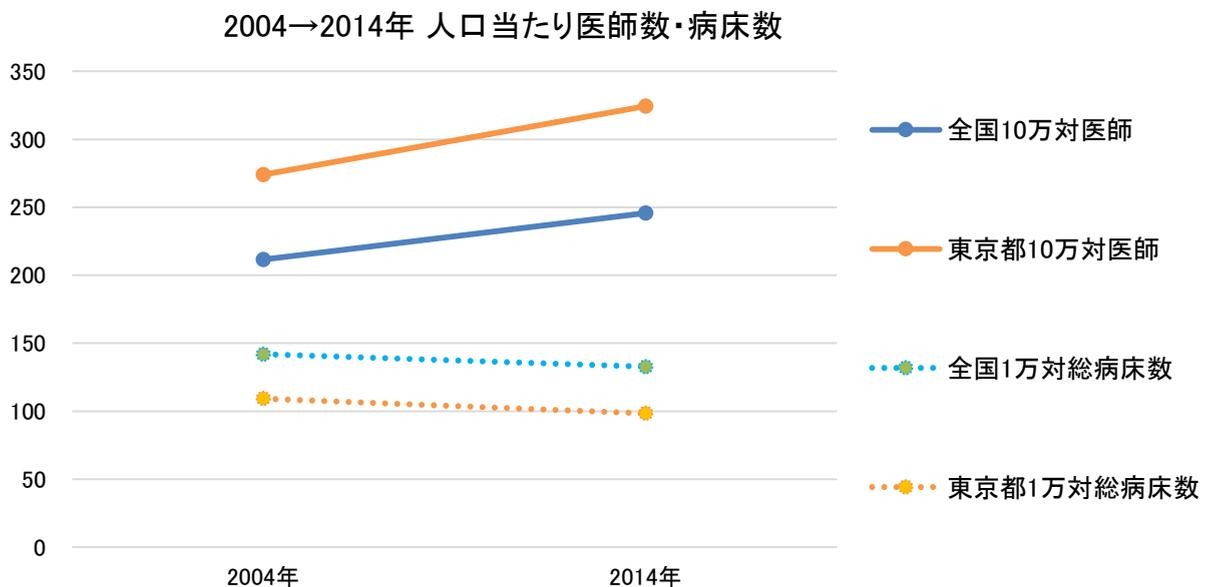
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が665(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に642(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で23病院が減少した。

2004年の診療所数が12197(人口10万人当たり97診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に12780(人口10万人当たり96診療所(全国平均79)偏差値58)と、583診療所が増加した。

2004年の総病床数が137402床(人口1万人当たり109(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に131395床(人口1万人当たり98(全国平均133)偏差値44)と、6007床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

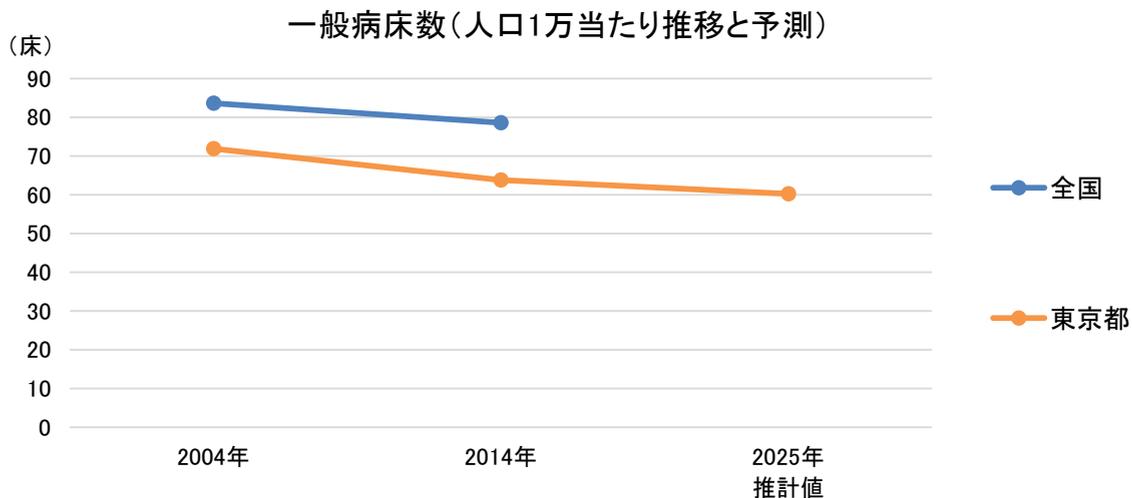
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が34463人(人口10万人当たり274人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に43297人(人口10万人当たり324人(全国平均246人)偏差値58)と、8834人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



### 13. 東京都（2016年版）

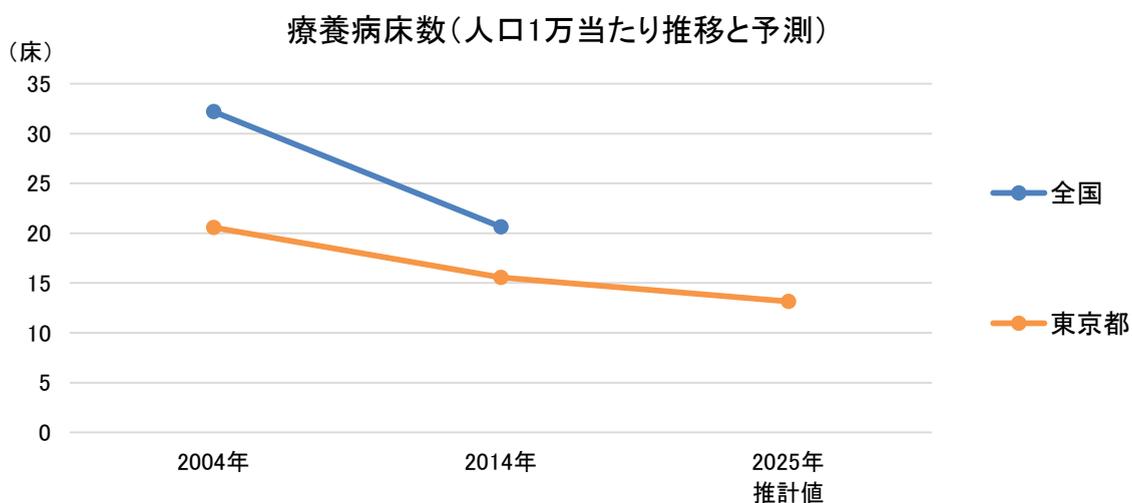
#### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が90472床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に85206床(人口1万人当たり64(全国平均79)偏差値45)と、5266床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には79413床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



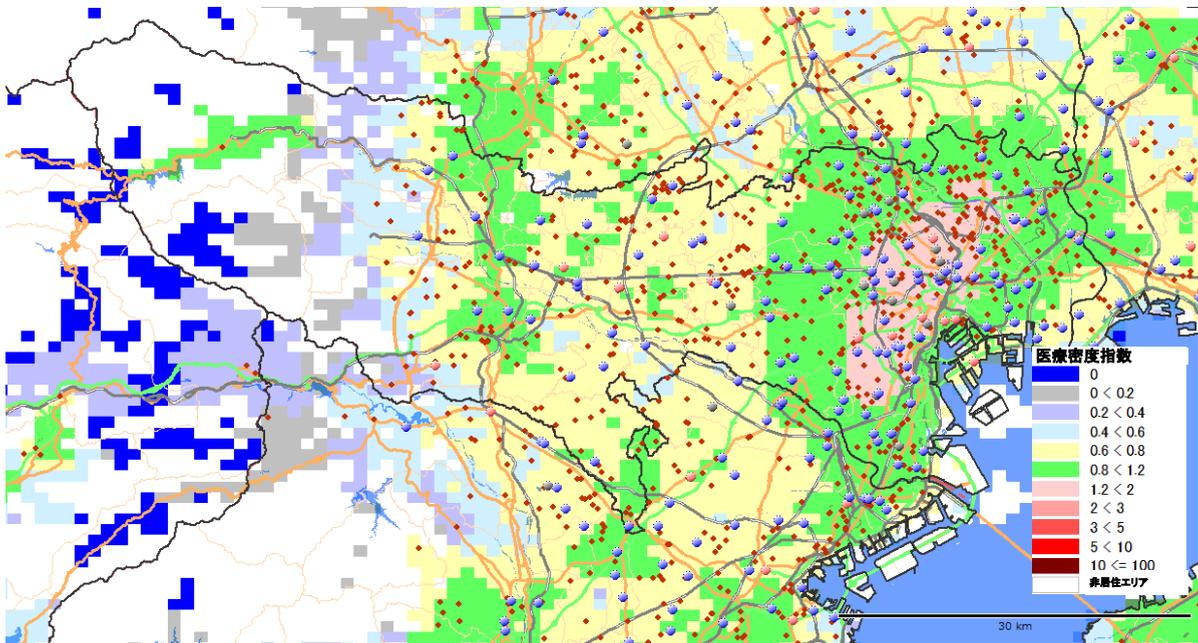
#### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が20102床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に22912床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、2810床の増加、率にして14%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には26004床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

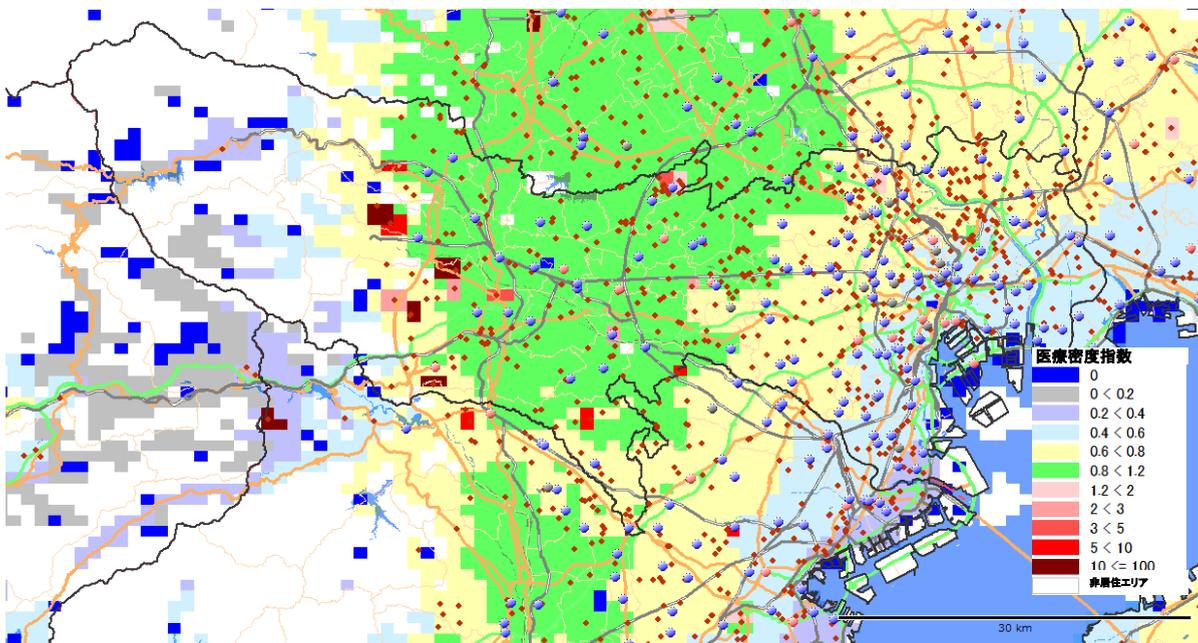


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-2 慢性期医療密度指数マップ



13. 東京都 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 13-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
東京都	13,349	1位	2,178	45位	6,129.5		23%	13,179	12,308	1,473	1,977	2,139	-1%	-7%	34%	8%
区中央部	792	6%	64	3%	12,455.3	大都市型	20%	796	758	77	100	117	1%	-5%	30%	17%
区南部	1,078	8%	82	4%	13,118.4	大都市型	22%	1,074	1,016	113	151	158	0%	-5%	34%	5%
区西南部	1,371	10%	88	4%	15,604.2	大都市型	21%	1,361	1,282	144	185	216	-1%	-6%	28%	17%
区西部	1,196	9%	68	3%	17,629.1	大都市型	24%	1,165	1,067	143	184	200	-3%	-8%	29%	9%
区西北部	1,923	14%	114	5%	16,876.2	大都市型	24%	1,902	1,771	221	304	340	-1%	-7%	38%	12%
区東北部	1,313	10%	98	5%	13,368.9	大都市型	25%	1,244	1,098	157	197	190	-5%	-12%	25%	-4%
区東部	1,412	11%	103	5%	13,649.4	大都市型	21%	1,433	1,403	131	176	191	1%	-2%	34%	9%
西多摩	388	3%	573	26%	676.7	地方都市型	27%	362	310	48	66	66	-7%	-14%	38%	0%
南多摩	1,447	11%	325	15%	4,459.7	大都市型	25%	1,441	1,353	162	241	252	0%	-6%	49%	5%
北多摩西部	649	5%	90	4%	7,187.3	大都市型	24%	638	590	72	101	108	-2%	-8%	40%	7%
北多摩南部	1,019	8%	96	4%	10,633.9	大都市型	22%	1,017	965	110	149	172	0%	-5%	35%	15%
北多摩北部	736	6%	77	4%	9,608.0	大都市型	25%	724	674	90	118	126	-2%	-7%	31%	7%
島しょ	27	0%	401	18%	66.6	過疎地域型	33%	23	19	4	5	4	-15%	-17%	25%	-20%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 13-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
東京都	0.91	0.62	-38.4%	-49.7%
区中央部	1.19	0.45	-74.2%	-102.9%
区南部	1.05	0.36	-89.6%	-99.1%
区西南部	1.06	0.43	-63.7%	-91.2%
区西部	1.00	0.57	-118.0%	-136.4%
区西北部	0.96	0.66	-68.2%	-88.0%
区東北部	1.05	0.54	-29.7%	-24.9%
区東部	0.87	0.31	-50.3%	-62.4%
西多摩	0.69	1.84	45.5%	46.0%
南多摩	0.70	1.01	-18.9%	-24.3%
北多摩西部	0.75	0.77	-50.0%	-59.3%
北多摩南部	0.71	0.53	-37.6%	-59.3%
北多摩北部	0.69	0.81	-25.2%	-34.7%
島しょ	0.18	0.37	-21.8%	-8.9%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 13-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
東京都	285	42	0.981	252	50
区中央部	269	38	0.964	283	58
区南部	311	48	1.034	257	51
区西南部	266	37	0.957	285	58
区西部	258	35	0.951	275	56
区西北部	282	41	0.980	262	52
区東北部	293	44	0.999	259	51
区東部	293	44	0.999	229	43
西多摩	286	42	0.909	205	37
南多摩	298	45	0.943	222	41
北多摩西部	287	42	0.941	230	44
北多摩南部	282	41	0.944	251	49
北多摩北部	296	44	0.962	243	47
島しょ	306	47	0.987	267	54
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 13-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
東京都	642	7.6%	4.8	45	12,780	12.7%	96	58
区中央部	51	8%	6.4	49	2,111	17%	267	146
区南部	42	7%	3.9	43	998	8%	93	57
区西南部	50	8%	3.6	43	1,670	13%	122	72
区西部	43	7%	3.6	42	1,401	11%	117	69
区西北部	95	15%	4.9	46	1,625	13%	85	53
区東北部	86	13%	6.6	50	934	7%	71	46
区東部	53	8%	3.8	43	1,030	8%	73	47
西多摩	30	5%	7.7	53	250	2%	65	42
南多摩	77	12%	5.3	47	956	7%	66	43
北多摩西部	25	4%	3.9	43	487	4%	75	48
北多摩南部	48	7%	4.7	45	828	6%	81	51
北多摩北部	41	6%	5.6	47	468	4%	64	42
島しょ	1	0%	3.7	43	22	0%	82	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

13. 東京都 (2016年版)

資\_図表 13-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
東京都	12,780	12.7%	96	58	12,349	13.4%	93	60	431	5.2%	3.2	45
区中央部	2,111	17%	267	146	2,072	17%	262	150	39	9%	4.9	47
区南部	998	8%	93	57	967	8%	90	59	31	7%	2.9	44
区西南部	1,670	13%	122	72	1,621	13%	118	74	49	11%	3.6	45
区西部	1,401	11%	117	69	1,352	11%	113	71	49	11%	4.1	46
区西北部	1,625	13%	85	53	1,560	13%	81	54	65	15%	3.4	45
区東北部	934	7%	71	46	889	7%	68	47	45	10%	3.4	45
区東部	1,030	8%	73	47	988	8%	70	49	42	10%	3.0	45
西多摩	250	2%	65	42	235	2%	61	44	15	3%	3.9	46
南多摩	956	7%	66	43	918	7%	63	45	38	9%	2.6	44
北多摩西部	487	4%	75	48	470	4%	72	50	17	4%	2.6	44
北多摩南部	828	6%	81	51	807	7%	79	53	21	5%	2.1	43
北多摩北部	468	4%	64	42	457	4%	62	44	11	3%	1.5	42
島しょ	22	0%	82	52	13	0%	49	37	9	2%	33.7	91
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 13-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
東京都	127,110	8.1%	952	44	4,285	3.8%	32	45	131,395	7.8%	984	44
区中央部	13,566	11%	1,714	59	315	7%	40	45	13,881	11%	1,754	58
区南部	7,993	6%	741	40	297	7%	28	44	8,290	6%	769	40
区西南部	10,883	9%	794	41	399	9%	29	44	11,282	9%	823	41
区西部	10,579	8%	885	43	393	9%	33	45	10,972	8%	917	43
区西北部	17,121	13%	890	43	592	14%	31	45	17,713	13%	921	43
区東北部	10,412	8%	793	41	581	14%	44	46	10,993	8%	837	41
区東部	8,184	6%	580	37	546	13%	39	45	8,730	7%	618	37
西多摩	6,712	5%	1,732	60	155	4%	40	45	6,867	5%	1,772	58
南多摩	17,487	14%	1,208	49	404	9%	28	44	17,891	14%	1,236	48
北多摩西部	4,487	4%	692	39	181	4%	28	44	4,668	4%	720	39
北多摩南部	11,206	9%	1,100	47	214	5%	21	44	11,420	9%	1,121	46
北多摩北部	8,426	7%	1,145	48	144	3%	20	43	8,570	7%	1,165	47
島しょ	54	0%	202	29	64	1%	240	64	118	0%	442	34
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 13-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
東京都	81,125	9.1%	608	46	22,708	6.9%	170	46	22,612	6.7%	169	46
区中央部	12,629	16%	1,596	89	585	3%	74	41	304	1%	38	40
区南部	6,283	8%	583	45	1,512	7%	140	44	178	1%	17	39
区西南部	7,858	10%	573	44	1,681	7%	123	44	1,307	6%	95	42
区西部	8,731	11%	730	51	1,489	7%	125	44	315	1%	26	39
区西北部	10,126	12%	527	42	3,643	16%	189	47	3,320	15%	173	46
区東北部	6,863	8%	523	42	2,055	9%	157	45	1,453	6%	111	43
区東部	6,800	8%	482	40	1,159	5%	82	42	165	1%	12	38
西多摩	1,789	2%	462	39	2,297	10%	593	66	2,622	12%	677	69
南多摩	6,256	8%	432	38	3,962	17%	274	51	7,227	32%	499	61
北多摩西部	3,285	4%	506	41	1,133	5%	175	46	63	0%	10	38
北多摩南部	6,185	8%	607	46	1,449	6%	142	44	3,465	15%	340	53
北多摩北部	4,268	5%	580	45	1,743	8%	237	49	2,193	10%	298	51
島しょ	52	0%	195	28	0	0%	0	38	0	0%	0	38
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 13-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
東京都	5,409	7.7%	41	47	2,350	6.5%	18	47
区中央部	201	4%	25	44	252	11%	32	49
区南部	332	6%	31	45	261	11%	24	48
区西南部	462	9%	34	45	257	11%	19	47
区西部	433	8%	36	46	274	12%	23	48
区西北部	1,042	19%	54	50	291	12%	15	46
区東北部	646	12%	49	49	158	7%	12	45
区東部	414	8%	29	44	296	13%	21	47
西多摩	210	4%	54	50	45	2%	12	45
南多摩	495	9%	34	45	132	6%	9	45
北多摩西部	306	6%	47	48	199	8%	31	49
北多摩南部	476	9%	47	48	107	5%	11	45
北多摩北部	392	7%	53	49	70	3%	10	45
島しょ	0	0%	0	38	8	0%	30	49
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

13. 東京都（2016年版）

資\_図表 13-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
東京都	42,969	36,039	2,190	85,340	46,713	19,966	43.6%	46	9.9%	50
区中央部	8,817	8,427	220	4,981	4,439	365	65.5%	55	37.6%	62
区南部	1,788	1,645	93	6,434	4,761	1,393	25.7%	39	6.3%	49
区西南部	6,399	4,839	278	4,570	2,899	1,646	62.5%	54	14.4%	52
区西部	2,827	2,365	380	7,744	6,374	1,093	27.1%	40	25.8%	57
区西北部	3,481	2,997	72	13,890	7,370	3,502	28.9%	40	2.0%	47
区東北部	827	646	164	9,642	6,249	1,933	9.4%	32	7.8%	49
区東部	3,663	3,587	30	4,253	3,092	982	53.7%	51	3.0%	47
西多摩	1,231	1,177	0	5,491	1,007	1,902	53.9%	51	0.0%	46
南多摩	3,247	2,358	0	14,363	4,071	3,863	36.7%	44	0.0%	46
北多摩西部	1,966	1,781	116	2,443	1,437	1,006	55.3%	51	10.3%	51
北多摩南部	3,785	2,764	44	7,411	3,610	1,281	43.4%	46	3.3%	48
北多摩北部	4,886	3,401	793	4,118	1,404	1,000	70.8%	58	44.2%	65
島しょ	52	52	0	0	0	0	100.0%	70		
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 13-10 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
東京都	324,576	11.5%	2,431	52	97,992	9.6%	734	47
区中央部	91,596	28%	11,572	138	10,164	10%	1,284	67
区南部	25,308	8%	2,348	51	5,616	6%	521	40
区西南部	31,956	10%	2,330	51	11,760	12%	857	52
区西部	33,540	10%	2,804	55	10,404	11%	870	52
区西北部	28,032	9%	1,458	43	11,040	11%	574	42
区東北部	16,560	5%	1,262	41	9,348	10%	712	47
区東部	29,292	9%	2,074	49	10,404	11%	737	48
西多摩	5,616	2%	1,449	43	2,160	2%	557	41
南多摩	19,956	6%	1,379	42	9,204	9%	636	44
北多摩西部	9,348	3%	1,441	43	4,392	4%	677	45
北多摩南部	24,768	8%	2,431	52	8,280	8%	813	50
北多摩北部	8,604	3%	1,169	40	5,184	5%	704	46
島しょ	0	0%	0	29	36	0%	135	26
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 13-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
東京都	47,250	13.9%	354	59	27,556	13.1%	206	56	19,694	15.1%	148	64
区中央部	10,712	23%	1,353	167	6,705	24%	847	152	4,007	20%	506	174
区南部	3,606	8%	334	57	2,116	8%	196	55	1,491	8%	138	61
区西南部	4,989	11%	364	60	2,594	9%	189	53	2,395	12%	175	72
区西部	6,350	13%	531	78	3,961	14%	331	75	2,389	12%	200	80
区西北部	5,385	11%	280	51	3,157	11%	164	50	2,228	11%	116	54
区東北部	2,936	6%	224	45	1,440	5%	110	42	1,496	8%	114	53
区東部	3,248	7%	230	46	1,668	6%	118	43	1,580	8%	112	53
西多摩	794	2%	205	43	511	2%	132	45	283	1%	73	41
南多摩	2,998	6%	207	43	1,569	6%	108	41	1,428	7%	99	49
北多摩西部	1,384	3%	213	44	677	2%	104	41	708	4%	109	52
北多摩南部	3,272	7%	321	56	2,209	8%	217	58	1,063	5%	104	50
北多摩北部	1,536	3%	209	43	943	3%	128	44	592	3%	81	43
島しょ	41	0%	154	38	6	0%	22	29	35	0%	132	59
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 13-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
東京都	2,513	16.0%	18.8	60	1,836	14.7%	13.8	59	1,523	14.6%	11.4	58
区中央部	674	27%	85.2	158	284	15%	35.9	107	370	24%	46.7	151
区南部	173	7%	16.0	55	116	6%	10.8	52	109	7%	10.1	55
区西南部	256	10%	18.7	59	263	14%	19.2	70	199	13%	14.5	66
区西部	416	17%	34.8	83	241	13%	20.2	72	222	15%	18.6	77
区西北部	280	11%	14.6	53	207	11%	10.8	52	168	11%	8.7	51
区東北部	130	5%	9.9	46	122	7%	9.3	49	75	5%	5.7	43
区東部	131	5%	9.3	45	133	7%	9.4	49	120	8%	8.5	51
西多摩	37	1%	9.5	46	22	1%	5.7	41	16	1%	4.1	39
南多摩	137	5%	9.5	46	121	7%	8.4	47	76	5%	5.3	42
北多摩西部	58	2%	8.9	45	63	3%	9.7	50	36	2%	5.5	43
北多摩南部	153	6%	15.0	54	203	11%	19.9	72	102	7%	10.0	55
北多摩北部	68	3%	9.2	45	60	3%	8.2	46	28	2%	3.8	38
島しょ	0	0%	0	32	1	0%	3.7	37	2	0%	7.5	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

13. 東京都 (2016年版)

資\_図表 13-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
東京都	834	15.8%	6.2	60	1,378	14.7%	10.3	59	1,050	14.1%	7.9	58
区中央部	185	22%	23.4	140	286	21%	36.1	139	208	20%	26.3	128
区南部	77	9%	7.1	64	108	8%	10.0	58	96	9%	8.9	62
区西南部	107	13%	7.8	67	165	12%	12.0	64	121	12%	8.8	61
区西部	126	15%	10.5	80	195	14%	16.3	78	140	13%	11.7	72
区西北部	92	11%	4.8	53	187	14%	9.7	57	130	12%	6.8	53
区東北部	41	5%	3.1	45	95	7%	7.2	49	71	7%	5.4	48
区東部	49	6%	3.5	47	91	7%	6.4	47	88	8%	6.2	51
西多摩	7	1%	1.8	39	15	1%	3.9	39	10	1%	2.6	37
南多摩	57	7%	3.9	49	72	5%	5.0	42	58	6%	4.0	43
北多摩西部	21	3%	3.2	46	45	3%	6.9	49	22	2%	3.4	40
北多摩南部	52	6%	5.1	54	79	6%	7.8	51	75	7%	7.4	56
北多摩北部	20	2%	2.7	43	40	3%	5.4	44	31	3%	4.2	44
島しょ	0	0%	0	30	0	0%	0	27	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 13-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
東京都	1,146	13.8%	8.6	56	2,639	12.9%	19.8	55	1,651	10.7%	12.4	51
区中央部	222	19%	28.0	111	747	28%	94.4	159	280	17%	35.4	102
区南部	47	4%	4.4	44	196	7%	18.2	53	145	9%	13.4	53
区西南部	147	13%	10.7	62	213	8%	15.5	49	168	10%	12.2	50
区西部	142	12%	11.9	65	377	14%	31.5	72	201	12%	16.8	60
区西北部	165	14%	8.6	56	276	10%	14.4	48	230	14%	12.0	50
区東北部	63	5%	4.8	45	169	6%	12.9	45	121	7%	9.2	44
区東部	49	4%	3.5	41	192	7%	13.6	46	137	8%	9.7	45
西多摩	18	2%	4.6	45	32	1%	8.3	39	25	2%	6.5	37
南多摩	100	9%	6.9	51	136	5%	9.4	41	114	7%	7.9	41
北多摩西部	22	2%	3.4	41	69	3%	10.6	42	55	3%	8.5	42
北多摩南部	106	9%	10.4	61	154	6%	15.1	49	120	7%	11.8	49
北多摩北部	65	6%	8.8	56	74	3%	10.1	42	54	3%	7.3	39
島しょ	0	0%	0	31	4	0%	15.0	48	1	0%	3.7	31
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 13-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
東京都	627	11.0%	4.7	51	742	11.6%	5.6	52	703	13.3%	5.3	54
区中央部	142	23%	17.9	115	164	22%	20.7	116	235	33%	29.7	136
区南部	58	9%	5.4	54	69	9%	6.4	56	48	7%	4.5	51
区西南部	68	11%	5.0	52	78	11%	5.7	53	63	9%	4.6	51
区西部	94	15%	7.9	66	104	14%	8.7	65	107	15%	8.9	66
区西北部	69	11%	3.6	46	81	11%	4.2	47	58	8%	3.0	46
区東北部	25	4%	1.9	37	31	4%	2.4	39	18	3%	1.4	41
区東部	42	7%	3.0	43	45	6%	3.2	42	35	5%	2.5	44
西多摩	13	2%	3.4	44	8	1%	2.1	37	10	1%	2.6	45
南多摩	41	7%	2.8	42	57	8%	3.9	45	28	4%	1.9	42
北多摩西部	23	4%	3.5	45	25	3%	3.9	45	21	3%	3.2	47
北多摩南部	36	6%	3.5	45	56	8%	5.5	52	60	9%	5.9	56
北多摩北部	16	3%	2.2	39	24	3%	3.3	43	20	3%	2.7	45
島しょ	0	0%	0	28	0	0%	0	29	0	0%	0	36

出典 平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月

資\_図表 13-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
東京都	859	13.1%	6.4	54	245	15.9%	1.8	57	441	13.4%	3.3	54
区中央部	238	28%	30.1	130	77	31%	9.7	142	90	20%	11.4	101
区南部	75	9%	7.0	56	18	7%	1.7	55	24	5%	2.2	48
区西南部	82	10%	6.0	53	26	11%	1.9	57	42	10%	3.1	53
区西部	124	14%	10.4	67	34	14%	2.8	68	58	13%	4.8	63
区西北部	83	10%	4.3	47	26	11%	1.4	51	48	11%	2.5	49
区東北部	39	5%	3.0	43	4	2%	0.3	40	19	4%	1.4	43
区東部	56	7%	4.0	46	17	7%	1.2	50	29	7%	2.1	47
西多摩	17	2%	4.4	47	4	2%	1.0	48	5	1%	1.3	42
南多摩	34	4%	2.3	41	11	4%	0.8	45	44	10%	3.0	53
北多摩西部	19	2%	2.9	43	8	3%	1.2	50	26	6%	4.0	58
北多摩南部	72	8%	7.1	56	14	6%	1.4	52	42	10%	4.1	59
北多摩北部	20	2%	2.7	42	6	2%	0.8	46	13	3%	1.8	45
島しょ	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	0%	3.7	57

出典 平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月

13. 東京都（2016年版）

資\_図表 13-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
東京都	386	19.5%	2.9	61	269	11.4%	2.0	51
区中央部	125	32%	15.8	167	31	12%	3.9	66
区南部	28	7%	2.6	58	26	10%	2.4	54
区西南部	42	11%	3.1	62	32	12%	2.3	54
区西部	66	17%	5.5	82	37	14%	3.1	59
区西北部	46	12%	2.4	57	33	12%	1.7	49
区東北部	11	3%	0.8	44	14	5%	1.1	44
区東部	12	3%	0.8	44	23	9%	1.6	48
西多摩	2	1%	0.5	41	3	1%	0.8	42
南多摩	12	3%	0.8	44	19	7%	1.3	46
北多摩西部	10	3%	1.5	50	14	5%	2.2	52
北多摩南部	29	8%	2.8	61	20	7%	2.0	51
北多摩北部	3	1%	0.4	40	17	6%	2.3	53
島しょ	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 13-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
東京都	96,309	8.8%	721	45	79,013	8.7%	592	45	17,296	8.8%	130	46
区中央部	15,961	17%	2,016	90	12,491	16%	1,578	86	3,470	20%	438	88
区南部	6,467	7%	600	41	5,393	7%	500	41	1,074	6%	100	42
区西南部	9,376	10%	684	44	7,644	10%	557	44	1,732	10%	126	46
区西部	10,012	10%	837	49	8,079	10%	676	48	1,933	11%	162	51
区西北部	11,921	12%	620	41	9,918	13%	516	42	2,003	12%	104	43
区東北部	6,772	7%	516	38	5,256	7%	400	37	1,517	9%	116	45
区東部	7,058	7%	500	37	5,513	7%	390	37	1,544	9%	109	44
西多摩	2,859	3%	738	45	2,512	3%	648	47	347	2%	89	41
南多摩	8,873	9%	613	41	7,576	10%	523	42	1,297	7%	90	41
北多摩西部	3,654	4%	563	39	2,890	4%	445	39	764	4%	118	45
北多摩南部	8,237	9%	808	48	7,376	9%	724	50	861	5%	85	40
北多摩北部	4,996	5%	679	43	4,336	5%	589	45	659	4%	90	41
島しょ	124	0%	463	36	30	0%	112	25	94	1%	351	76
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 13-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
東京都	8,726	7.3%	65	44	46,343	16.1%	347	62
区中央部	551	6%	70	45	13,424	29%	1,696	201
区南部	592	7%	55	42	3,686	8%	342	62
区西南部	797	9%	58	43	4,161	9%	303	58
区西部	848	10%	71	45	4,543	10%	380	66
区西北部	1,349	15%	70	45	5,000	11%	260	53
区東北部	786	9%	60	43	2,572	6%	196	47
区東部	646	7%	46	41	3,048	7%	216	49
西多摩	333	4%	86	48	652	1%	168	44
南多摩	1,038	12%	72	46	3,354	7%	232	50
北多摩西部	439	5%	68	45	1,421	3%	219	49
北多摩南部	767	9%	75	46	2,712	6%	266	54
北多摩北部	578	7%	79	47	1,747	4%	237	51
島しょ	2	0%	7	33	23	0%	86	36
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 13-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
東京都	1,530	10.4%	1.0	53	97	8.7%	0.1	50	910	9.5%	0.6	52
区中央部	186	12%	2.4	83	3	3%	0.0	45	64	7%	0.8	63
区南部	143	9%	1.3	58	5	5%	0.0	46	77	8%	0.7	55
区西南部	203	13%	1.4	61	4	4%	0.0	44	117	13%	0.8	63
区西部	177	12%	1.2	58	7	7%	0.0	47	83	9%	0.6	50
区西北部	256	17%	1.2	56	18	19%	0.1	52	125	14%	0.6	49
区東北部	128	8%	0.8	48	18	19%	0.1	57	95	10%	0.6	51
区東部	119	8%	0.9	50	8	8%	0.1	49	74	8%	0.6	49
西多摩	19	1%	0.4	39	5	5%	0.1	56	26	3%	0.5	48
南多摩	101	7%	0.6	44	13	13%	0.1	52	86	9%	0.5	47
北多摩西部	43	3%	0.6	44	5	5%	0.1	50	43	5%	0.6	51
北多摩南部	95	6%	0.9	49	7	7%	0.1	49	68	7%	0.6	52
北多摩北部	57	4%	0.6	44	4	4%	0.0	46	52	6%	0.6	50
島しょ	3	0%	0.7	45	0	0%	0	39	0	0%	0	18
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

13. 東京都 (2016年版)

資\_図表 13-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
東京都	127,489	7.8%	87	42	68,071	6.9%	46	39	59,418	9.1%	40	51
区中央部	4,993	4%	64	29	2,945	4%	38	33	2,048	3%	26	41
区南部	7,725	6%	68	31	3,193	5%	28	25	4,532	8%	40	50
区西南部	10,622	8%	74	35	4,038	6%	28	25	6,584	11%	46	54
区西部	7,927	6%	55	24	3,628	5%	25	23	4,299	7%	30	44
区西北部	17,496	14%	79	38	8,915	13%	40	35	8,581	14%	39	50
区東北部	15,076	12%	96	48	8,102	12%	52	44	6,974	12%	44	53
区東部	10,117	8%	77	37	5,574	8%	42	36	4,543	8%	35	47
西多摩	10,039	8%	209	116	8,843	13%	184	149	1,196	2%	25	40
南多摩	18,226	14%	113	58	9,504	14%	59	49	8,722	15%	54	60
北多摩西部	6,743	5%	94	47	3,873	6%	54	45	2,870	5%	40	50
北多摩南部	9,511	7%	87	43	4,163	6%	38	33	5,348	9%	49	56
北多摩北部	8,678	7%	96	48	4,966	7%	55	46	3,712	6%	41	51
島しょ	336	0%	75	35	327	0%	73	60	9	0%	2	25
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 13-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
東京都	20,296	5.6%	14	36	42,338	7.6%	29	45	5,437	8.0%	3.7	49
区中央部	789	4%	10	29	2,057	5%	27	43	99	2%	1.3	43
区南部	670	3%	6	22	2,130	5%	19	35	393	7%	3.5	48
区西南部	1,099	5%	8	25	2,568	6%	18	34	371	7%	2.6	46
区西部	868	4%	6	22	2,565	6%	18	34	195	4%	1.4	43
区西北部	3,036	15%	14	36	5,070	12%	23	39	809	15%	3.7	49
区東北部	3,115	15%	20	46	4,549	11%	29	45	438	8%	2.8	47
区東部	2,328	11%	18	43	3,060	7%	23	40	186	3%	1.4	43
西多摩	1,315	6%	27	59	6,680	16%	139	156	848	16%	17.7	83
南多摩	2,541	13%	16	39	5,651	13%	35	51	1,312	24%	8.1	60
北多摩西部	1,369	7%	19	45	2,444	6%	34	50	60	1%	0.8	42
北多摩南部	1,597	8%	15	37	2,239	5%	20	37	327	6%	3.0	47
北多摩北部	1,569	8%	17	42	2,998	7%	33	50	399	7%	4.4	51
島しょ	0	0%	0	11	327	1%	73	89	0	0%	0	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 13-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
東京都	37,245	16.7%	25.3	61	630	2.8%	0.4	45	8,948	4.7%	6.1	40
区中央部	1,332	4%	17.2	54	118	19%	1.5	51	428	5%	5.5	39
区南部	2,661	7%	23.5	60	110	17%	1.0	48	825	9%	7.3	42
区西南部	4,379	12%	30.5	66	0	0%	0	43	956	11%	6.7	41
区西部	2,957	8%	20.7	57	170	27%	1.2	49	779	9%	5.4	39
区西北部	5,483	15%	24.8	61	0	0%	0	43	1,215	14%	5.5	39
区東北部	3,420	9%	21.8	58	60	10%	0.4	45	1,150	13%	7.3	42
区東部	3,085	8%	23.5	60	88	14%	0.7	47	1,040	12%	7.9	43
西多摩	551	1%	11.5	48	0	0%	0	43	180	2%	3.8	36
南多摩	6,066	16%	37.5	73	30	5%	0.2	44	842	9%	5.2	39
北多摩西部	1,336	4%	18.6	55	14	2%	0.2	44	384	4%	5.3	39
北多摩南部	3,947	11%	36.0	72	40	6%	0.4	45	574	6%	5.2	39
北多摩北部	2,028	5%	22.5	59	0	0%	0	43	566	6%	6.3	41
島しょ	0	0%	0	37	0	0%	0	43	9	0%	2.0	33
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 13-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)				サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
東京都	12,595	5.9%	8.6	44	1,366	10.5%	0.9	51	11,229	5.6%	7.6	43
区中央部	170	1%	2.2	34	0	0%	0	45	170	2%	2.2	34
区南部	936	7%	8.3	43	218	16%	1.9	57	718	6%	6.3	41
区西南部	1,249	10%	8.7	44	38	3%	0.3	47	1,211	11%	8.4	44
区西部	393	3%	2.7	35	0	0%	0	45	393	3%	2.7	35
区西北部	1,883	15%	8.5	43	290	21%	1.3	53	1,593	14%	7.2	42
区東北部	2,344	19%	14.9	53	0	0%	0	45	2,344	21%	14.9	54
区東部	330	3%	2.5	35	0	0%	0	45	330	3%	2.5	35
西多摩	465	4%	9.7	45	167	12%	3.5	67	298	3%	6.2	41
南多摩	1,784	14%	11.0	47	145	11%	0.9	51	1,639	15%	10.1	47
北多摩西部	1,136	9%	15.8	54	188	14%	2.6	61	948	8%	13.2	52
北多摩南部	787	6%	7.2	41	90	7%	0.8	50	697	6%	6.4	41
北多摩北部	1,118	9%	12.4	49	230	17%	2.6	61	888	8%	9.9	46
島しょ	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

13. 東京都（2016年版）

資\_図表 13-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
東京都	12,329	7.7%	8.4	44	8,123	6.9%	5.5	42	4,206	10.0%	2.9	53
区中央部	616	5%	8.0	42	349	4%	4.5	38	267	6%	3.4	60
区南部	813	7%	7.2	39	458	6%	4.0	35	356	8%	3.1	57
区西南部	1,270	10%	8.8	46	735	9%	5.1	40	535	13%	3.7	64
区西部	859	7%	6.0	34	477	6%	3.3	32	382	9%	2.7	51
区西北部	1,770	14%	8.0	43	1,190	15%	5.4	42	580	14%	2.6	51
区東北部	1,283	10%	8.2	43	823	10%	5.2	41	460	11%	2.9	54
区東部	998	8%	7.6	41	642	8%	4.9	39	355	8%	2.7	52
西多摩	765	6%	16.0	76	641	8%	13.4	78	124	3%	2.6	50
南多摩	1,567	13%	9.7	50	1,176	14%	7.3	50	391	9%	2.4	48
北多摩西部	605	5%	8.4	44	397	5%	5.5	42	208	5%	2.9	54
北多摩南部	941	8%	8.6	45	635	8%	5.8	44	306	7%	2.8	53
北多摩北部	822	7%	9.1	47	581	7%	6.4	47	242	6%	2.7	51
島しょ	19	0%	4.3	27	19	0%	4.3	37	0	0%	0	20
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 13-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
東京都	110,157	7.4%	75	38	89,336	7.1%	61	36	20,821	9.3%	14.1	51
区中央部	5,264	5%	68	32	3,917	4%	51	27	1,348	6%	17.4	57
区南部	6,907	6%	61	26	5,446	6%	48	25	1,461	7%	12.9	49
区西南部	9,569	9%	67	31	7,381	8%	51	28	2,188	11%	15.2	53
区西部	8,505	8%	59	25	6,401	7%	45	22	2,105	10%	14.7	52
区西北部	16,108	15%	73	36	12,548	14%	57	33	3,561	17%	16.1	55
区東北部	13,177	12%	84	45	10,382	12%	66	41	2,794	13%	17.8	58
区東部	9,764	9%	74	37	7,837	9%	60	35	1,927	9%	14.7	52
西多摩	7,339	7%	153	101	7,031	8%	147	111	308	1%	6.4	37
南多摩	12,940	12%	80	42	11,203	13%	69	44	1,737	8%	10.7	45
北多摩西部	5,517	5%	77	39	4,621	5%	64	39	896	4%	12.5	48
北多摩南部	7,824	7%	71	35	6,378	7%	58	34	1,447	7%	13.2	49
北多摩北部	6,882	6%	76	39	5,872	7%	65	40	1,010	5%	11.2	46
島しょ	360	0%	80	42	321	0%	71	46	39	0%	8.6	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 13-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
東京都	150,295	14.0%	102	62	52,331	12.7%	36	60	156,734	10.5%	106	55
区中央部	11,289	8%	146	76	4,179	8%	54	77	9,603	6%	124	61
区南部	12,515	8%	110	65	4,817	9%	42	66	11,485	7%	101	53
区西南部	23,060	15%	161	81	7,433	14%	52	75	17,397	11%	121	60
区西部	16,182	11%	113	66	4,779	9%	33	58	15,817	10%	111	56
区西北部	19,464	13%	88	58	6,328	12%	29	53	26,133	17%	118	59
区東北部	25,122	17%	160	81	4,649	9%	30	54	19,205	12%	122	60
区東部	9,811	7%	75	53	3,819	7%	29	54	14,078	9%	107	55
西多摩	1,709	1%	36	40	961	2%	20	45	2,279	1%	48	36
南多摩	12,481	8%	77	54	5,111	10%	32	56	13,889	9%	86	48
北多摩西部	5,382	4%	75	53	2,676	5%	37	61	6,213	4%	87	49
北多摩南部	7,731	5%	71	52	4,289	8%	39	63	11,331	7%	103	54
北多摩北部	5,373	4%	60	48	3,290	6%	37	61	8,959	6%	99	53
島しょ	176	0%	39	41	0	0%	0	27	345	0%	77	46

出典 平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 13-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
東京都		12,576,601	13,349,453	6%	13,178,672	5%	19%	6%	26%
区中央部	大都市型	680,856	791,535	16%	795,712	17%	20%	6%	28%
区南部	大都市型	1,012,031	1,078,073	7%	1,074,021	6%	16%	6%	23%
区西南部	大都市型	1,308,563	1,371,452	5%	1,361,068	4%	16%	6%	22%
区西部	大都市型	1,144,930	1,195,960	4%	1,164,925	2%	17%	5%	22%
区西北部	大都市型	1,796,419	1,922,706	7%	1,901,726	6%	21%	8%	30%
区東北部	大都市型	1,240,892	1,312,691	6%	1,243,907	0%	18%	1%	20%
区東部	大都市型	1,305,962	1,412,034	8%	1,432,511	10%	18%	6%	25%
西多摩	地方都市型	398,832	387,580	-3%	361,840	-9%	13%	4%	17%
南多摩	大都市型	1,364,453	1,447,255	6%	1,441,077	6%	24%	9%	35%
北多摩西部	大都市型	618,886	648,657	5%	638,003	3%	20%	7%	29%
北多摩南部	大都市型	968,714	1,018,936	5%	1,016,764	5%	18%	8%	27%
北多摩北部	大都市型	707,319	735,880	4%	723,675	2%	18%	6%	25%
島しょ	過疎地域型	28,744	26,694	-7%	23,443	-18%	2%	-4%	-2%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)  
<人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

13. 東京都（2016年版）

資\_図表 13-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
東京都	665	5.3	45	642	4.8	45	-23	-3%	617
区中央部	60	8.8	54	51	6.4	49	-9	-15%	41
区南部	47	4.6	44	42	3.9	43	-5	-11%	37
区西南部	56	4.3	43	50	3.6	43	-6	-11%	43
区西部	47	4.1	42	43	3.6	42	-4	-9%	39
区西北部	103	5.7	46	95	4.9	46	-8	-8%	86
区東北部	80	6.4	48	86	6.6	50	6	8%	93
区東部	51	3.9	42	53	3.8	43	2	4%	55
西多摩	29	7.3	50	30	7.7	53	1	3%	31
南多摩	76	5.6	46	77	5.3	47	1	1%	78
北多摩西部	23	3.7	41	25	3.9	43	2	9%	27
北多摩南部	47	4.9	44	48	4.7	45	1	2%	49
北多摩北部	45	6.4	48	41	5.6	47	-4	-9%	37
島しょ	1	3.5	41	1	3.7	43	0	0%	1
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 13-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
東京都	12,197	97	60	12,780	96	58	583	5%	13,421
区中央部	1,885	277	150	2,111	267	146	226	12%	2,360
区南部	1,016	100	62	998	93	57	-18	-2%	978
区西南部	1,557	119	71	1,670	122	72	113	7%	1,794
区西部	1,440	126	75	1,401	117	69	-39	-3%	1,358
区西北部	1,581	88	56	1,625	85	53	44	3%	1,673
区東北部	892	72	48	934	71	46	42	5%	980
区東部	914	70	47	1,030	73	47	116	13%	1,158
西多摩	253	63	44	250	65	42	-3	-1%	247
南多摩	911	67	45	956	66	43	45	5%	1,006
北多摩西部	469	76	50	487	75	48	18	4%	507
北多摩南部	796	82	53	828	81	51	32	4%	863
北多摩北部	465	66	45	468	64	42	3	1%	471
島しょ	18	63	43	22	82	52	4	22%	26
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 13-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
東京都	34,463	274	57	43,297	324	58	8,834	26%	53,017
区中央部	8,204	1,205	168	10,831	1,368	164	2,627	32%	13,721
区南部	2,749	272	57	3,286	305	56	537	20%	3,877
区西南部	3,676	281	58	4,412	322	58	736	20%	5,222
区西部	5,235	457	79	6,217	520	78	982	19%	7,297
区西北部	3,844	214	50	4,862	253	51	1,018	26%	5,982
区東北部	1,809	146	42	2,191	167	42	382	21%	2,611
区東部	1,788	137	41	2,773	196	45	985	55%	3,857
西多摩	501	126	40	646	167	42	145	29%	806
南多摩	2,064	151	43	2,494	172	43	430	21%	2,967
北多摩西部	924	149	43	1,149	177	43	225	24%	1,397
北多摩南部	2,416	249	55	3,071	301	56	655	27%	3,792
北多摩北部	1,219	172	45	1,332	181	43	113	9%	1,456
島しょ	34	118	39	33	124	38	-1	-3%	32
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 13-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
東京都	137,402	109	44	131,395	98	44	-6,007	-4%	124,788
区中央部	15,606	229	66	13,881	175	58	-1,725	-11%	11,984
区南部	9,041	89	41	8,290	77	40	-751	-8%	7,464
区西南部	13,040	100	42	11,282	82	41	-1,758	-13%	9,348
区西部	11,586	101	43	10,972	92	43	-614	-5%	10,297
区西北部	19,479	108	44	17,713	92	43	-1,766	-9%	15,770
区東北部	10,518	85	40	10,993	84	41	475	5%	11,516
区東部	7,697	59	35	8,730	62	37	1,033	13%	9,866
西多摩	6,880	173	55	6,867	177	58	-13	0%	6,853
南多摩	17,567	129	48	17,891	124	48	324	2%	18,247
北多摩西部	4,344	70	37	4,668	72	39	324	7%	5,024
北多摩南部	11,134	115	45	11,420	112	46	286	3%	11,735
北多摩北部	10,392	147	51	8,570	116	47	-1,822	-18%	6,566
島しょ	118	41	32	118	44	34	0	0%	118
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

13. 東京都（2016年版）

資\_図表 13-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
東京都	90,472	72	46	85,206	64	45	-5,266	-6%	79,413	60
区中央部	14,619	215	96	12,929	163	81	-1,690	-12%	11,070	139
区南部	7,352	73	46	6,574	61	44	-778	-11%	5,718	53
区西南部	9,225	70	45	8,239	60	43	-986	-11%	7,154	53
区西部	9,633	84	50	9,115	76	49	-518	-5%	8,545	73
区西北部	12,029	67	44	10,671	55	42	-1,358	-11%	9,177	48
区東北部	7,076	57	41	7,407	56	42	331	5%	7,771	62
区東部	6,566	50	38	7,331	52	40	765	12%	8,173	57
西多摩	1,944	49	38	1,925	50	39	-19	-1%	1,904	53
南多摩	6,654	49	38	6,660	46	38	6	0%	6,667	46
北多摩西部	3,301	53	39	3,449	53	41	148	4%	3,612	57
北多摩南部	6,495	67	44	6,384	63	44	-111	-2%	6,262	62
北多摩北部	5,462	77	48	4,412	60	43	-1,050	-19%	3,257	45
島しょ	116	40	35	110	41	36	-6	-5%	103	44
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 13-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
東京都	20,102	21	43	22,912	16	46	2,810	14%	26,004	13
区中央部	596	10	37	600	8	39	4	1%	604	6
区南部	1,261	16	41	1,518	13	44	257	20%	1,801	12
区西南部	1,245	12	38	1,699	12	42	454	36%	2,198	12
区西部	1,519	15	40	1,498	10	41	-21	-1%	1,475	8
区西北部	3,516	23	45	3,690	17	47	174	5%	3,881	13
区東北部	1,942	20	43	2,092	13	44	150	8%	2,257	11
区東部	896	11	38	1,174	9	40	278	31%	1,480	8
西多摩	2,348	70	72	2,316	48	74	-32	-1%	2,281	34
南多摩	3,185	35	51	3,962	25	53	777	24%	4,817	20
北多摩西部	843	19	43	1,150	16	46	307	36%	1,488	15
北多摩南部	1,216	17	41	1,464	13	44	248	20%	1,737	12
北多摩北部	1,535	28	48	1,743	19	49	208	14%	1,972	17
島しょ	0	0	32	6	1	33	6	100%	13	3
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

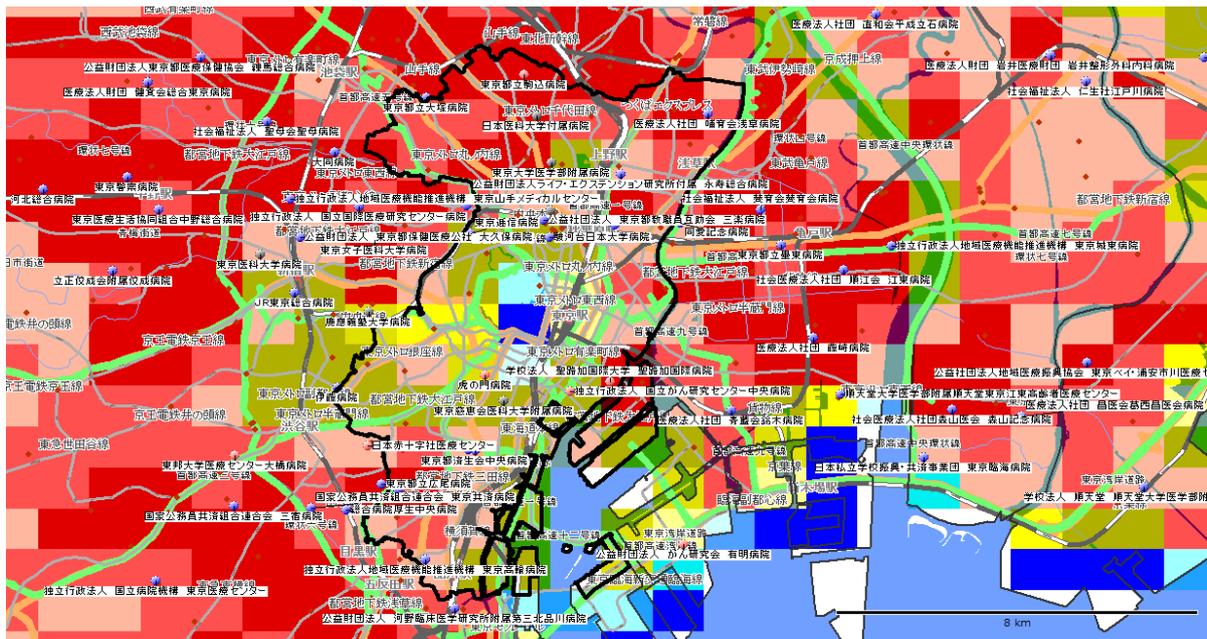
資\_図表 13-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
東京都	291	41	0.980	101	41	0.895	165	43	1.028
区中央部	273	37	0.963	92	38	0.843	156	38	1.025
区南部	317	48	1.028	113	45	0.948	178	51	1.073
区西南部	271	37	0.950	90	37	0.819	156	37	1.015
区西部	260	34	0.942	87	36	0.820	149	34	1.007
区西北部	285	40	0.972	99	41	0.881	162	41	1.026
区東北部	299	43	0.995	102	42	0.887	173	48	1.070
区東部	302	44	1.002	101	41	0.876	176	49	1.084
西多摩	297	43	0.919	109	44	0.878	164	43	0.939
南多摩	309	46	0.950	111	45	0.892	173	47	0.982
北多摩西部	294	42	0.937	106	43	0.879	163	42	0.961
北多摩南部	287	41	0.934	100	41	0.846	163	42	0.980
北多摩北部	303	44	0.960	111	45	0.920	166	44	0.977
島しょ	301	44	0.938	132	52	1.067	148	33	0.855
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# くちゅうおうぶ 13-1. 区中央部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [千代田区](#) [台東区](#) [中央区](#) [港区](#) [文京区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (区中央部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 区中央部(千代田区)は、総人口約792千人(2015年推計)、面積64km<sup>2</sup>、人口密度は12455人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 区中央部の総人口は2025年に796千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に758千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の77千人が、2025年にかけて100千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には117千人へと増加する(2025年比+17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 区中央部の一人当たり医療費(国保)は269千円(偏差値38)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費は低いが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 区中央部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.45で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が167(病院医師数152、診療所医師数174)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は90と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は89で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は138と非常に多い。区中央部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国際医療福祉大学三田病院(Ⅲ群)、東京都済生会中央病院(Ⅲ群・救命)、三井記念病院(Ⅱ群)、東京都立駒込病院(Ⅱ群)、虎の門病院(Ⅱ群)、聖路加国際病院(Ⅱ群・救命)、東京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、東京医科歯科大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、順天堂大学医学部附属順天堂医院(Ⅰ群)、日本医科大学付属病院(Ⅰ群・救命)、東京慈恵会医科大学附属病院(Ⅰ群)、国立がん研究センター中央病院(Ⅱ群)、1000例以上の東京逋信病院(Ⅲ群)、永寿総合病院(Ⅲ群)、北里大学北里研究所病院(Ⅲ群)、三楽病院(Ⅲ群)、日本大学病院(Ⅱ群・救命)、500例以上のJCHO東京高輪病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は146で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 区中央部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4993人(75歳以上1000人当たりの偏差値29)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2945床(偏差値33)、高齢者住宅等が2048床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3917人(75歳以上1000人当たりの偏差値27)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設29、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム54、軽費ホーム51、グループホーム39、サ高住34である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値83と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、1348人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-103%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

区中央部医療圏の総人口は、2005年680856人が、2015年に791535人と16%増加し、2025年の人口が795712人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

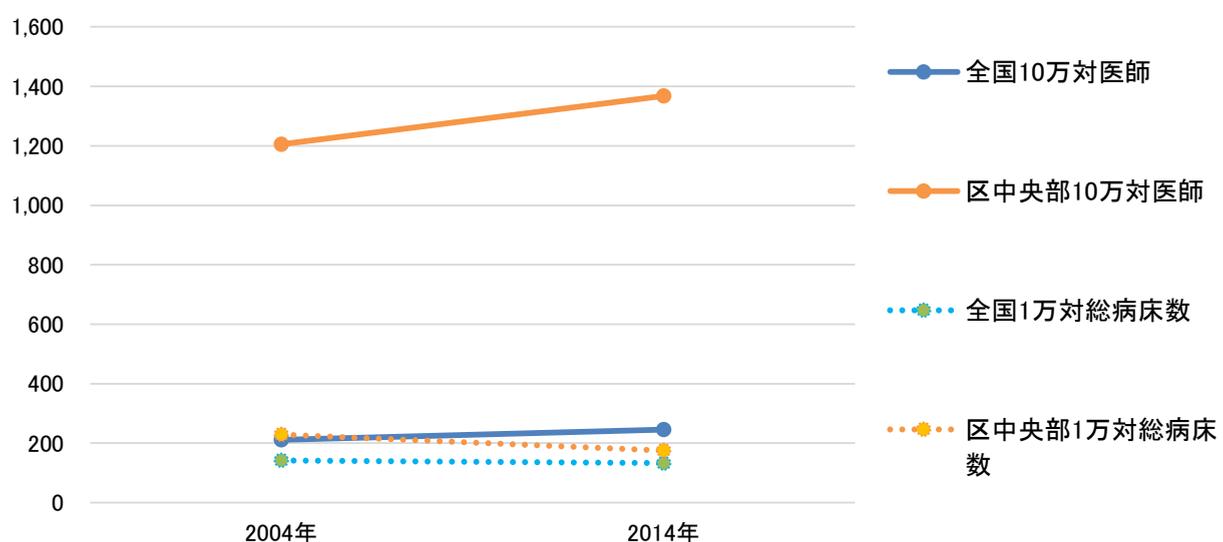
2004年の病院数が60(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に51(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1885(人口10万人当たり277診療所(全国平均76)偏差値150)であったが、2014年に2111(人口10万人当たり267診療所(全国平均79)偏差値146)と、226診療所が増加した。

2004年の総病床数が15606床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に13881床(人口1万人当たり175(全国平均133)偏差値58)と、1725床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

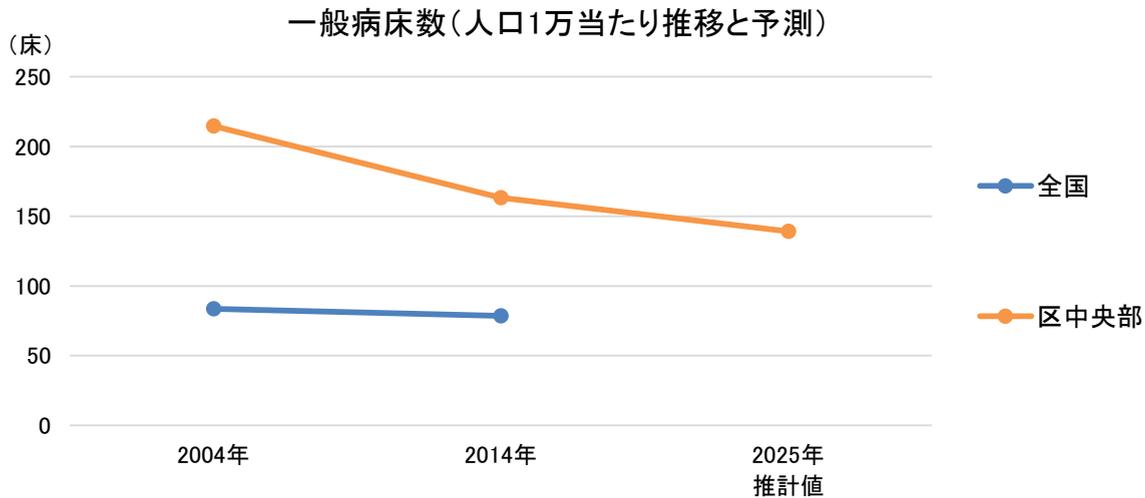
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が8204人(人口10万人当たり1205人(全国平均212人)偏差値168)であったが、2014年に10831人(人口10万人当たり1368人(全国平均246人)偏差値164)と、2627人の増加、率にして32%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



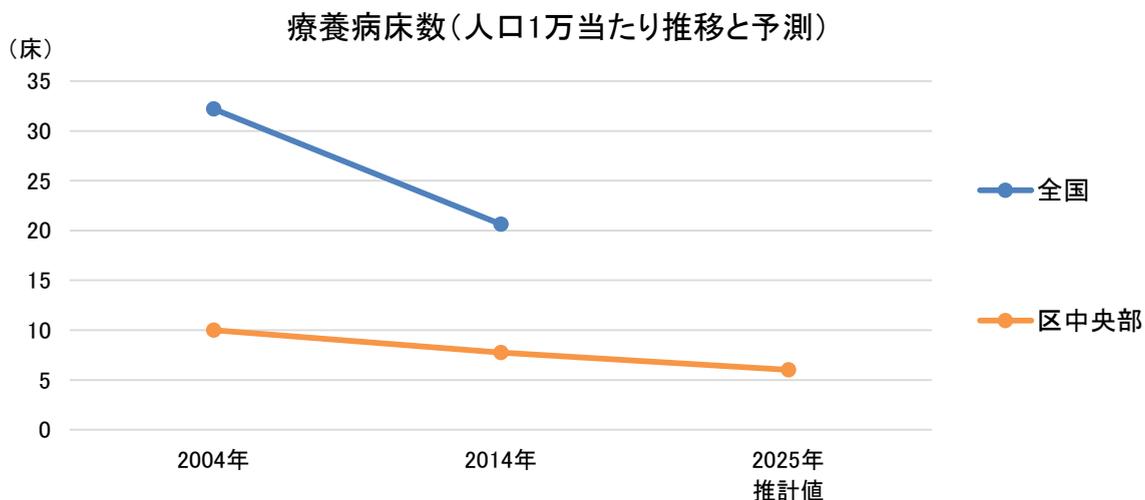
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14619床(人口1万人当たり215(全国平均84)偏差値96)であったが、2014年に12929床(人口1万人当たり163(全国平均79)偏差値81)と、1690床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には11070床(2025年の推計人口1万人当たり139)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

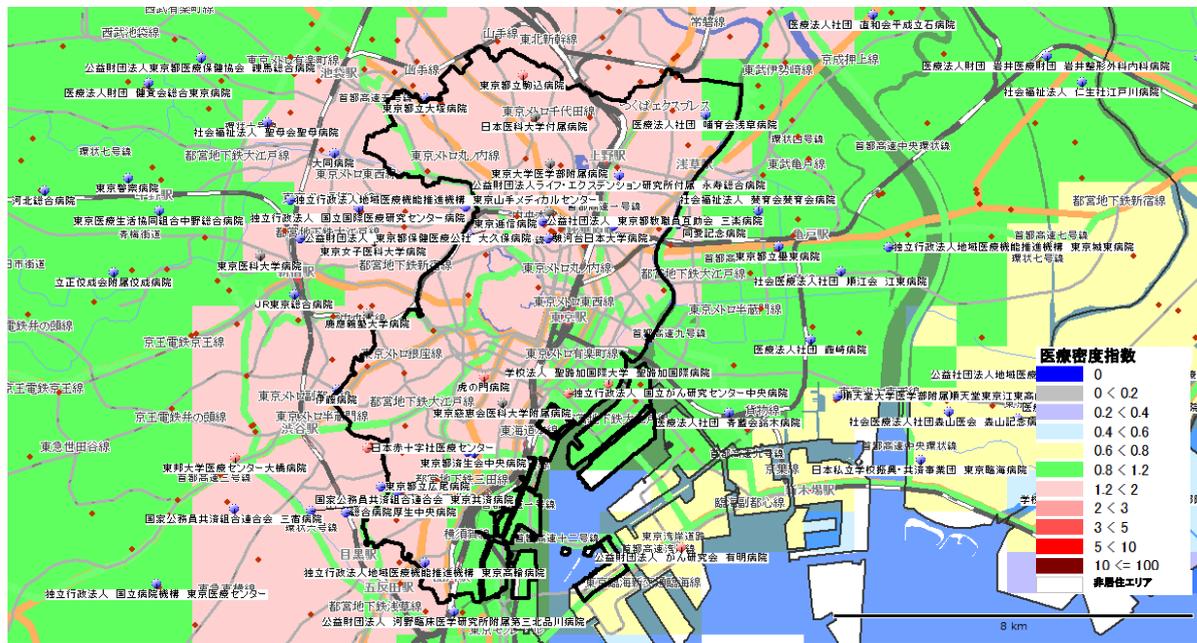
2004年の療養病床(病院+診療所)が596床(75歳以上1000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に600床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、4床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には604床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



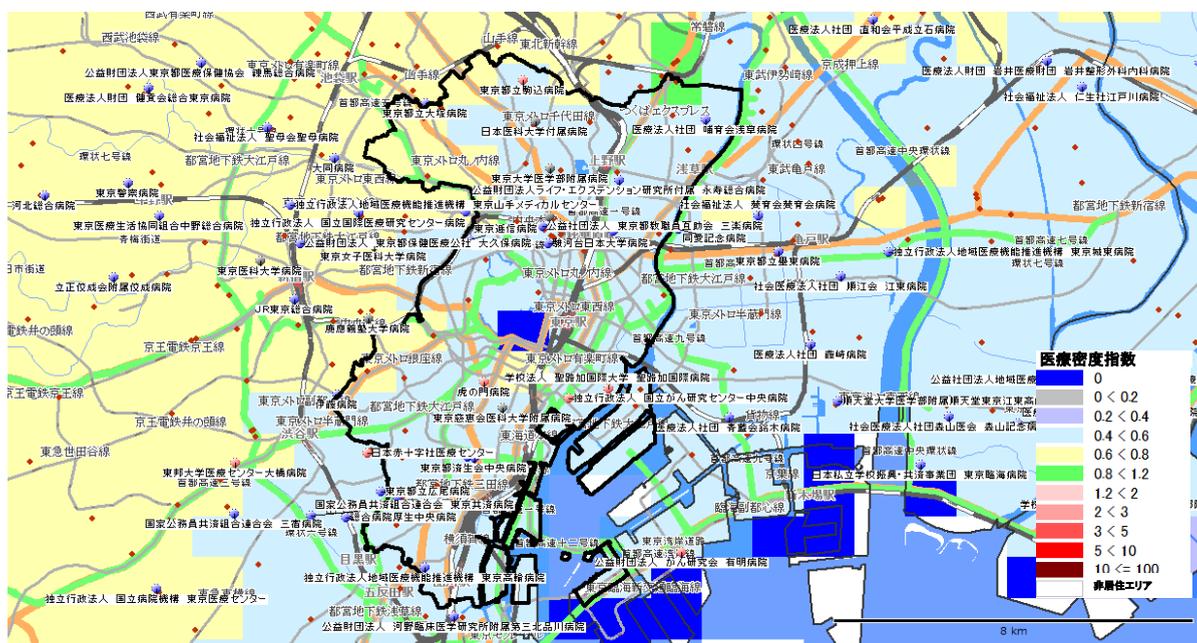
# 13. 東京都 (2016年版)

## 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-1-1 急性期医療密度指数マップ



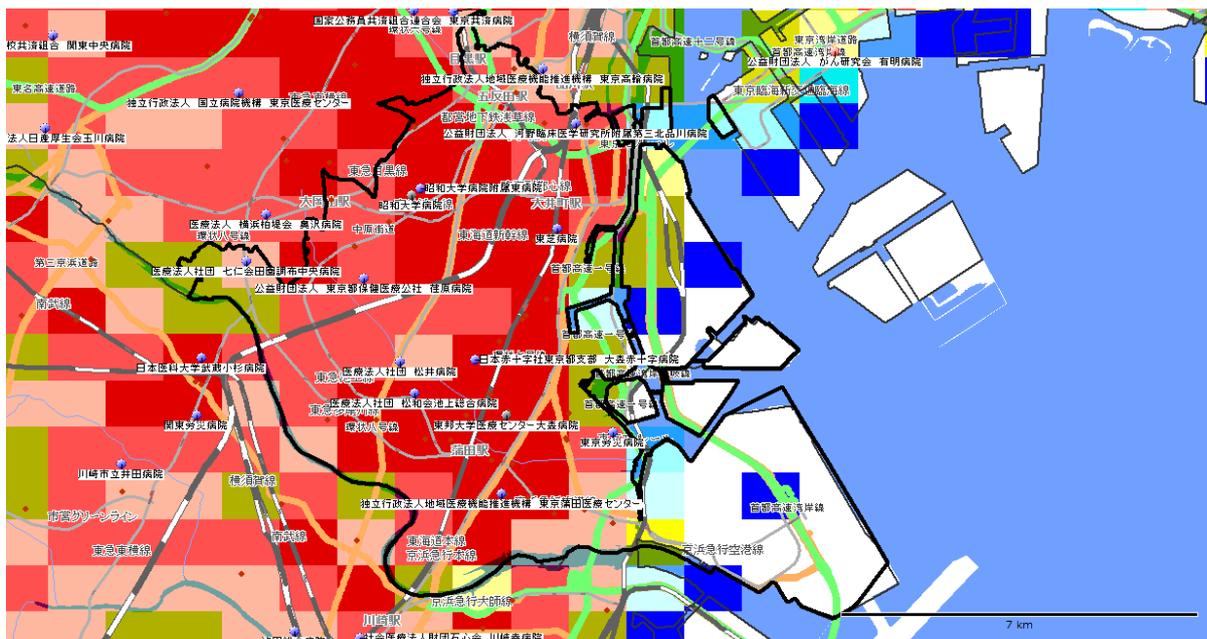
図表13-1-2 慢性期医療密度指数マップ



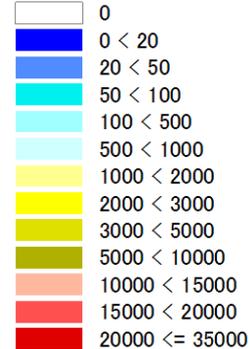
# くなんぶ 13-2. 区南部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [品川区](#) [大田区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （区南部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 区南部(品川区)は、総人口約1078千人(2015年推計)、面積82km<sup>2</sup>、人口密度は13118人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 区南部の総人口は2025年に1074千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に1016千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の113千人が、2025年にかけて151千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には158千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 区南部の一人当たり医療費(国保)は311千円(偏差値48)、介護給付費は257千円(偏差値51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 区南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.36で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が57(病院医師数55、診療所医師数61)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。区南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のN T T 東日本関東病院(Ⅱ群)、東邦大学医療センター大森病院(Ⅰ群・救命)、昭和大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の荏原病院(Ⅲ群)、大森赤十字病院(Ⅲ群)、東京労災病院(Ⅲ群)、500例以上の池上総合病院(Ⅲ群)、東芝病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 区南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7725人(75歳以上1000人当たりの偏差値31)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3193床(偏差値25)、高齢者住宅等が4532床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5446人(75歳以上1000人当たりの偏差値25)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設22、特別養護老人ホーム35、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム60、軽費ホーム48、グループホーム42、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1461人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-99%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

区南部医療圏の総人口は、2005年1012031人が、2015年に1078073人と7%増加し、2025年の人口が1074021人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

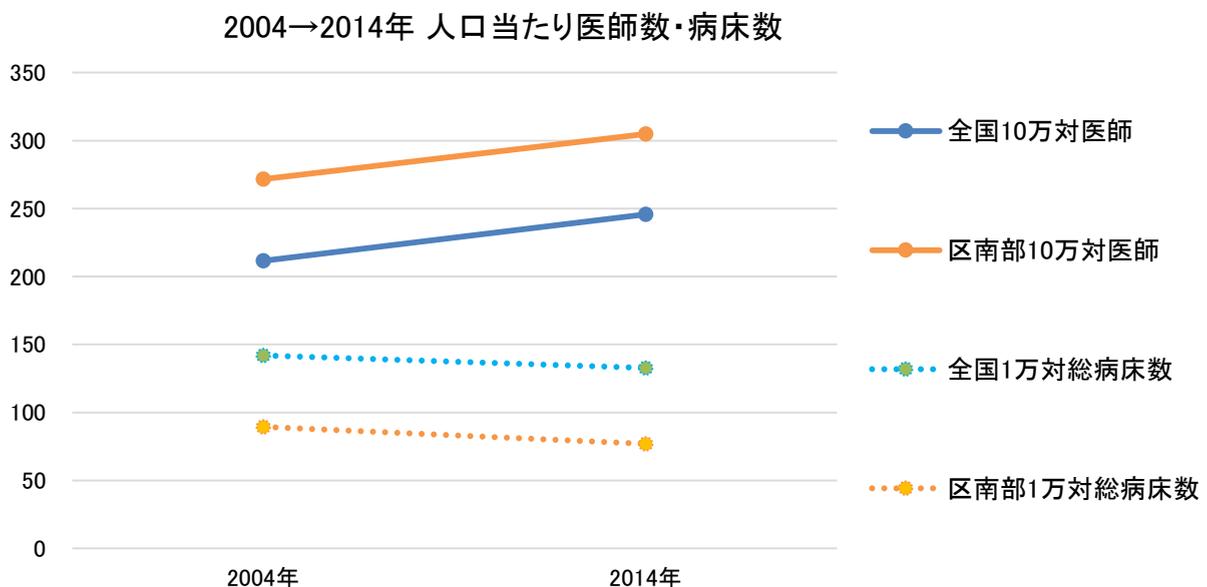
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に42(人口10万人当たり3.9病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が1016(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に998(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値57)と、18診療所が減少した。

2004年の総病床数が9041床(人口1万人当たり89(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に8290床(人口1万人当たり77(全国平均133)偏差値40)と、751床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

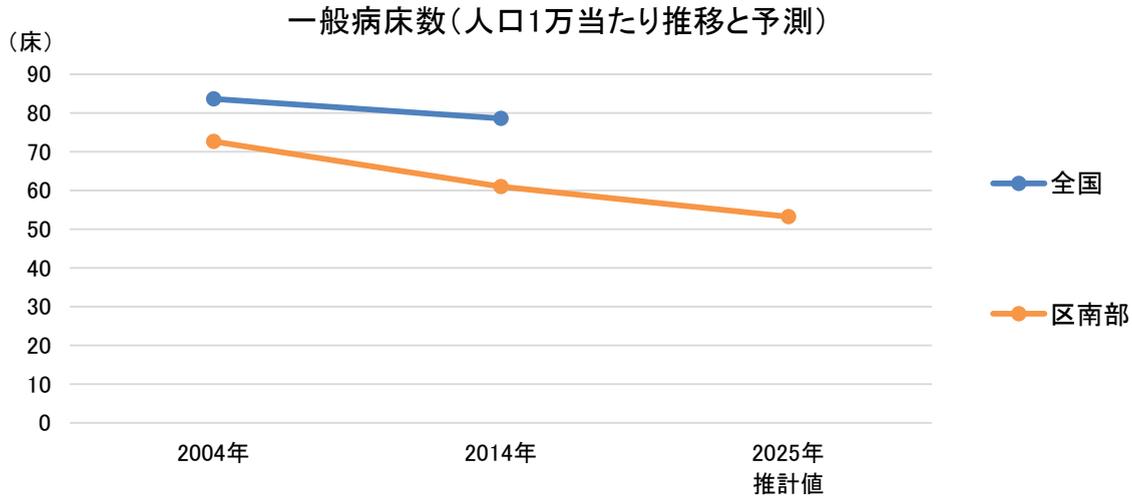
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2749人(人口10万人当たり272人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に3286人(人口10万人当たり305人(全国平均246人)偏差値56)と、537人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



### 13. 東京都（2016年版）

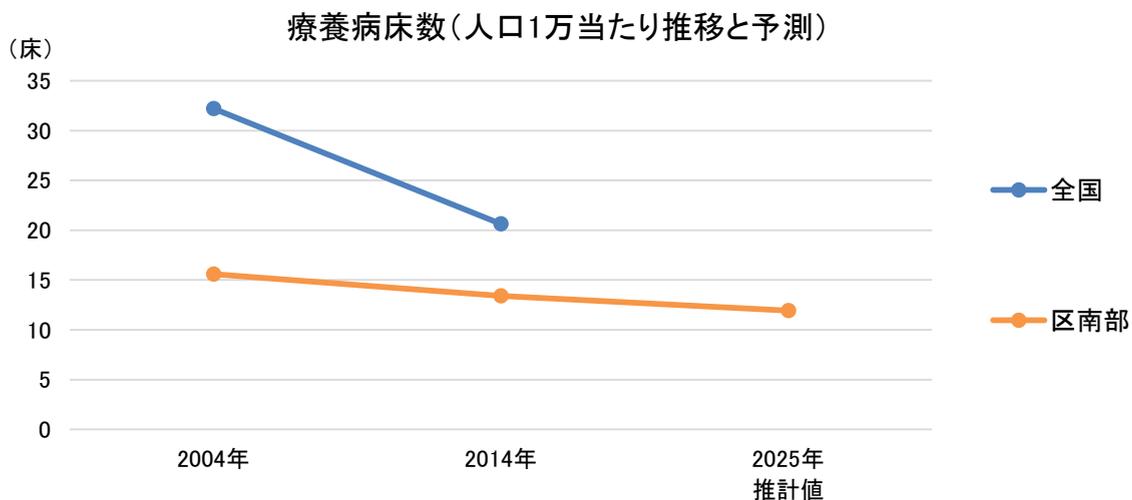
#### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7352床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に6574床(人口1万人当たり61(全国平均79)偏差値44)と、778床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5718床(2025年の推計人口1万人当たり53)になることが予想される。



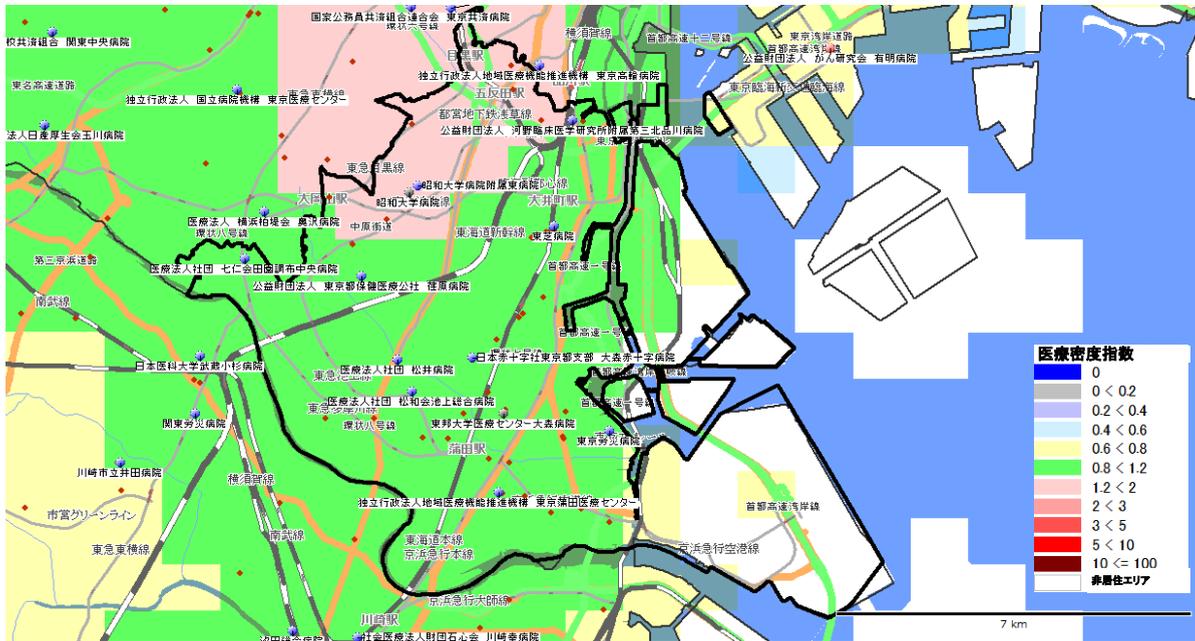
#### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1261床(75歳以上1000人当たり16(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に1518床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値44)と、257床の増加、率にして20%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1801床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

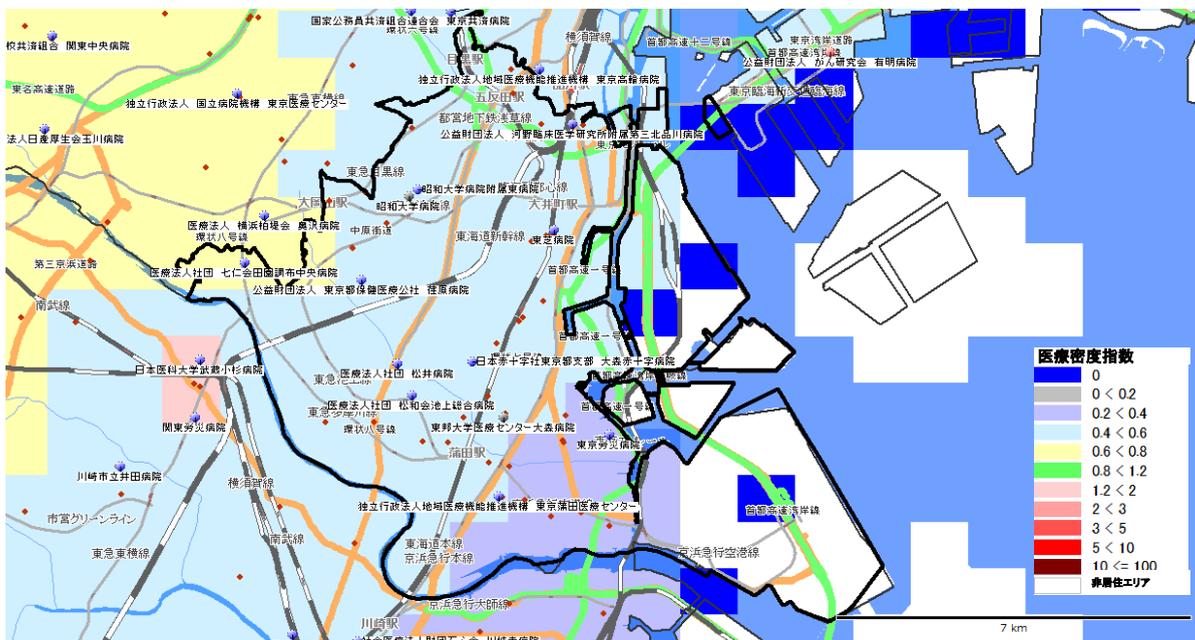


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-2-1 急性期医療密度指数マップ



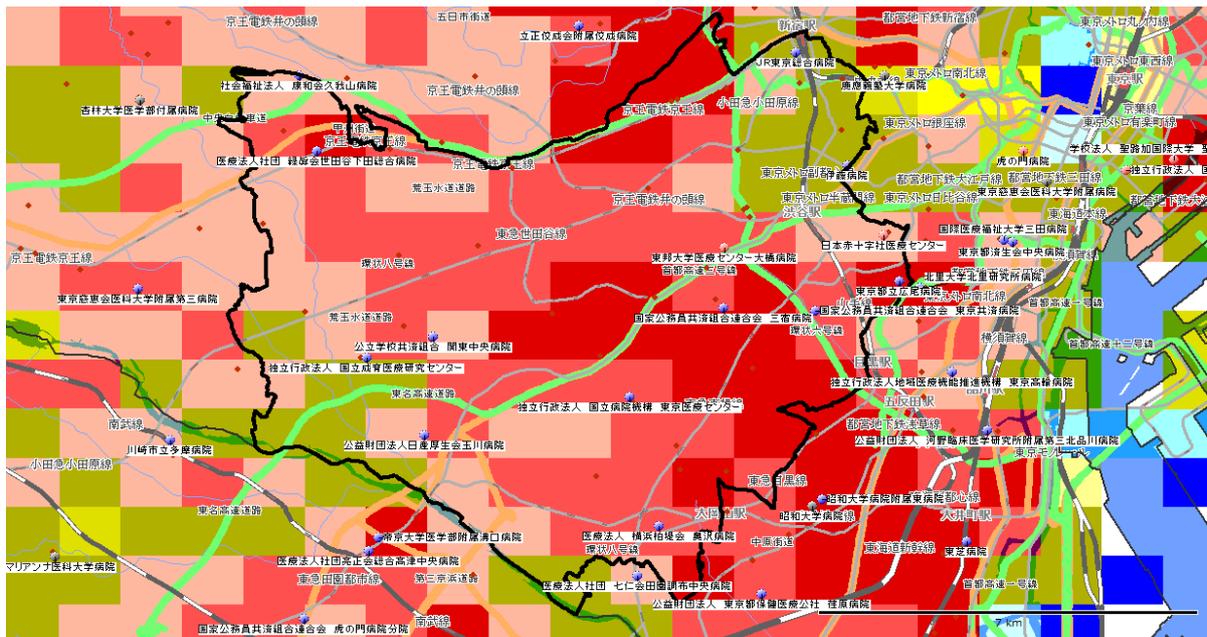
図表13-2-2 慢性期医療密度指数マップ



# くせいなんぶ 13-3. 区西南部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [目黒区](#) [世田谷区](#) [渋谷区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (区西南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 区西南部(目黒区)は、総人口約1371千人(2015年推計)、面積88km<sup>2</sup>、人口密度は15604人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 区西南部の総人口は2025年に1361千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に1282千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の144千人が、2025年にかけて185千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には216千人へと増加する(2025年比+17%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 区西南部の一人当たり医療費(国保)は266千円(偏差値37)、介護給付費は285千円(偏差値58)であり、医療費は低いが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 区西南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.43で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が60(病院医師数53、診療所医師数72)と、総医師数は多く、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。区西南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立成育医療研究センター(Ⅲ群)、国立病院機構東京医療センター(Ⅲ群・救命)、日本赤十字社医療センター(Ⅱ群・救命)、東邦大学医療センター大橋病院(Ⅱ群)、1000例以上の伊藤病院(Ⅲ群)、J R 東京総合病院(Ⅲ群)、東京都立広尾病院(Ⅲ群・救命)、関東中央病院(Ⅲ群)、玉川病院(Ⅲ群)、厚生中央病院(Ⅲ群)、500例以上の久我山病院(Ⅲ群)、三宿病院(Ⅲ群)、東京共済病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は72で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 区西南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10622人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4038床(偏差値25)、高齢者住宅等が6584床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7381人(75歳以上1000人当たりの偏差値28)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設25、特別養護老人ホーム34、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム66、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住44である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、2188人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-91%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

区西南部医療圏の総人口は、2005年1308563人が、2015年に1371452人と5%増加し、2025年の人口が1361068人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

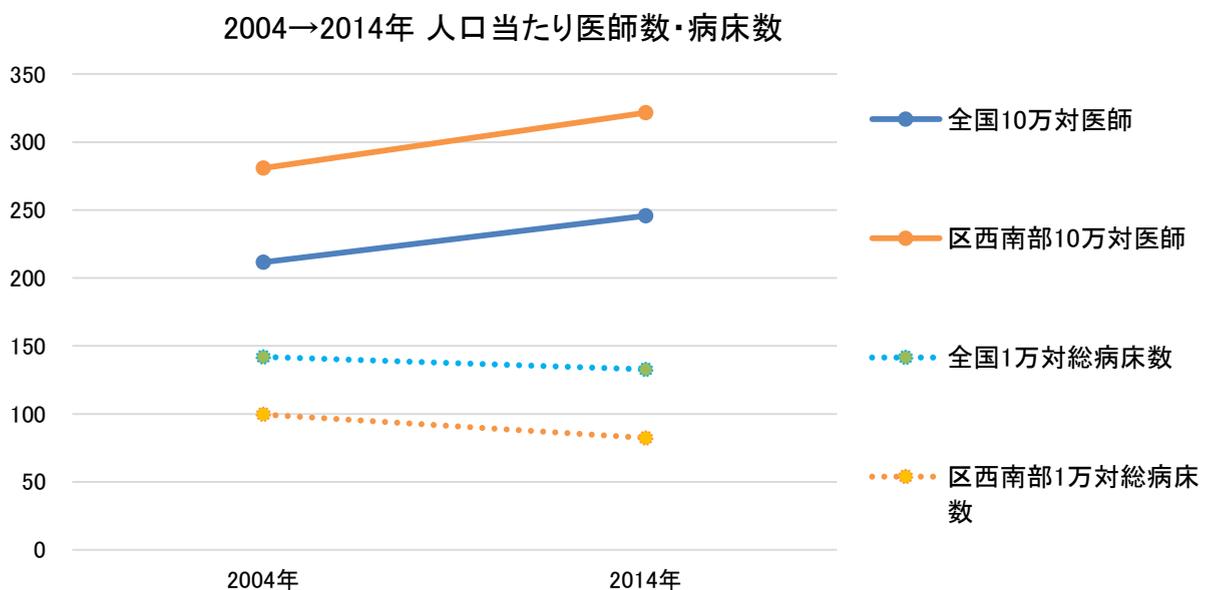
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が56(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に50(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が1557(人口10万人当たり119診療所(全国平均76)偏差値71)であったが、2014年に1670(人口10万人当たり122診療所(全国平均79)偏差値72)と、113診療所が増加した。

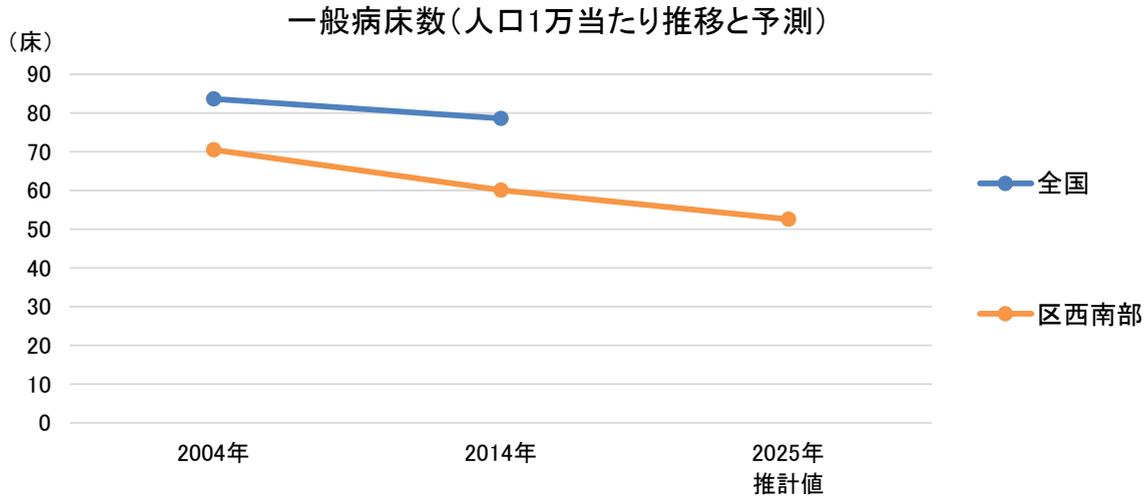
2004年の総病床数が13040床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に11282床(人口1万人当たり82(全国平均133)偏差値41)と、1758床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が3676人(人口10万人当たり281人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に4412人(人口10万人当たり322人(全国平均246人)偏差値58)と、736人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



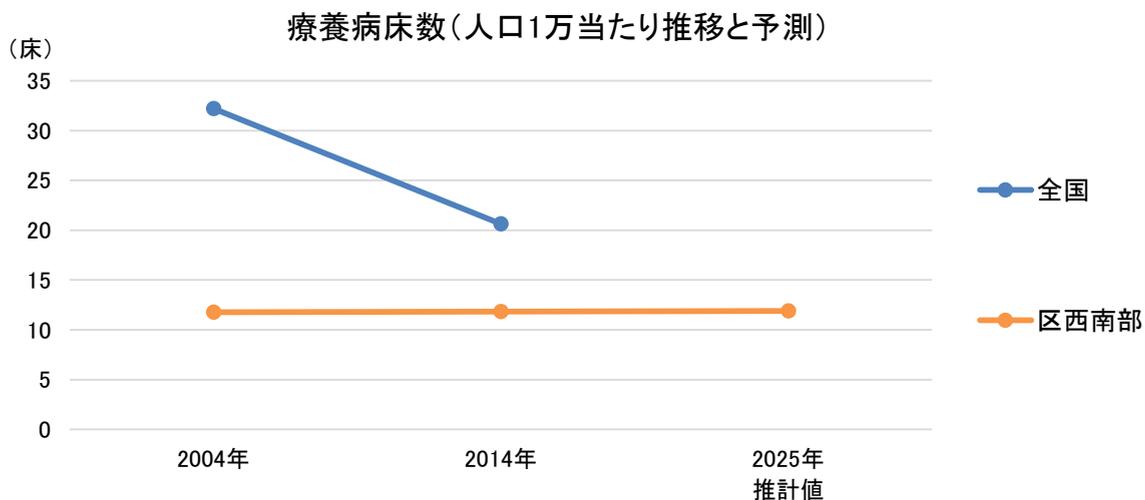
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9225床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に8239床(人口1万人当たり60(全国平均79)偏差値43)と、986床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7154床(2025年の推計人口1万人当たり53)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

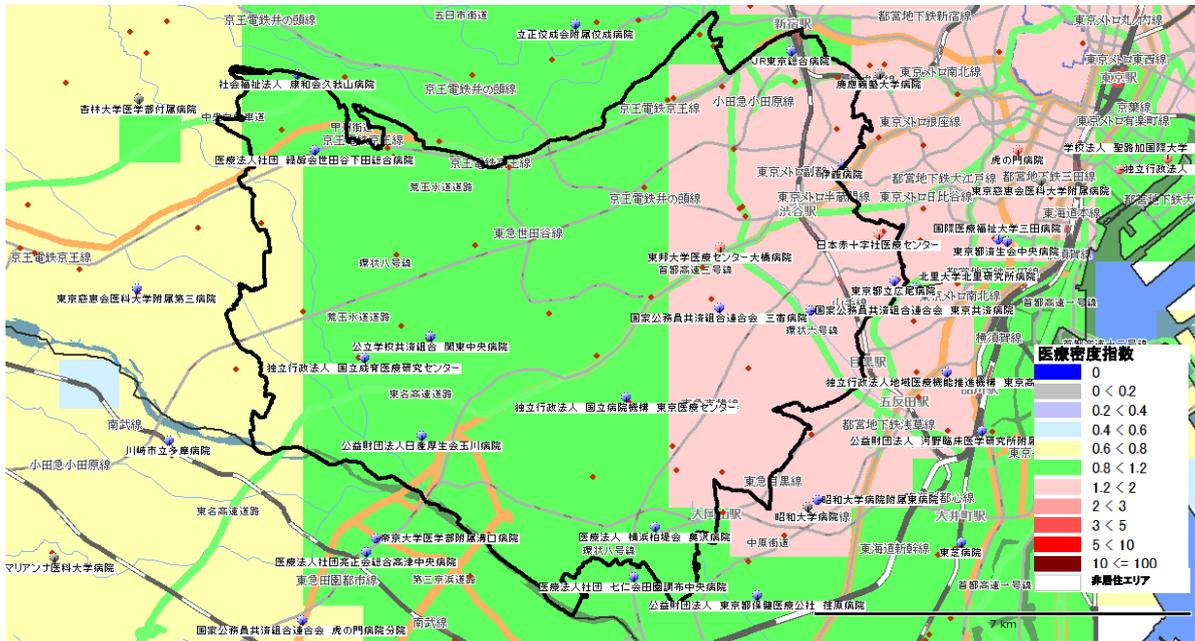
2004年の療養病床(病院+診療所)が1245床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に1699床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、454床の増加、率にして36%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2198床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



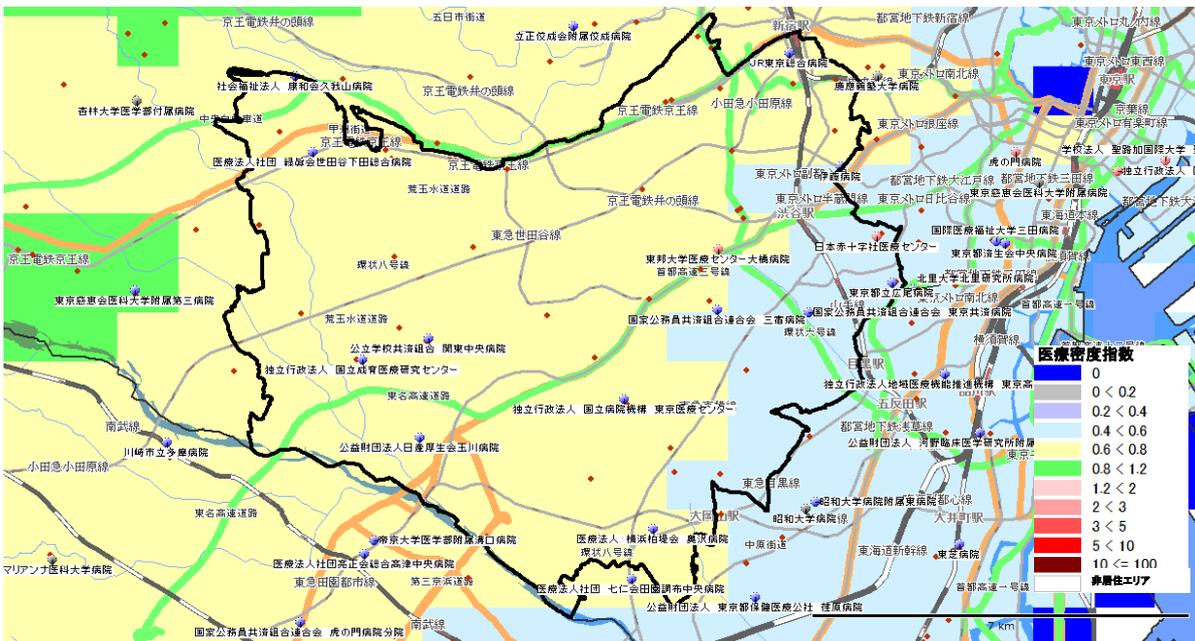
# 13. 東京都（2016年版）

## 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-3-1 急性期医療密度指数マップ



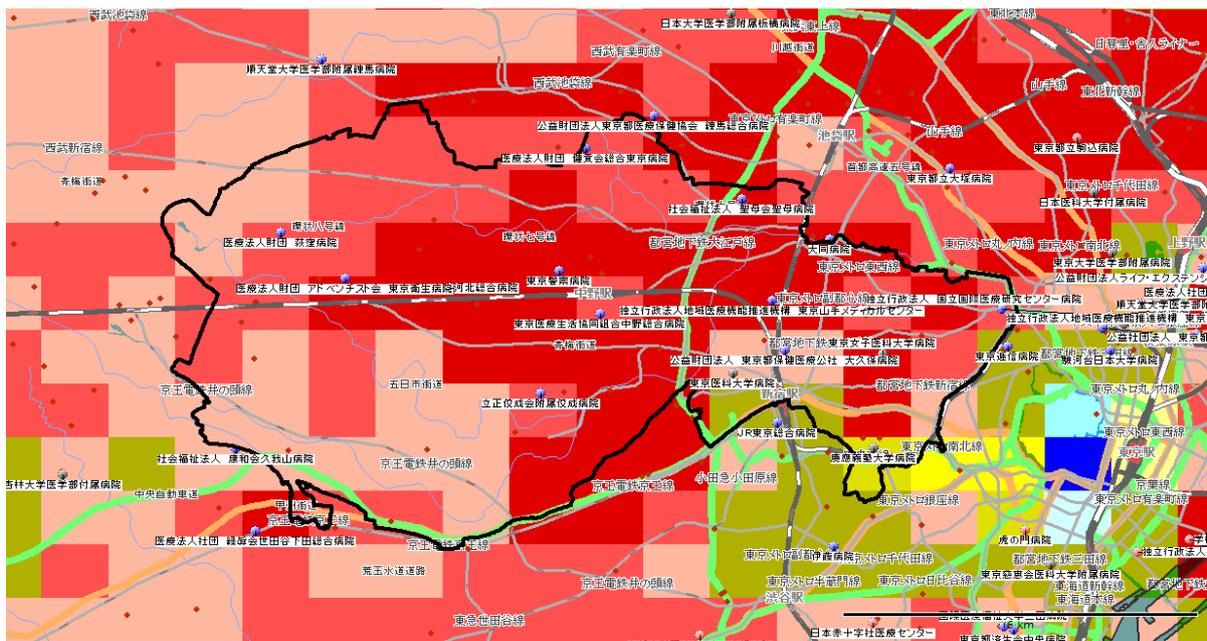
図表13-3-2 慢性期医療密度指数マップ



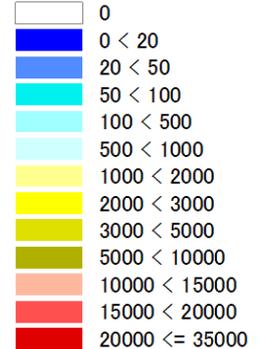
# くせいぶ 13-4. 区西部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [新宿区](#) [中野区](#) [杉並区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （区西部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 区西部(新宿区)は、総人口約1196千人(2015年推計)、面積68km<sup>2</sup>、人口密度は17629人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 区西部の総人口は2025年に1165千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に1067千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の143千人が、2025年にかけて184千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には200千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 区西部の一人当たり医療費(国保)は258千円(偏差値35)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 区西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が78(病院医師数75、診療所医師数80)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。区西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立国際医療研究センター病院(Ⅱ群・救命)、東京警察病院(Ⅲ群)、慶應義塾大学病院(Ⅰ群)、東京女子医科大学病院(Ⅰ群・救命)、東京医科大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の荻窪病院(Ⅲ群)、河北総合病院(Ⅲ群)、中野総合病院(Ⅲ群)、JCHO東京山手メディカルセンター(Ⅲ群)、JCHO東京新宿メディカルセンター(Ⅲ群)、500例以上の総合東京病院(Ⅲ群)、立正佼成会附属佼成病院(Ⅲ群)、大久保病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は69で診療所数は非常に多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 区西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7927人(75歳以上1000人当たりの偏差値24)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3628床(偏差値23)、高齢者住宅等が4299床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6401人(75歳以上1000人当たりの偏差値22)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設22、特別養護老人ホーム34、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム57、軽費ホーム49、グループホーム39、サ高住35である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2105人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-136%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

区西部医療圏の総人口は、2005年1144930人が、2015年に1195960人と4%増加し、2025年の人口が1164925人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

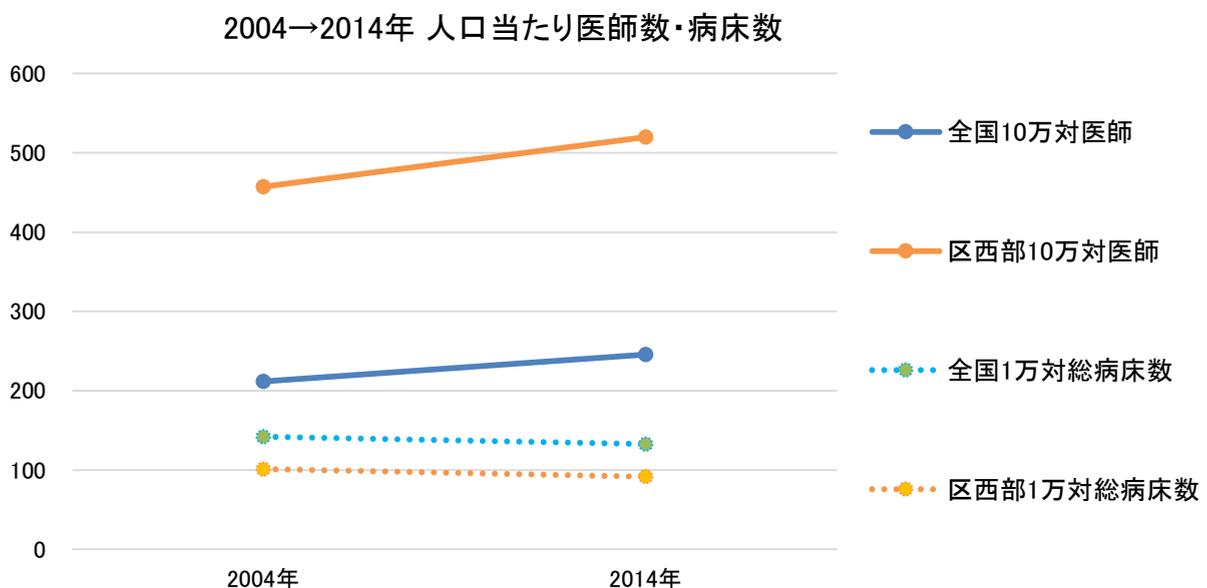
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に43(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が1440(人口10万人当たり126診療所(全国平均76)偏差値75)であったが、2014年に1401(人口10万人当たり117診療所(全国平均79)偏差値69)と、39診療所が減少した。

2004年の総病床数が11586床(人口1万人当たり101(全国平均142)偏差値43)であったが、2014年に10972床(人口1万人当たり92(全国平均133)偏差値43)と、614床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

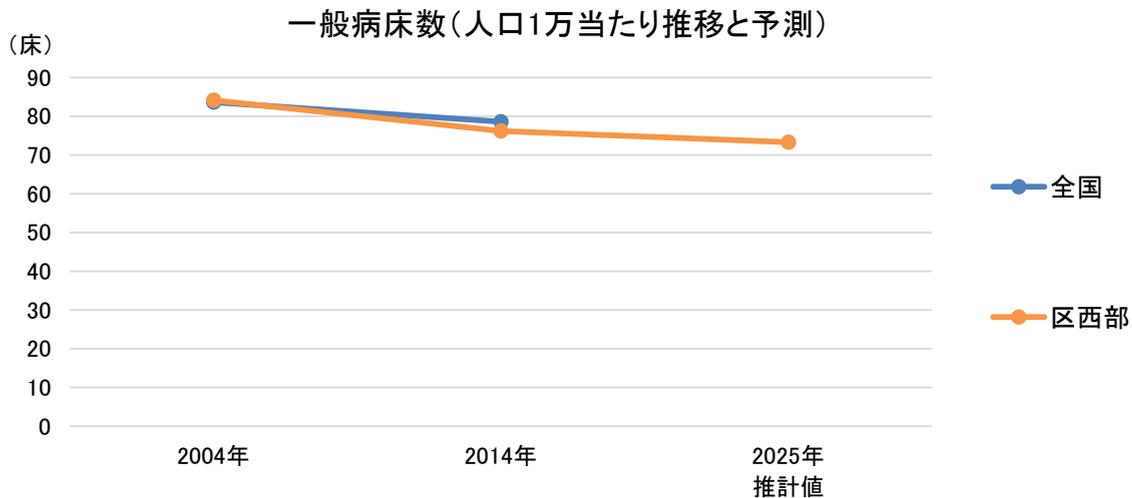
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が5235人(人口10万人当たり457人(全国平均212人)偏差値79)であったが、2014年に6217人(人口10万人当たり520人(全国平均246人)偏差値78)と、982人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



### 13. 東京都（2016年版）

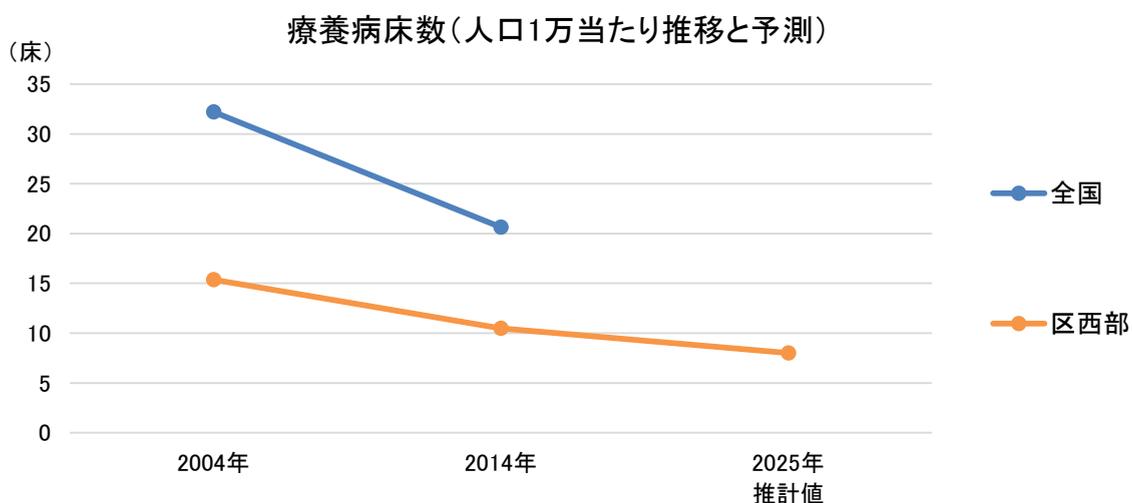
#### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9633床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に9115床(人口1万人当たり76(全国平均79)偏差値49)と、518床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8545床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



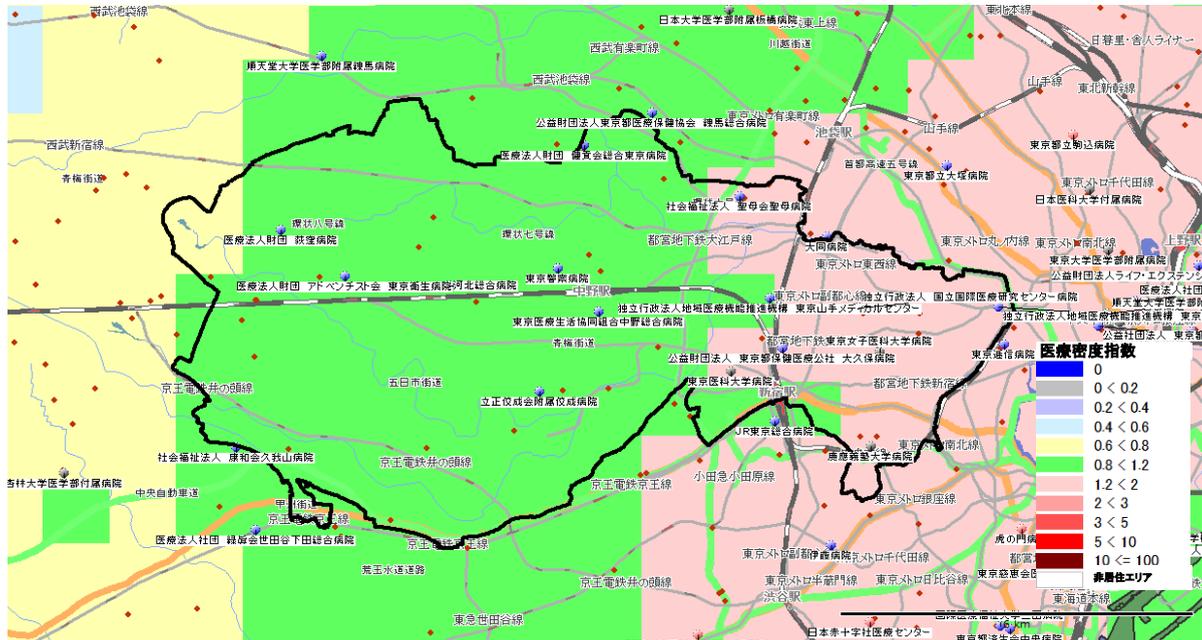
#### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1519床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に1498床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値41)と、21床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1475床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-4-1 急性期医療密度指数マップ



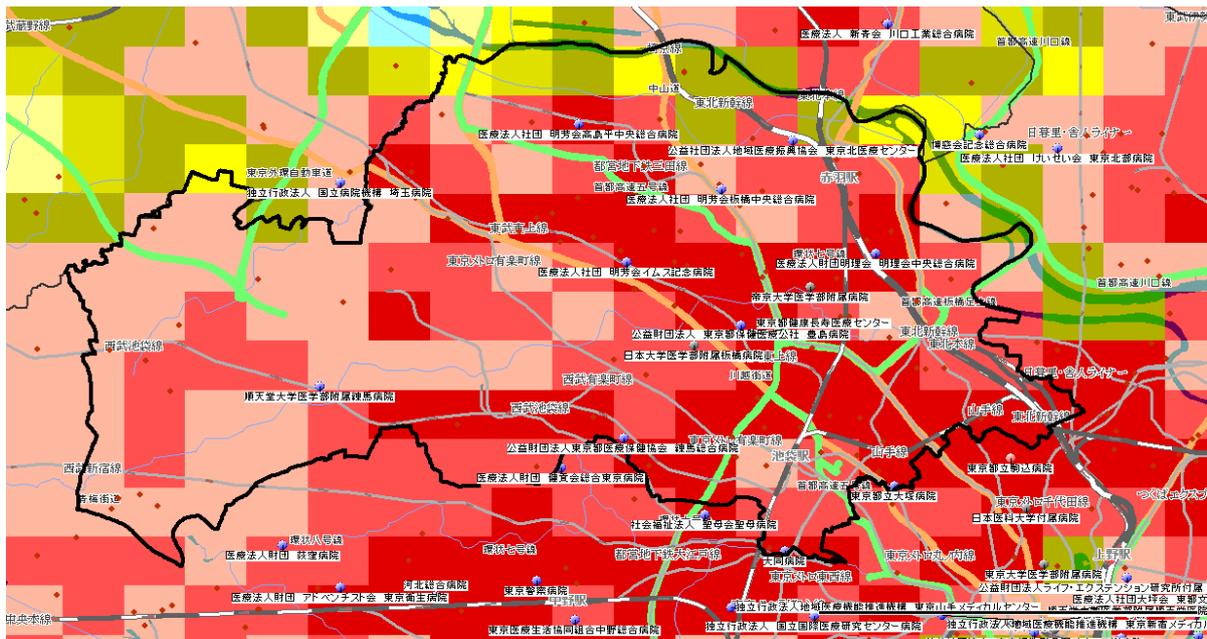
図表13-4-2 慢性期医療密度指数マップ



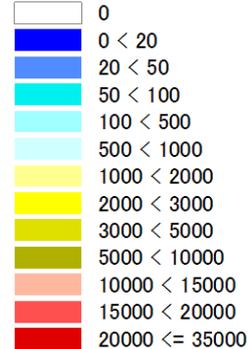
# くせいほくぶ 13-5. 区西北部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [豊島区](#) [北区](#) [板橋区](#) [練馬区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (区西北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 区西北部(豊島区)は、総人口約1923千人(2015年推計)、面積114km<sup>2</sup>、人口密度は16876人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 区西北部の総人口は2025年に1902千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に1771千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の221千人が、2025年にかけて304千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には340千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 区西北部の一人当たり医療費(国保)は282千円(偏差値41)、介護給付費は262千円(偏差値52)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 区西北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.66で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は41と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。区西北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の順天堂大学医学部附属練馬病院(Ⅱ群)、板橋中央総合病院(Ⅱ群)、帝京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、日本大学医学部附属板橋病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の練馬総合病院(Ⅲ群)、豊島病院(Ⅲ群)、高島平中央総合病院(Ⅲ群)、東京北医療センター(Ⅲ群)、東京都立大塚病院(Ⅲ群)、500例以上の練馬光が丘病院(Ⅲ群)、東京都健康長寿医療センター(Ⅲ群)、明理会中央総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 区西北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17496人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が8915床(偏差値35)、高齢者住宅等が8581床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12548人(75歳以上1000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム61、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム39、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、3561人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-88%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

区西北部医療圏の総人口は、2005年1796419人が、2015年に1922706人と7%増加し、2025年の人口が1901726人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

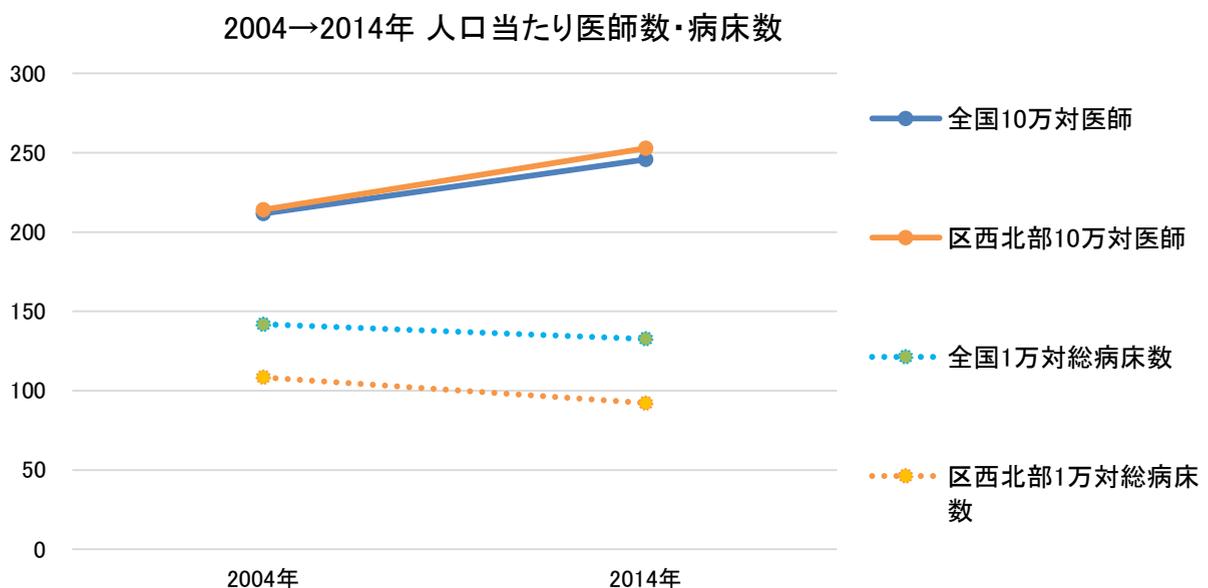
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が103(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に95(人口10万人当たり4.9病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1581(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に1625(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、44診療所が増加した。

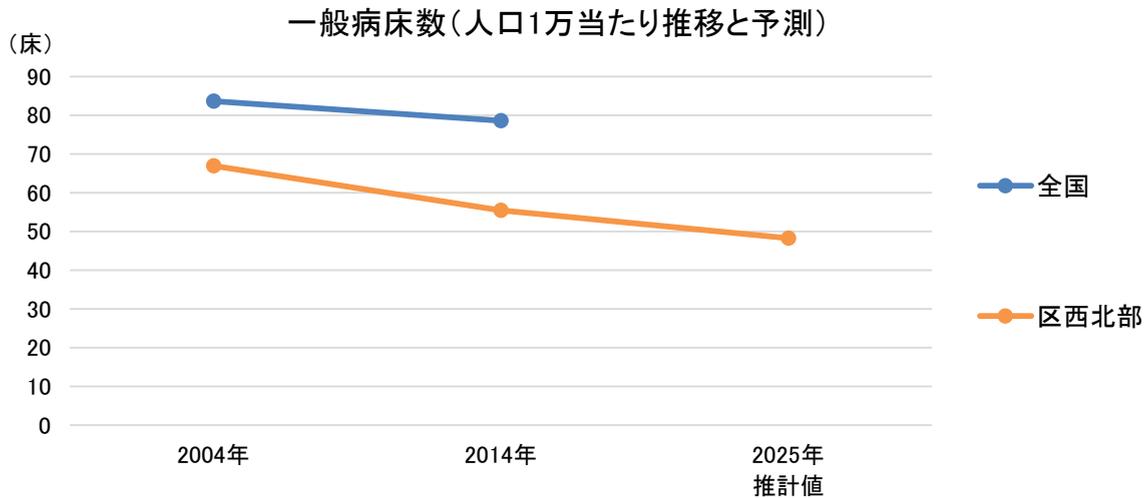
2004年の総病床数が19479床(人口1万人当たり108(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に17713床(人口1万人当たり92(全国平均133)偏差値43)と、1766床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が3844人(人口10万人当たり214人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に4862人(人口10万人当たり253人(全国平均246人)偏差値51)と、1018人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



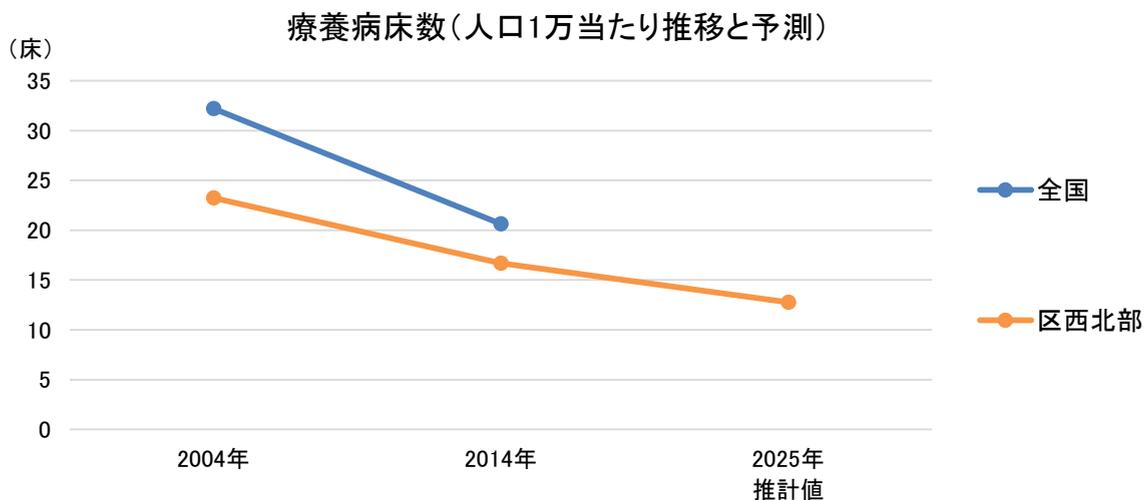
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12029床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に10671床(人口1万人当たり55(全国平均79)偏差値42)と、1358床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9177床(2025年の推計人口1万人当たり48)になることが予想される。



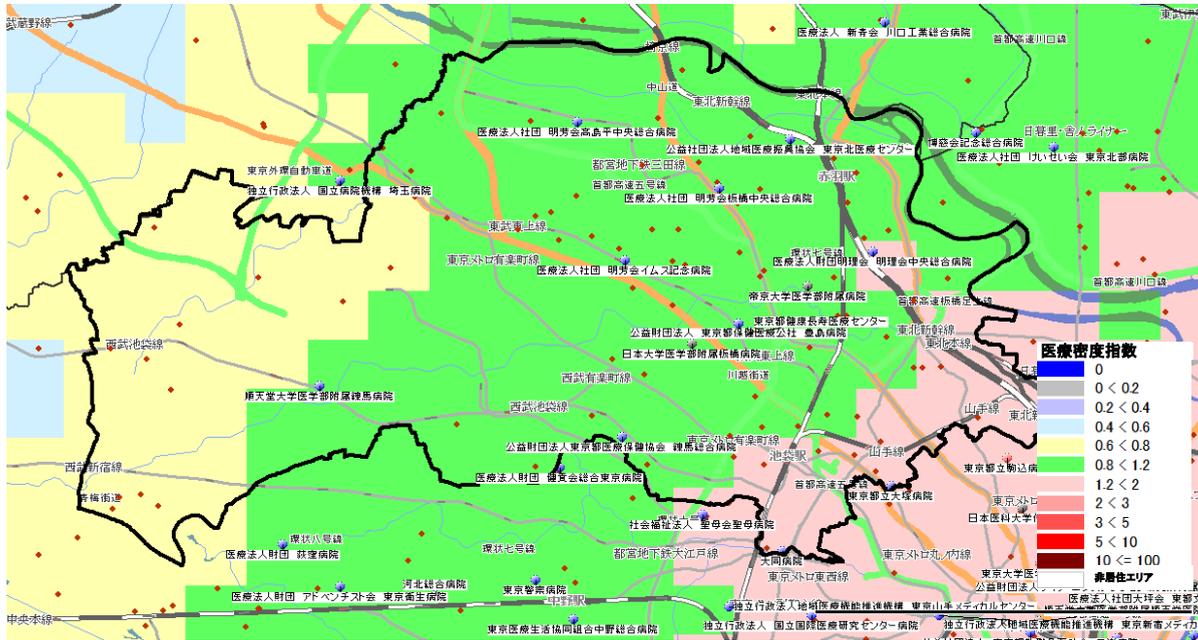
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3516床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に3690床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、174床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3881床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

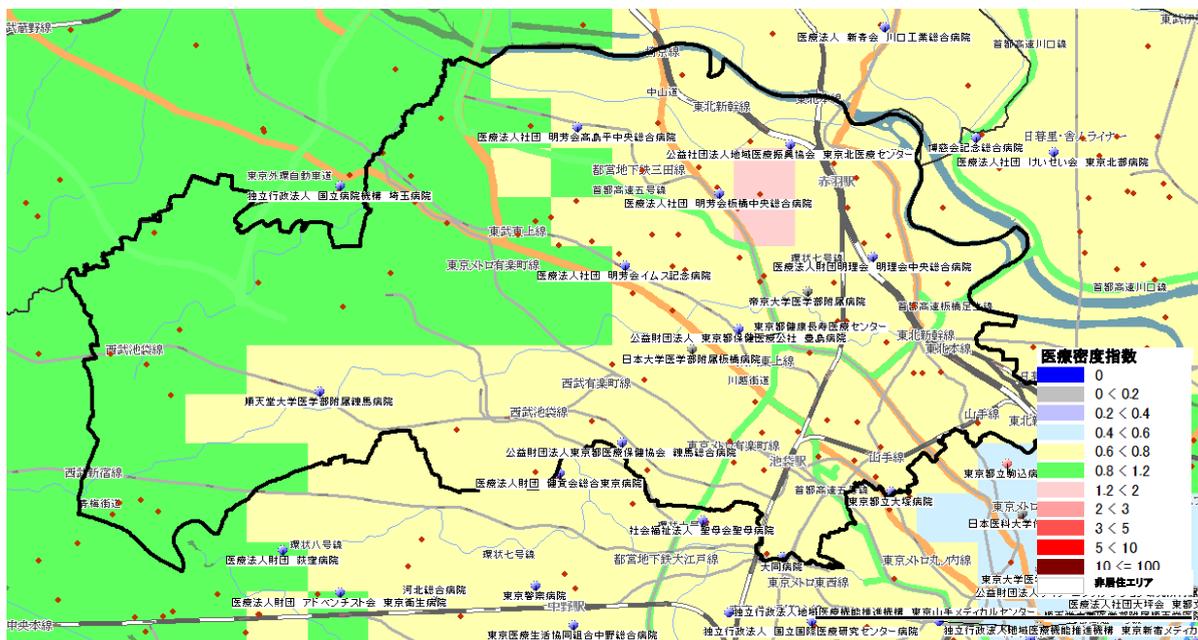


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-5-1 急性期医療密度指数マップ



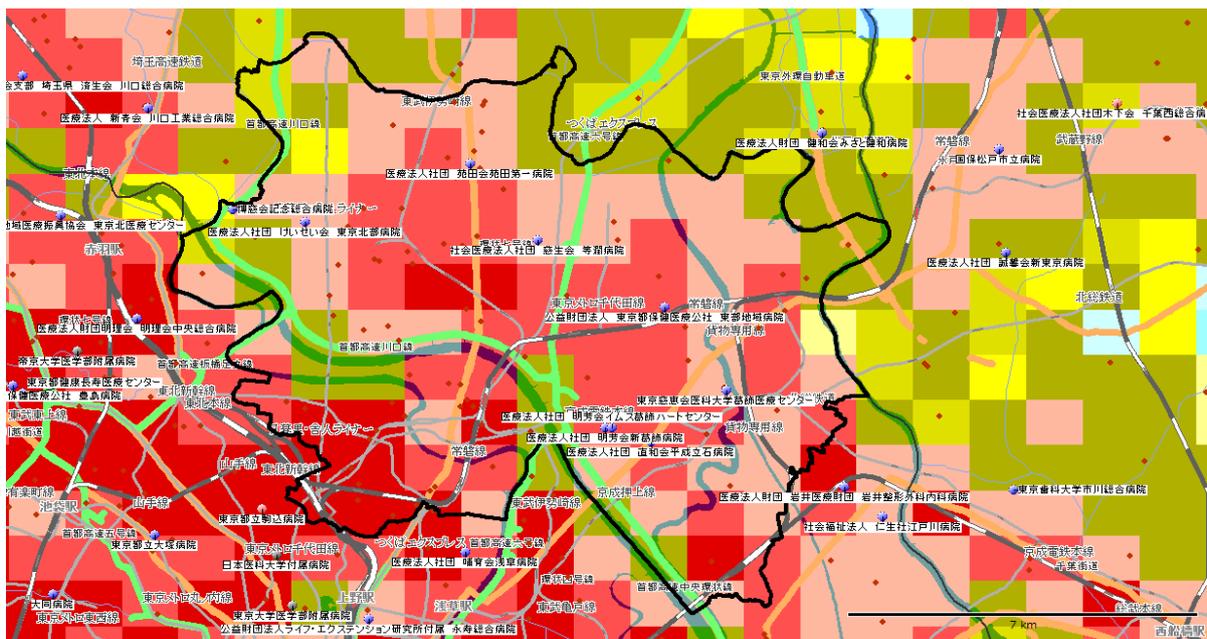
図表13-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 13-6. くとうほくぶ 区東北部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [荒川区](#) [足立区](#) [葛飾区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （区東北部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 区東北部(荒川区)は、総人口約1313千人(2015年推計)、面積98km<sup>2</sup>、人口密度は13369人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 区東北部の総人口は2025年に1244千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1098千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の157千人が、2025年にかけて197千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には190千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 区東北部の一人当たり医療費(国保)は293千円(偏差値44)、介護給付費は259千円(偏差値51)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 区東北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数53)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。区東北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京女子医科大学東医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の東部地域病院(Ⅲ群)、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター(Ⅲ群)、500例以上の平成立石病院(Ⅲ群)、新葛飾病院(Ⅲ群)、苑田第一病院(Ⅲ群)、博慈会記念総合病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 区東北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15076人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8102床(偏差値44)、高齢者住宅等が6974床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10382人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム58、軽費ホーム45、グループホーム42、サ高住53である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2794人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-25%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

区東北部医療圏の総人口は、2005年1240892人が、2015年に1312691人と6%増加し、2025年の人口が1243907人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

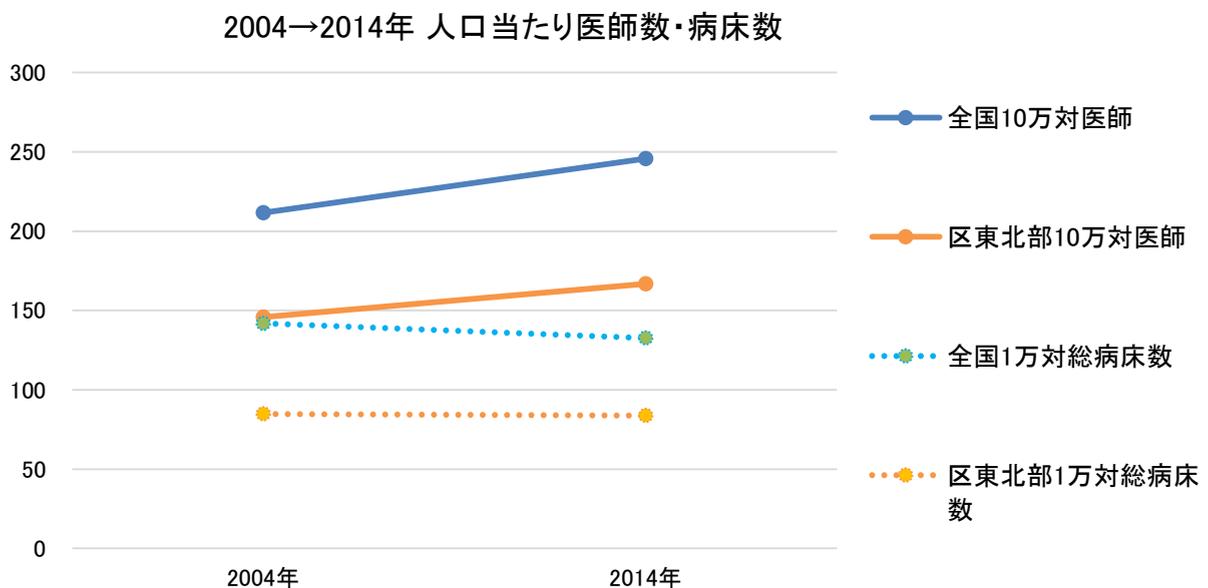
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が80(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に86(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で6病院が増加した。

2004年の診療所数が892(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に934(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、42診療所が増加した。

2004年の総病床数が10518床(人口1万人当たり85(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に10993床(人口1万人当たり84(全国平均133)偏差値41)と、475床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

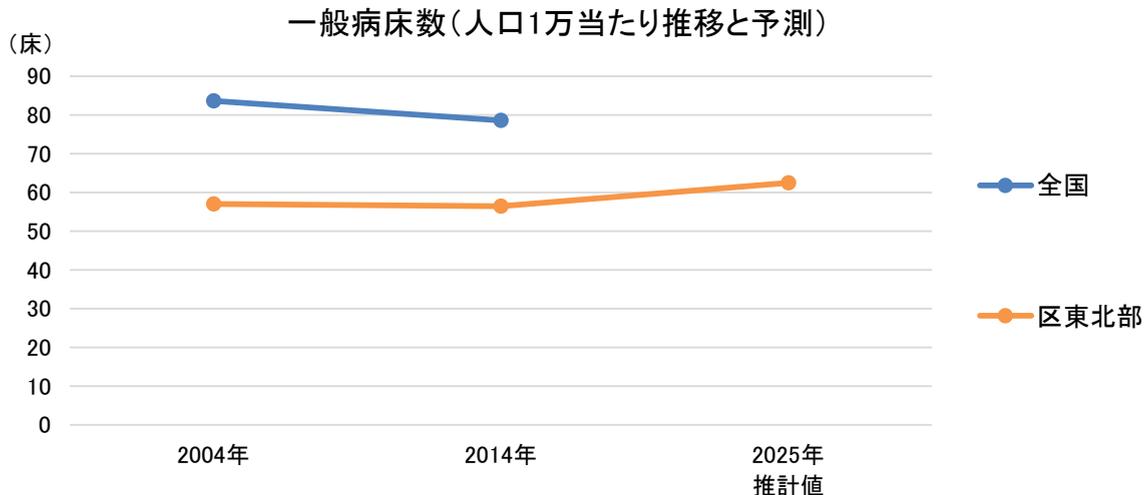
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1809人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に2191人(人口10万人当たり167人(全国平均246人)偏差値42)と、382人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



### 13. 東京都（2016年版）

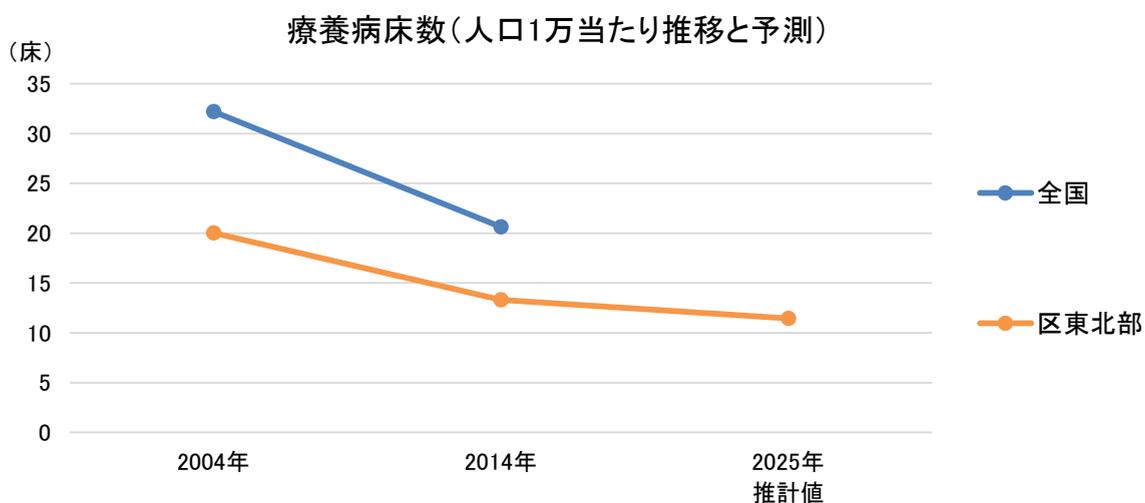
#### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7076床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に7407床(人口1万人当たり56(全国平均79)偏差値42)と、331床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には7771床(2025年の推計人口1万人当たり62)になることが予想される。



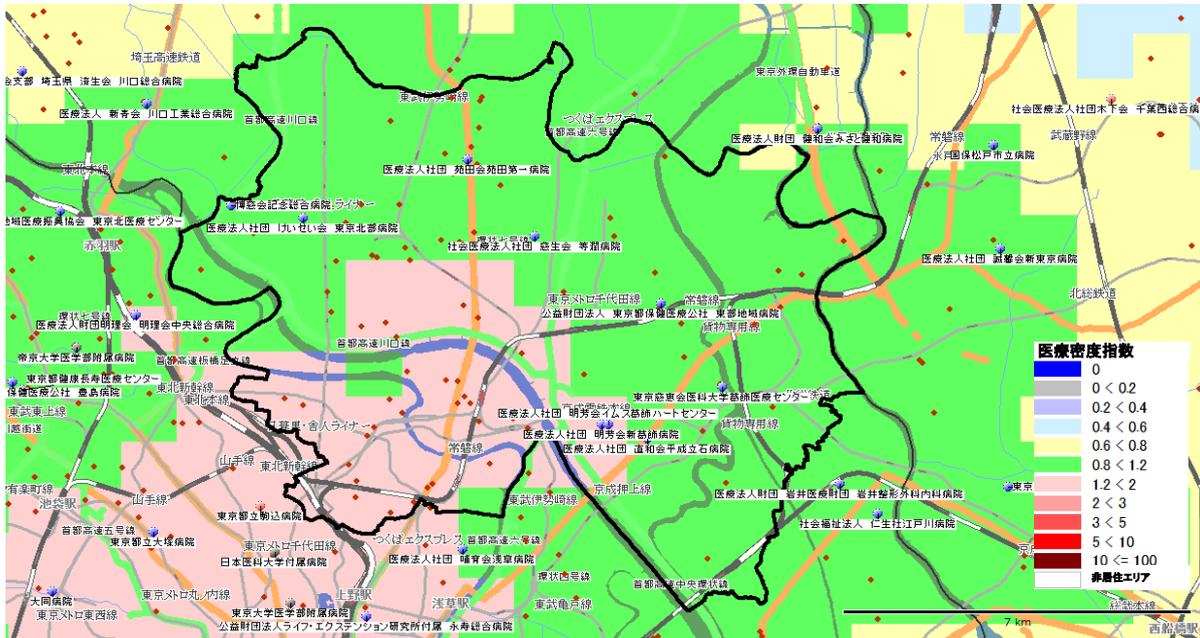
#### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1942床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に2092床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値44)と、150床の増加、率にして8%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2257床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。

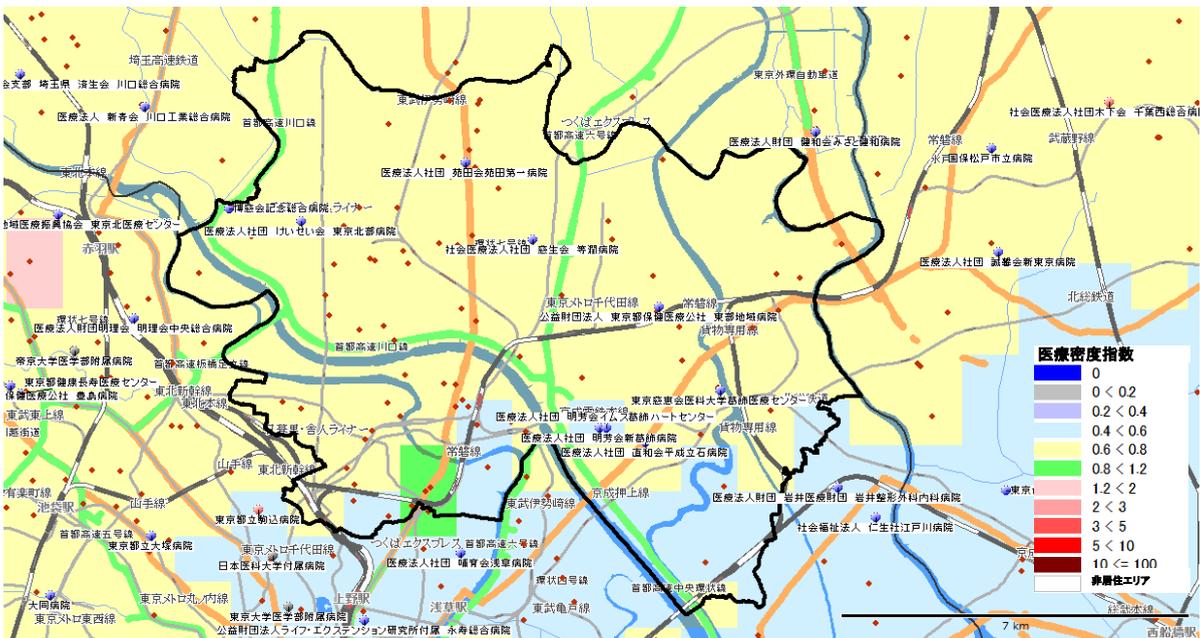


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-6-1 急性期医療密度指数マップ



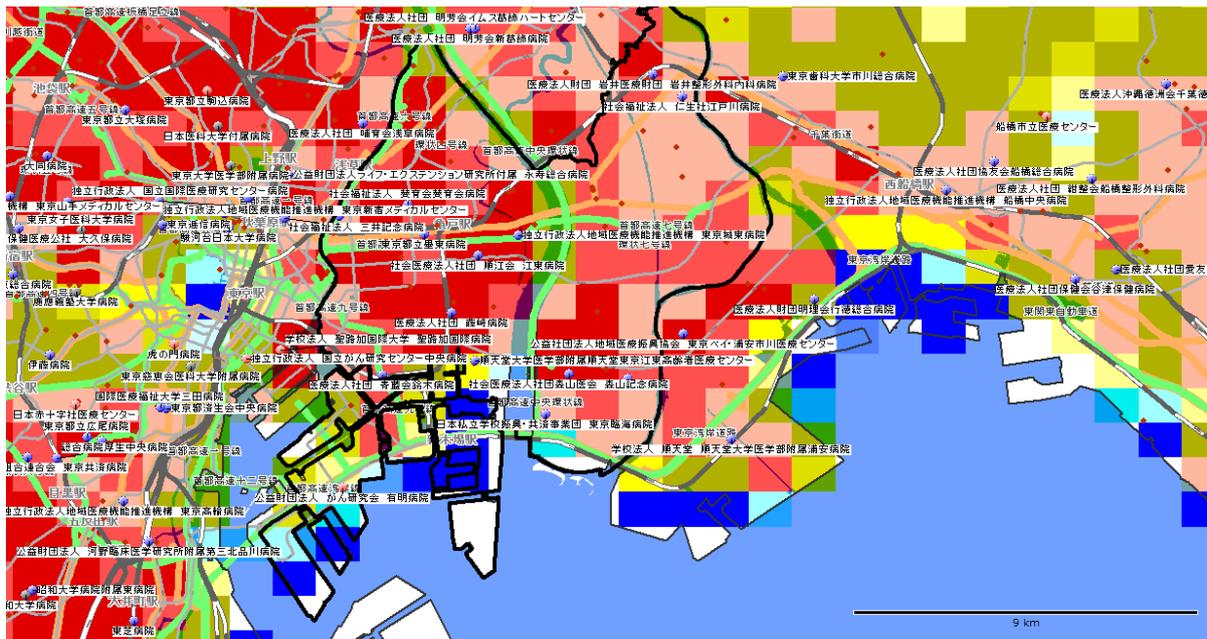
図表13-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# くとうぶ 13-7. 区東部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [墨田区](#) [江東区](#) [江戸川区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (区東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 区東部(墨田区)は、総人口約1412千人(2015年推計)、面積103km<sup>2</sup>、人口密度は13649人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 区東部の総人口は2025年に1433千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に1403千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の131千人が、2025年にかけて176千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には191千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 区東部の一人当たり医療費(国保)は293千円(偏差値44)、介護給付費は229千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 区東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数43、診療所医師数53)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。区東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の江戸川病院(Ⅲ群)、東京都立墨東病院(Ⅱ群・救命)、がん研究会有明病院(Ⅱ群)、1000例以上の昭和大学江東豊洲病院(Ⅲ群)、東京臨海病院(Ⅲ群)、岩井整形外科内科病院(Ⅲ群)、江東病院(Ⅲ群)、同愛記念病院(Ⅲ群)、500例以上の森山記念病院(Ⅲ群)、順天堂東京江東高齢者医療センター(Ⅲ群)、藤崎病院(Ⅲ群)、賛育会病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 区東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10117人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5574床(偏差値36)、高齢者住宅等が4543床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7837人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム60、軽費ホーム47、グループホーム43、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1927人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-62%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

区東部医療圏の総人口は、2005年1305962人が、2015年に1412034人と8%増加し、2025年の人口が1432511人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

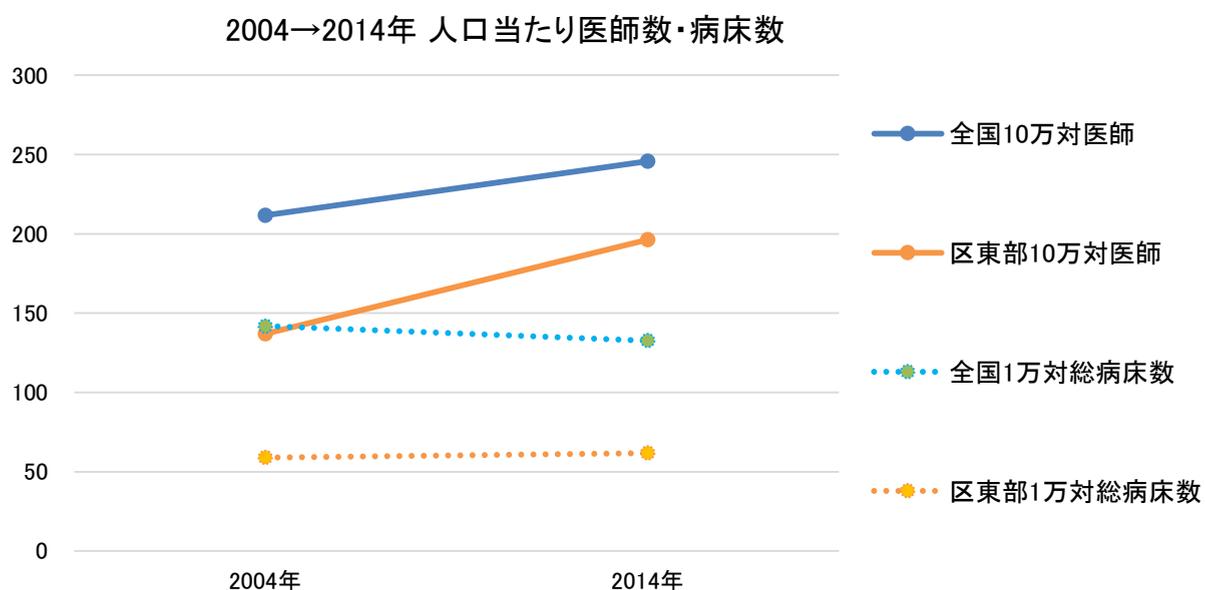
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が51(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に53(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が914(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に1030(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、116診療所が増加した。

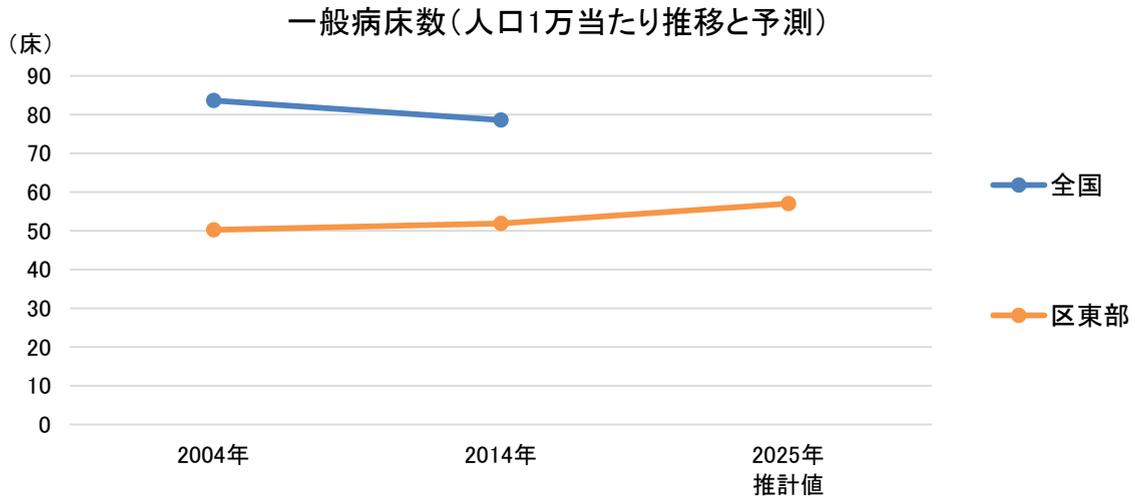
2004年の総病床数が7697床(人口1万人当たり59(全国平均142)偏差値35)であったが、2014年に8730床(人口1万人当たり62(全国平均133)偏差値37)と、1033床の増加、率にして13%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1788人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に2773人(人口10万人当たり196人(全国平均246人)偏差値45)と、985人の増加、率にして55%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



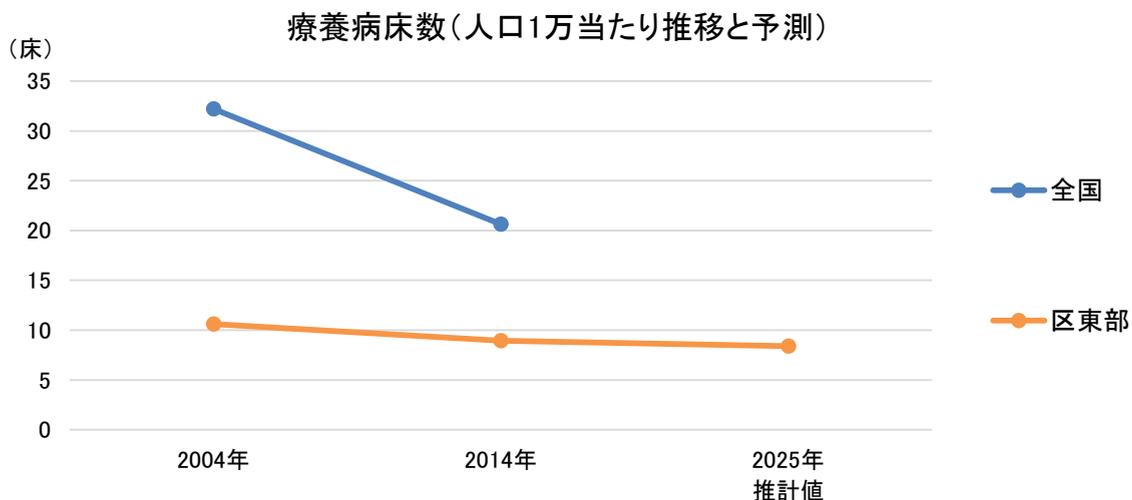
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6566床(人口1万人当たり50(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に7331床(人口1万人当たり52(全国平均79)偏差値40)と、765床の増加、率にして12%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には8173床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

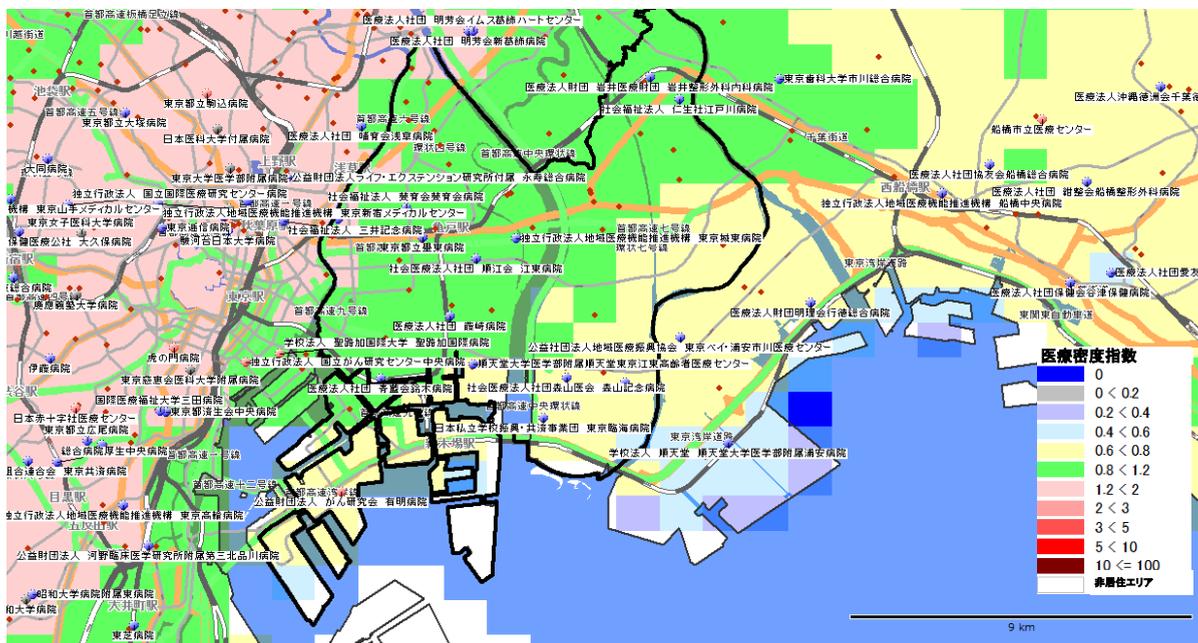
2004年の療養病床(病院+診療所)が896床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に1174床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値40)と、278床の増加、率にして31%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1480床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



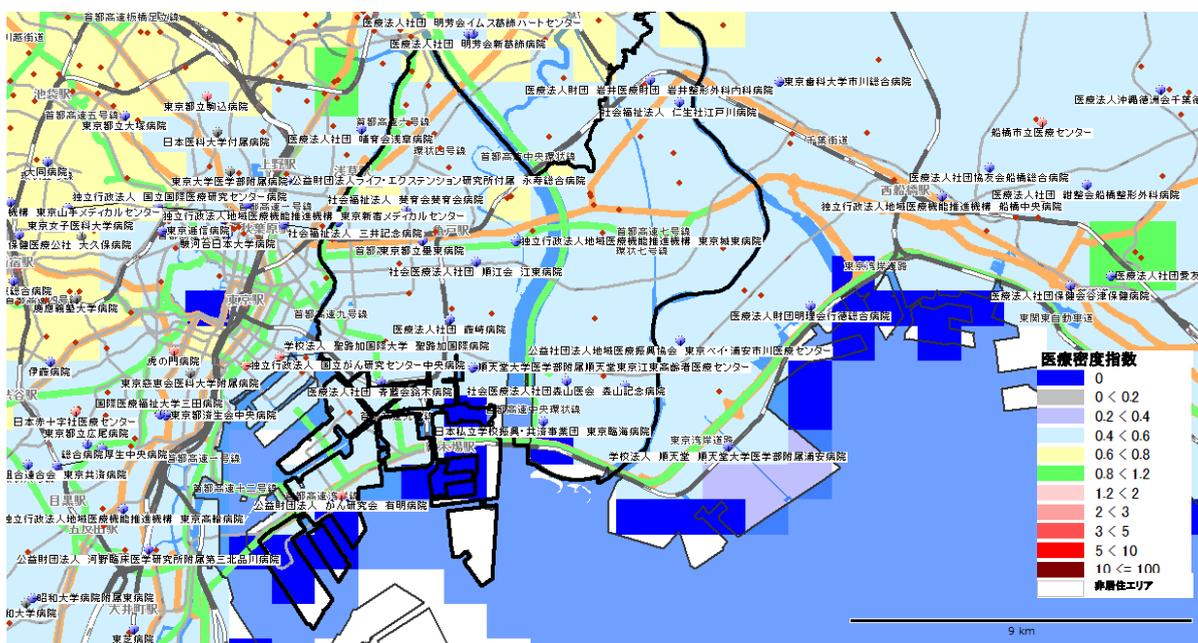
# 13. 東京都（2016年版）

## 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-7-2 慢性期医療密度指数マップ



# 13-8. にしたま西多摩医療圏

構成市区町村<sup>10</sup>

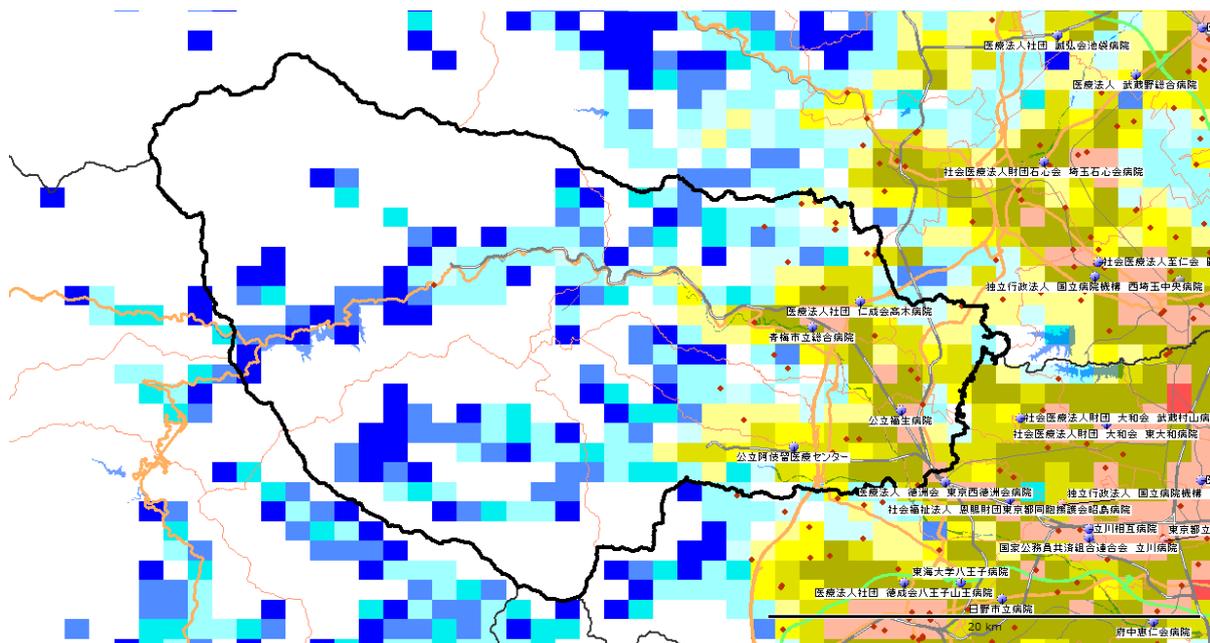
青梅市  
瑞穂町

福生市  
日の出町

羽村市  
檜原村

あきる野市  
奥多摩町

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （西多摩医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 西多摩(青梅市)は、総人口約388千人(2015年推計)、面積573km<sup>2</sup>、人口密度は677人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 西多摩の総人口は2025年に362千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に310千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて66千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には66千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 西多摩の一人当たり医療費(国保)は286千円(偏差値42)、介護給付費は205千円(偏差値37)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 西多摩の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が43(病院医師数45、診療所医師数41)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。西多摩には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立福生病院(Ⅲ群)、高木病院(Ⅲ群)、青梅市立総合病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の公立阿伎留医療センター(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 西多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10039人(75歳以上1000人当たりの偏差値116)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8843床(偏差値149)、高齢者住宅等が1196床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7031人(75歳以上1000人当たりの偏差値111)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム156、介護療養型医療施設83、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム36、サ高住45である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、308人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+46%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

西多摩医療圏の総人口は、2005年398832人が、2015年に387580人と3%減少し、2025年の人口が361840人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

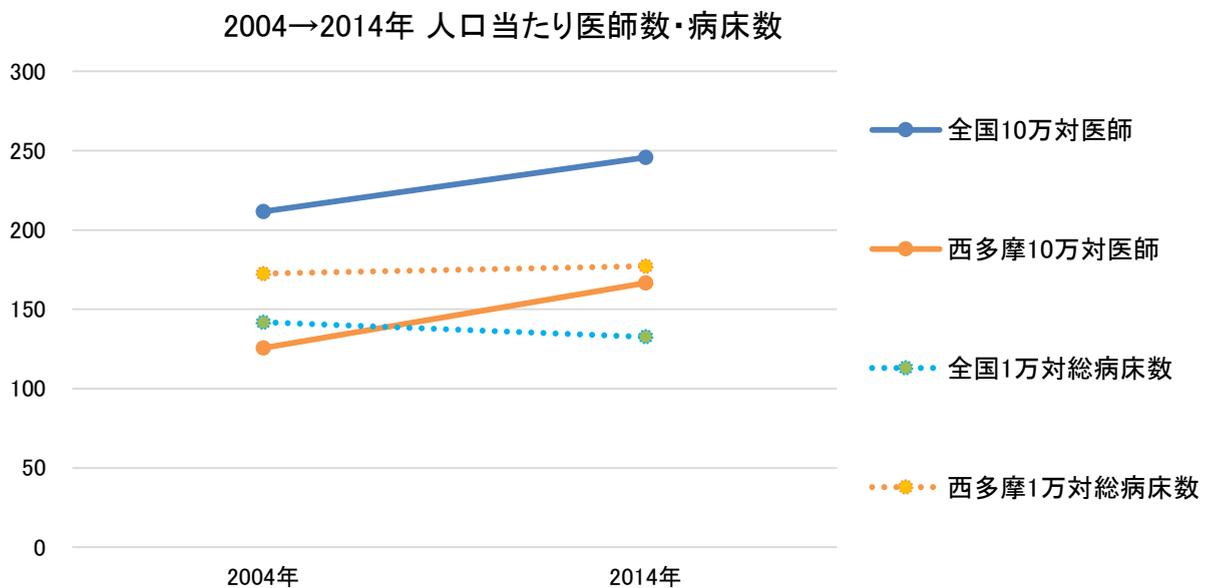
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が29(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に30(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が253(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に250(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値42)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が6880床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に6867床(人口1万人当たり177(全国平均133)偏差値58)と、13床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

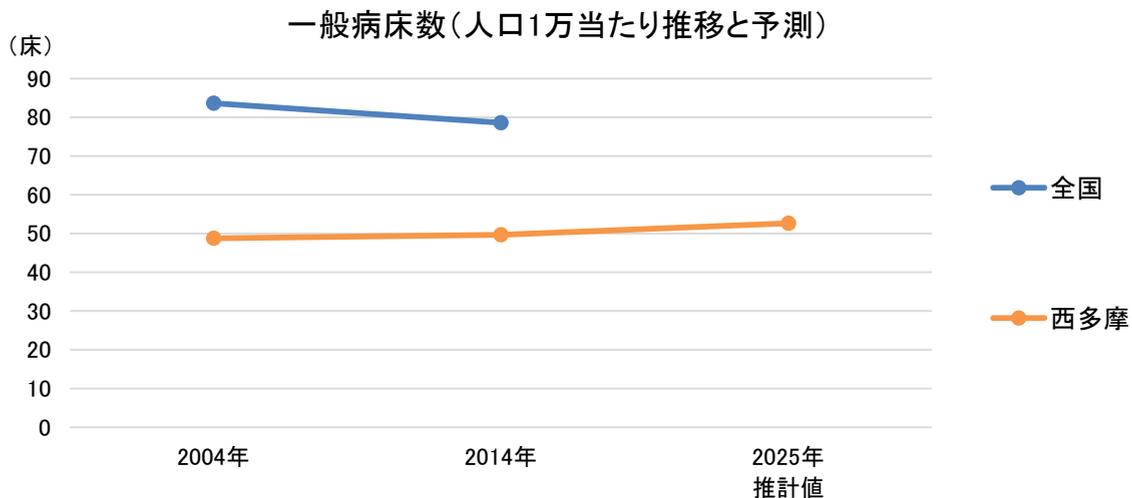
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が501人(人口10万人当たり126人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に646人(人口10万人当たり167人(全国平均246人)偏差値42)と、145人の増加、率にして29%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



### 13. 東京都（2016年版）

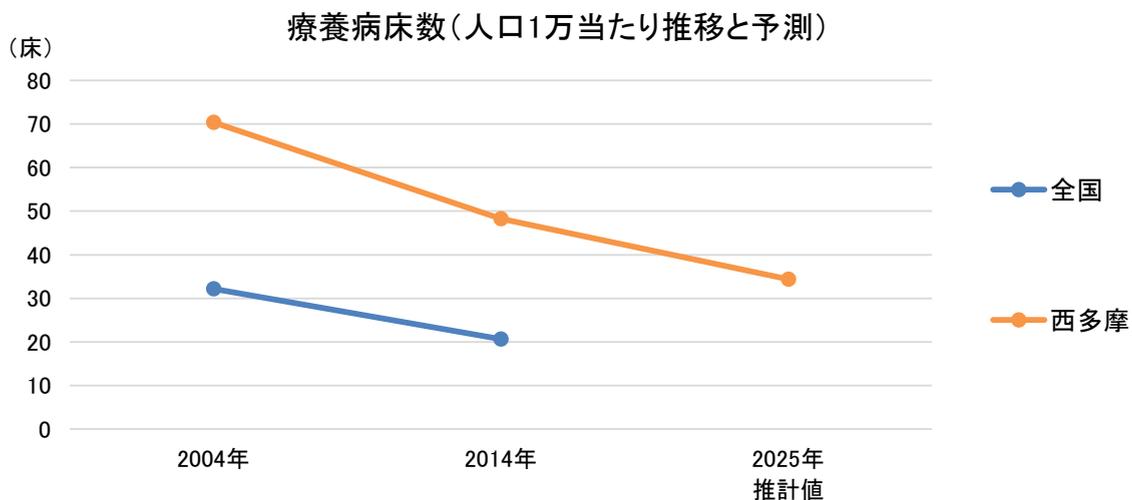
#### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1944床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に1925床(人口1万人当たり50(全国平均79)偏差値39)と、19床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1904床(2025年の推計人口1万人当たり53)になることが予想される。



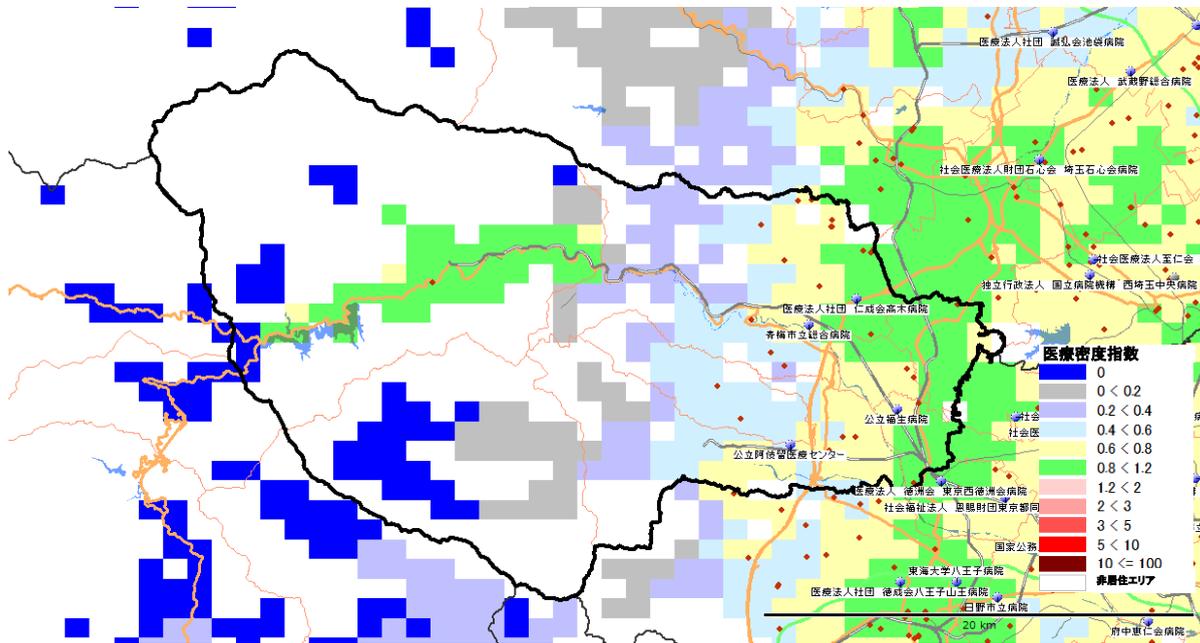
#### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2348床(75歳以上1000人当たり70(全国平均32)偏差値72)であったが、2014年に2316床(75歳以上1000人当たり48(全国平均21)偏差値74)と、32床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2281床(2025年の推計75歳以上1000人当たり34)になることが予想される。

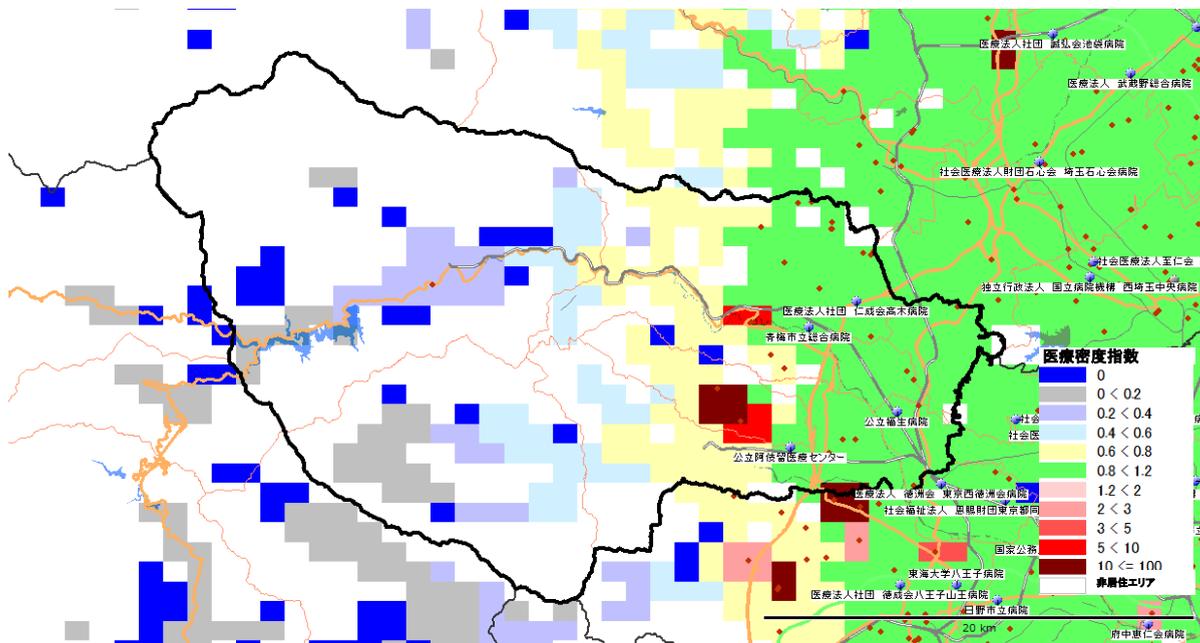


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-8-1 急性期医療密度指数マップ



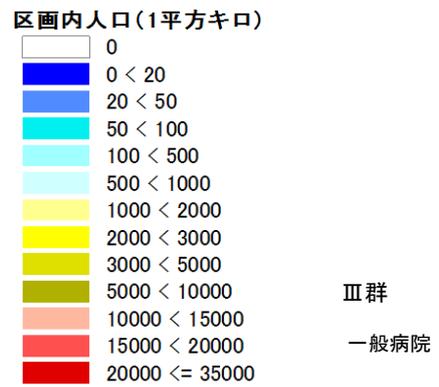
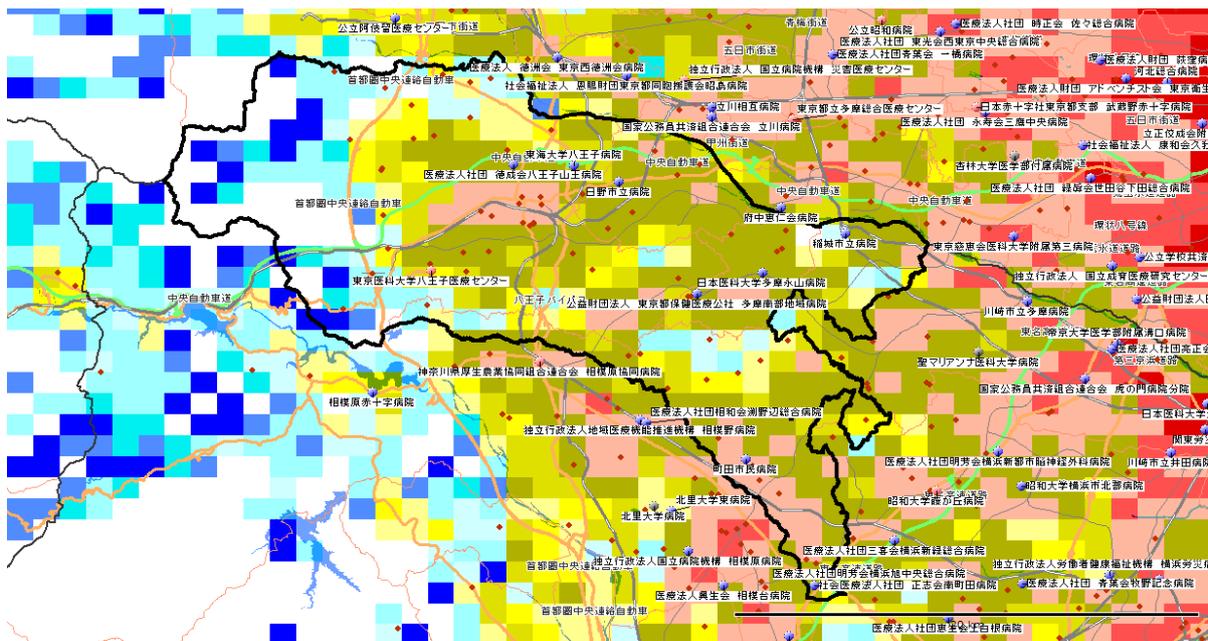
図表13-8-2 慢性期医療密度指数マップ



# 13-9. みなみたま 南多摩医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [八王子市](#) [町田市](#) [日野市](#) [多摩市](#)  
[稲城市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (南多摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南多摩(八王子市)は、総人口約1447千人(2015年推計)、面積325km<sup>2</sup>、人口密度は4460人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南多摩の総人口は2025年に1441千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に1353千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の162千人が、2025年にかけて241千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には252千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南多摩の一人当たり医療費(国保)は298千円(偏差値45)、介護給付費は222千円(偏差値41)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南多摩の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.01で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南多摩には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東海大学八王子病院(Ⅲ群)、東京医科大学八王子医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の稲城市立病院(Ⅲ群)、多摩南部地域病院(Ⅲ群)、日本医科大学多摩永山病院(Ⅲ群・救命)、日野市立病院(Ⅲ群)、町田市民病院(Ⅲ群)、500例以上の南町田病院(Ⅲ群)、南多摩病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18226人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9504床(偏差値49)、高齢者住宅等が8722床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11203人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム73、軽費ホーム44、グループホーム39、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1737人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

南多摩医療圏の総人口は、2005年1364453人が、2015年に1447255人と6%増加し、2025年の人口が1441077人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に24%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

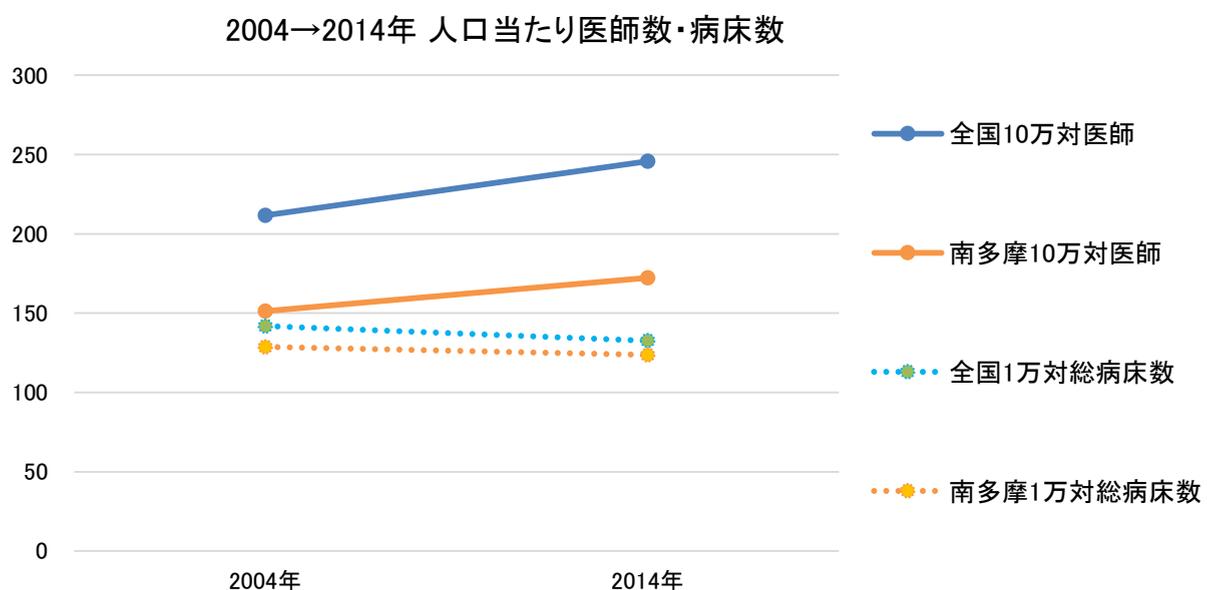
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が76(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に77(人口10万人当たり5.3病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が911(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に956(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、45診療所が増加した。

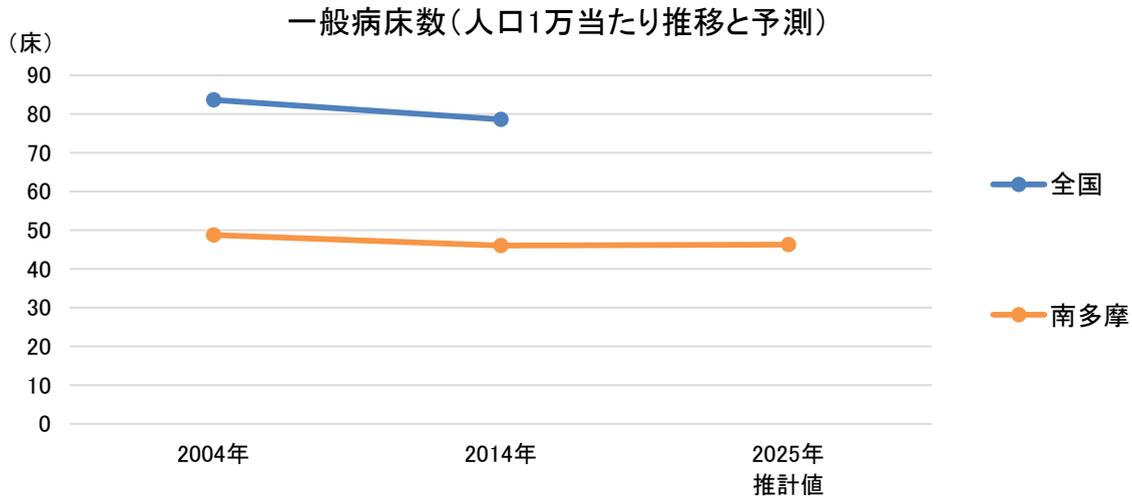
2004年の総病床数が17567床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に17891床(人口1万人当たり124(全国平均133)偏差値48)と、324床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2064人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に2494人(人口10万人当たり172人(全国平均246人)偏差値43)と、430人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



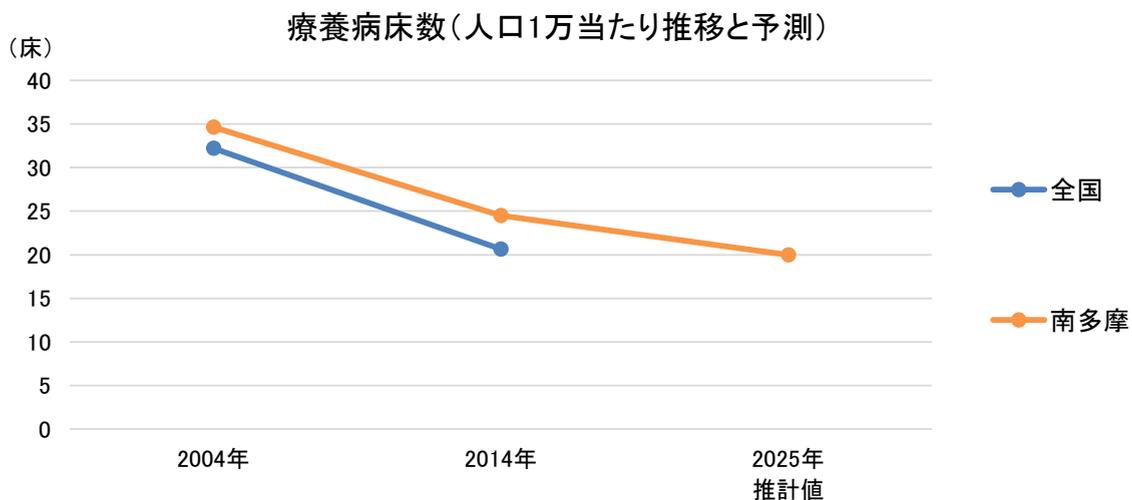
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6654床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に6660床(人口1万人当たり46(全国平均79)偏差値38)と、6床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には6667床(2025年の推計人口1万人当たり46)になることが予想される。



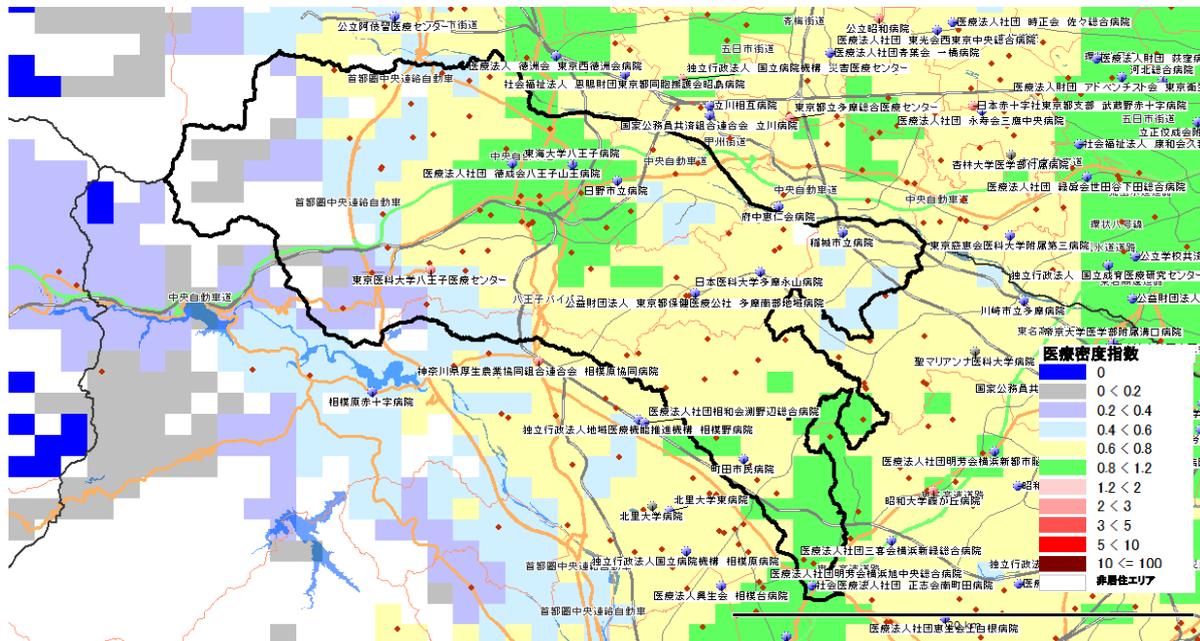
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3185床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に3962床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値53)と、777床の増加、率にして24%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4817床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

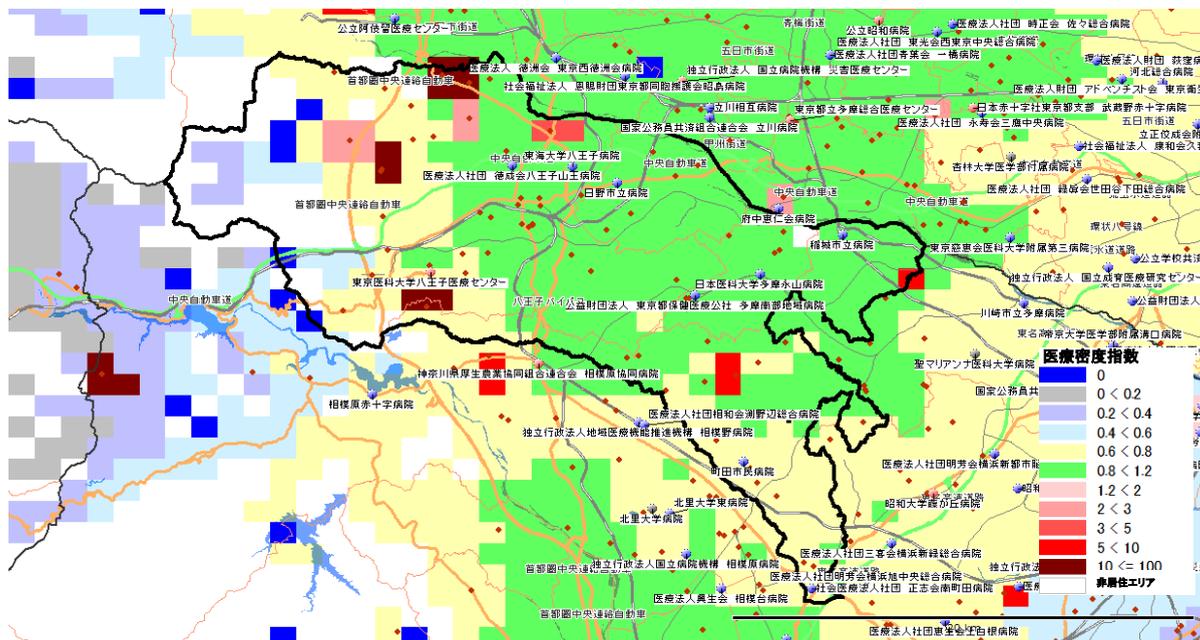


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-9-1 急性期医療密度指数マップ



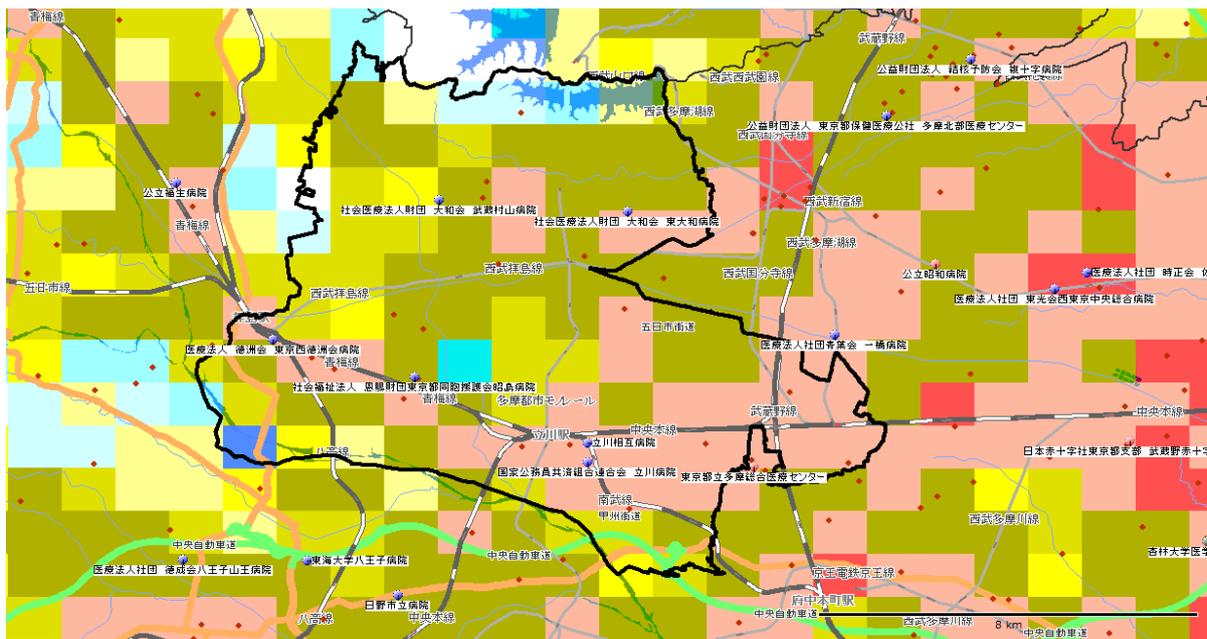
図表13-9-2 慢性期医療密度指数マップ



# 13-10. きたたませいぶ北多摩西部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [立川市](#) [昭島市](#) [国分寺市](#) [国立市](#)  
[東大和市](#) [武蔵村山市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## （北多摩西部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 北多摩西部(立川市)は、総人口約649千人(2015年推計)、面積90km<sup>2</sup>、人口密度は7187人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 北多摩西部の総人口は2025年に638千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に590千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の72千人が、2025年にかけて101千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には108千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 北多摩西部の一人当たり医療費(国保)は287千円(偏差値42)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 北多摩西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.77で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数41、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。北多摩西部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の東大和病院(Ⅲ群)、立川病院(Ⅲ群)、国立病院機構災害医療センター(Ⅱ群・救命)、500例以上の武蔵村山病院(Ⅲ群)、東京西徳洲会病院(Ⅲ群)、立川相互病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 北多摩西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6743人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3873床(偏差値45)、高齢者住宅等が2870床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4621人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム55、軽費ホーム44、グループホーム39、サ高住54である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、896人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-59%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

北多摩西部医療圏の総人口は、2005年618886人が、2015年に648657人と5%増加し、2025年の人口が638003人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

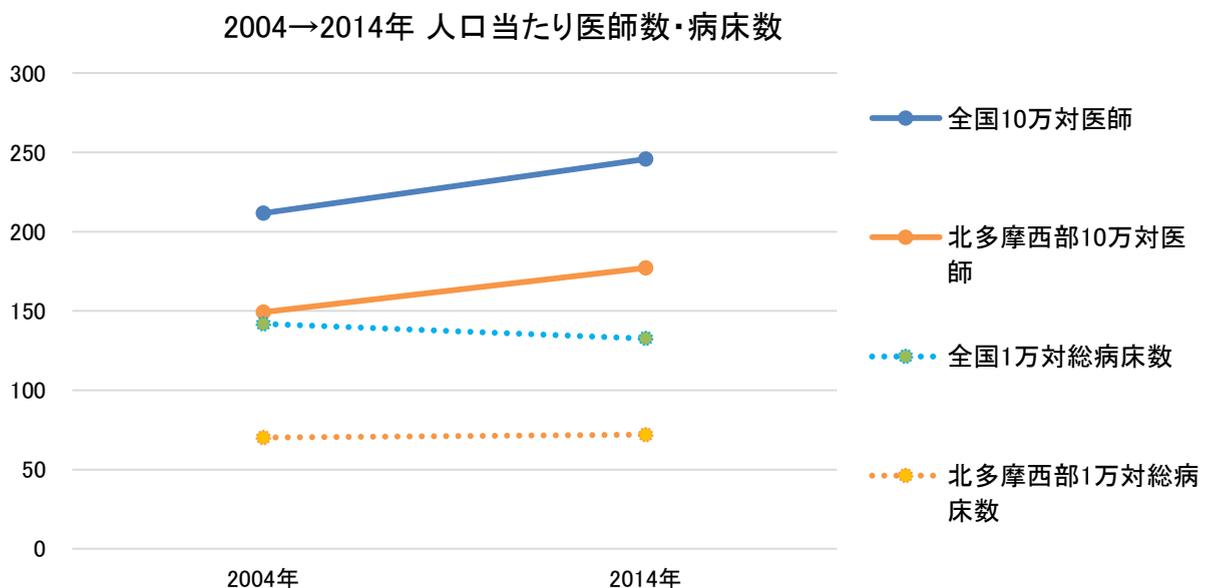
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が23(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に25(人口10万人当たり3.9病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が469(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に487(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、18診療所が増加した。

2004年の総病床数が4344床(人口1万人当たり70(全国平均142)偏差値37)であったが、2014年に4668床(人口1万人当たり72(全国平均133)偏差値39)と、324床の増加、率にして7%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

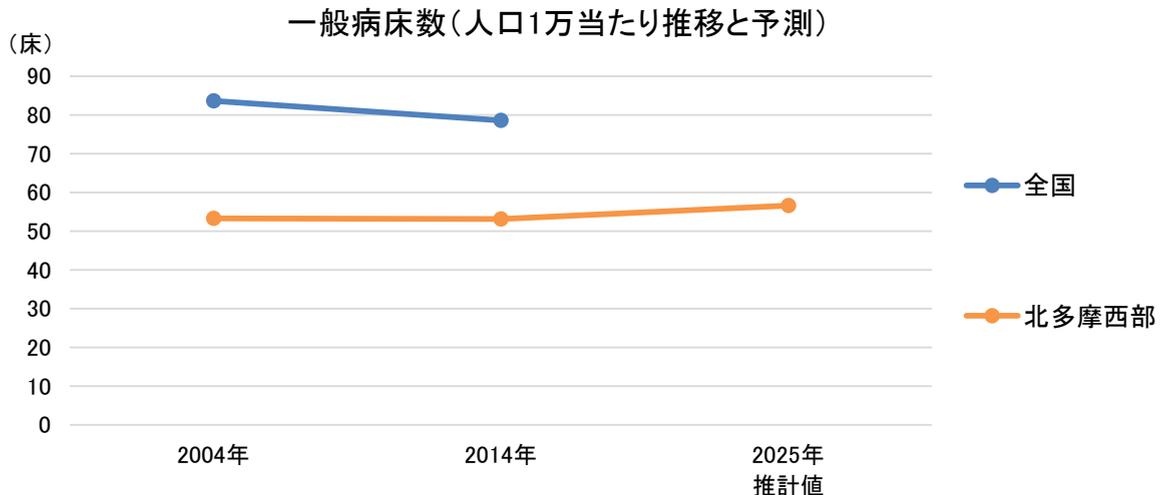
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が924人(人口10万人当たり149人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に1149人(人口10万人当たり177人(全国平均246人)偏差値43)と、225人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



### 13. 東京都（2016年版）

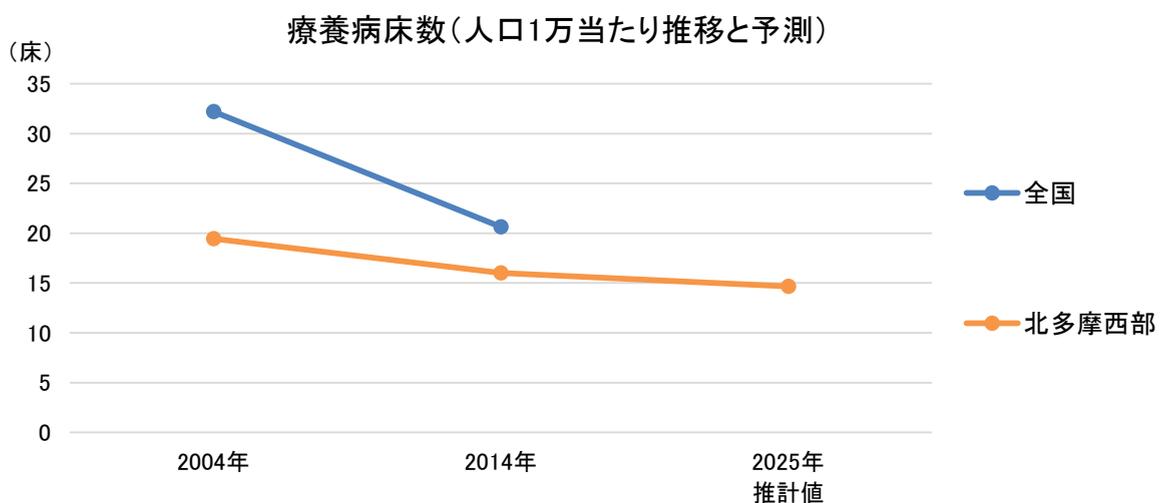
#### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3301床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2014年に3449床(人口1万人当たり53(全国平均79)偏差値41)と、148床の増加、率にして4%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3612床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



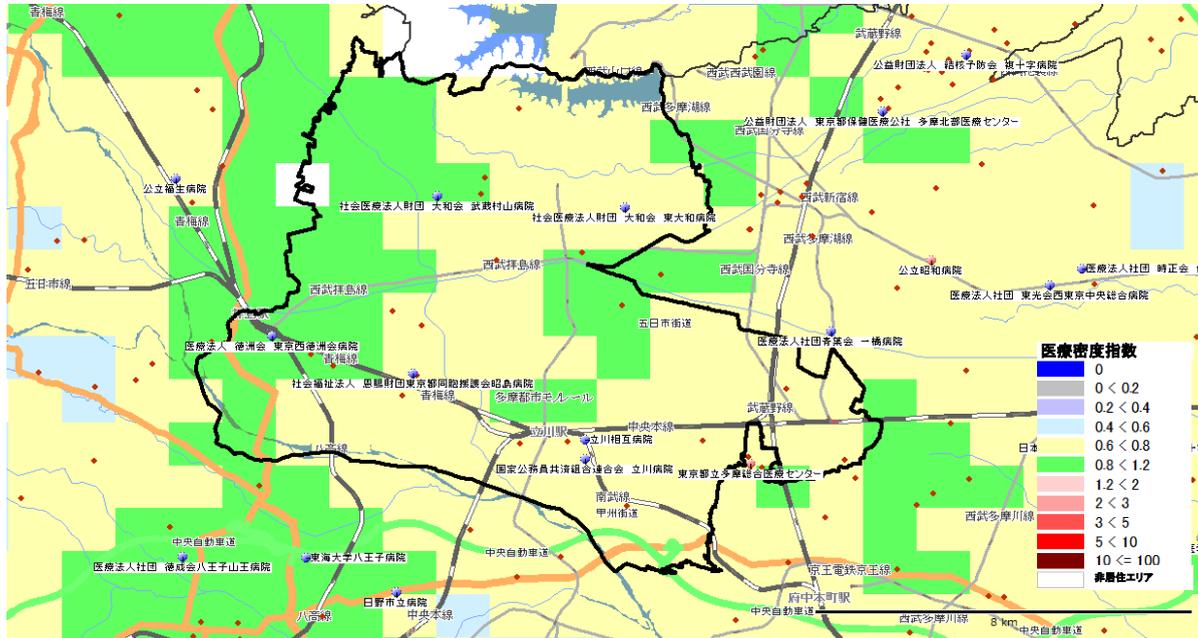
#### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が843床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に1150床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、307床の増加、率にして36%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1488床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

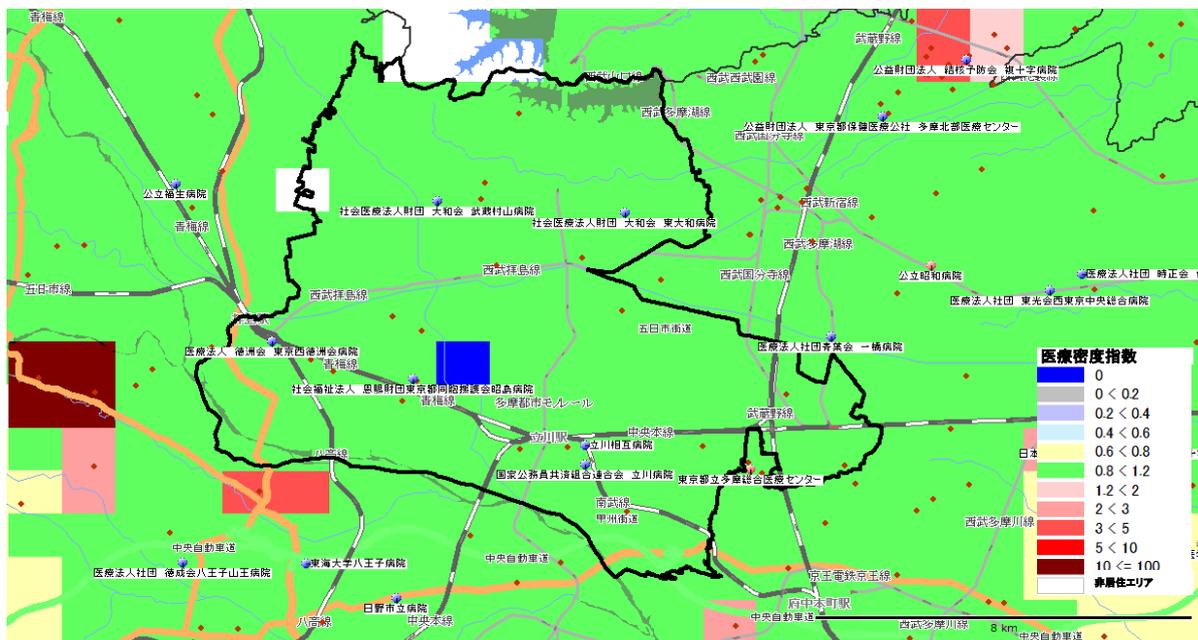


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-10-1 急性期医療密度指数マップ



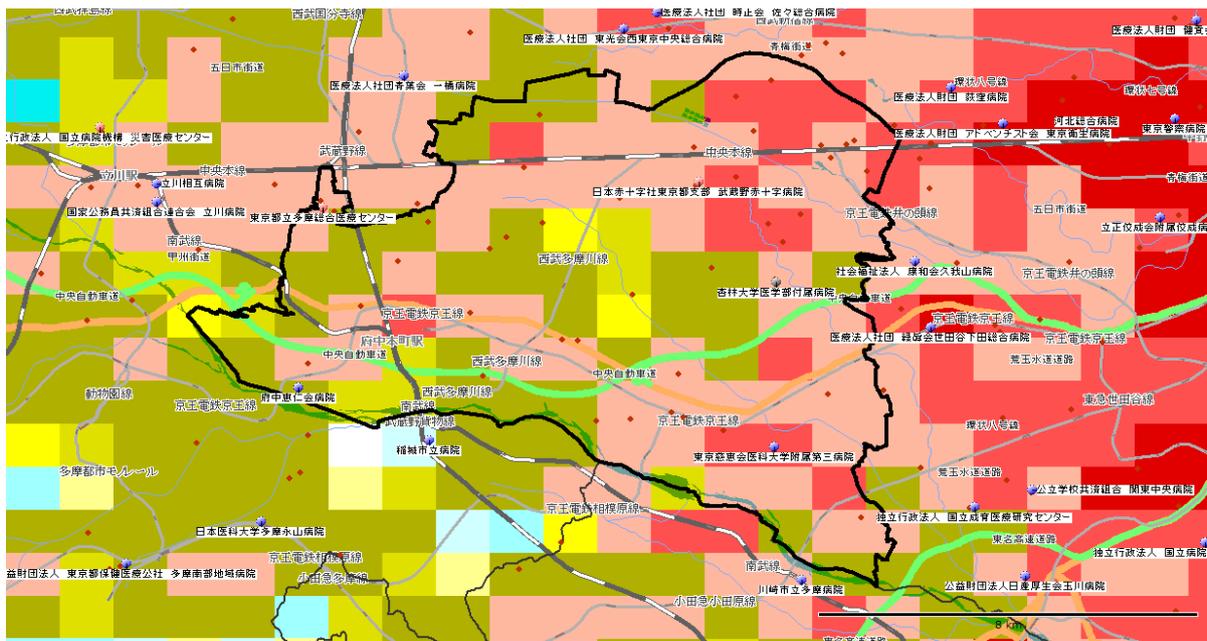
図表13-10-2 慢性期医療密度指数マップ



きたたまななぶ  
**13-11. 北多摩南部医療圏**

構成市区町村<sup>10</sup> [武蔵野市](#) [三鷹市](#) [府中市](#) [調布市](#)  
[小金井市](#) [狛江市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (北多摩南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北多摩南部(武蔵野市)は、総人口約1019千人(2015年推計)、面積96km<sup>2</sup>、人口密度は10634人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北多摩南部の総人口は2025年に1017千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に965千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の110千人が、2025年にかけて149千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には172千人へと増加する(2025年比+15%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北多摩南部の一人当たり医療費(国保)は282千円(偏差値41)、介護給付費は251千円(偏差値49)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北多摩南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.71、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.53で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数58、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。北多摩南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京慈恵会医科大学附属第三病院(Ⅲ群)、東京都立小児総合医療センター(Ⅲ群)、東京都立多摩総合医療センター(Ⅱ群・救命)、武蔵野赤十字病院(Ⅱ群・救命)、杏林大学医学部付属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の榊原記念病院(Ⅲ群)、500例以上の府中恵仁会病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北多摩南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9511人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4163床(偏差値33)、高齢者住宅等が5348床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6378人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム72、軽費ホーム45、グループホーム39、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1447人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-59%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

北多摩南部医療圏の総人口は、2005年968714人が、2015年に1018936人と5%増加し、2025年の人口が1016764人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

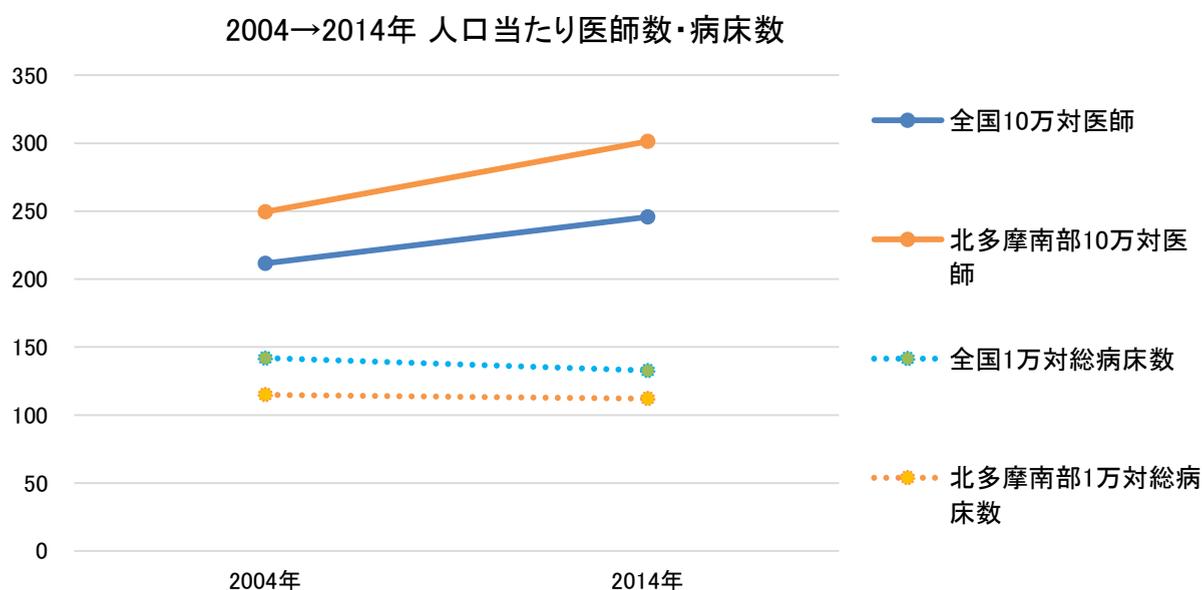
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.9病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に48(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が796(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に828(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、32診療所が増加した。

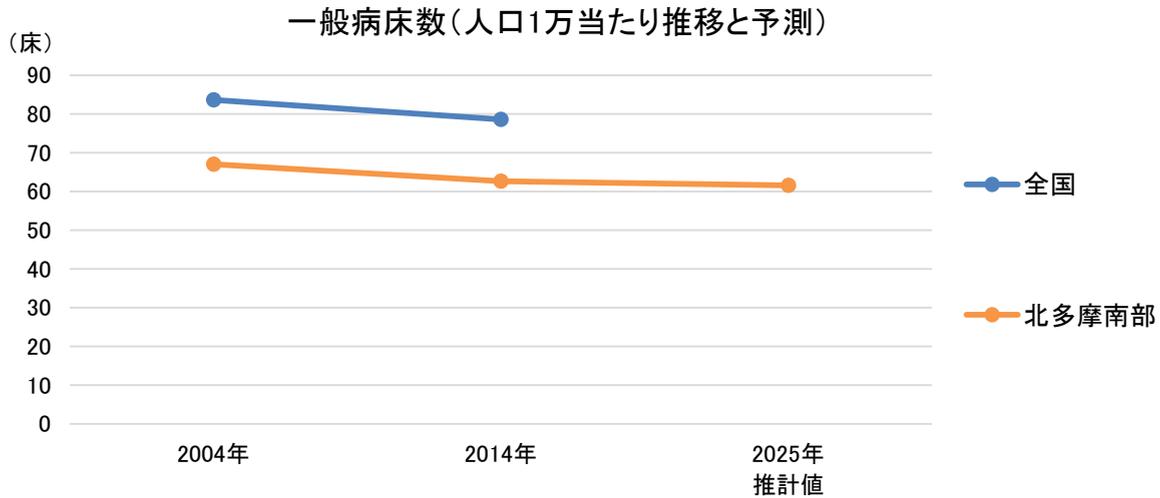
2004年の総病床数が11134床(人口1万人当たり115(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に11420床(人口1万人当たり112(全国平均133)偏差値46)と、286床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2416人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に3071人(人口10万人当たり301人(全国平均246人)偏差値56)と、655人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



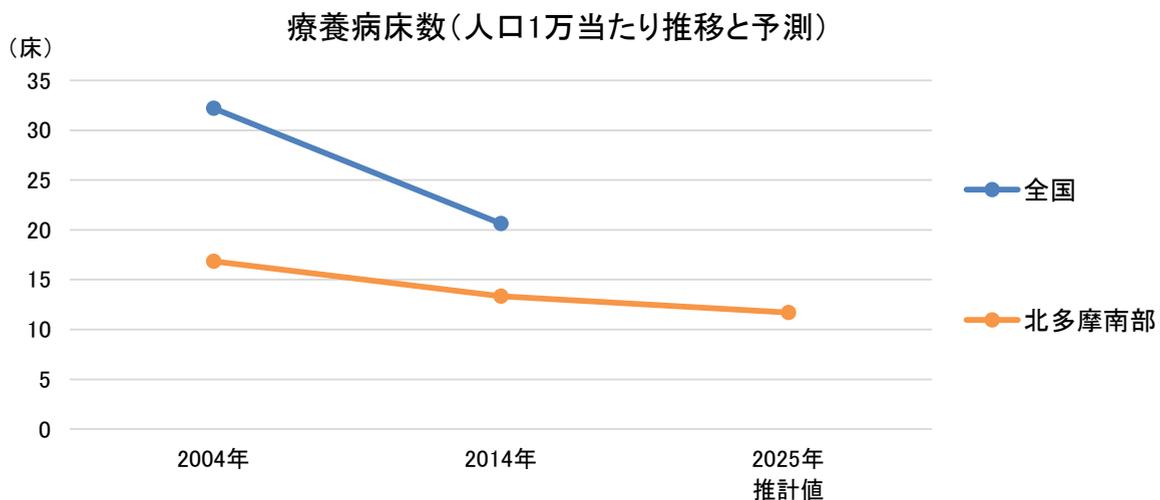
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6495床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に6384床(人口1万人当たり63(全国平均79)偏差値44)と、111床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6262床(2025年の推計人口1万人当たり62)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

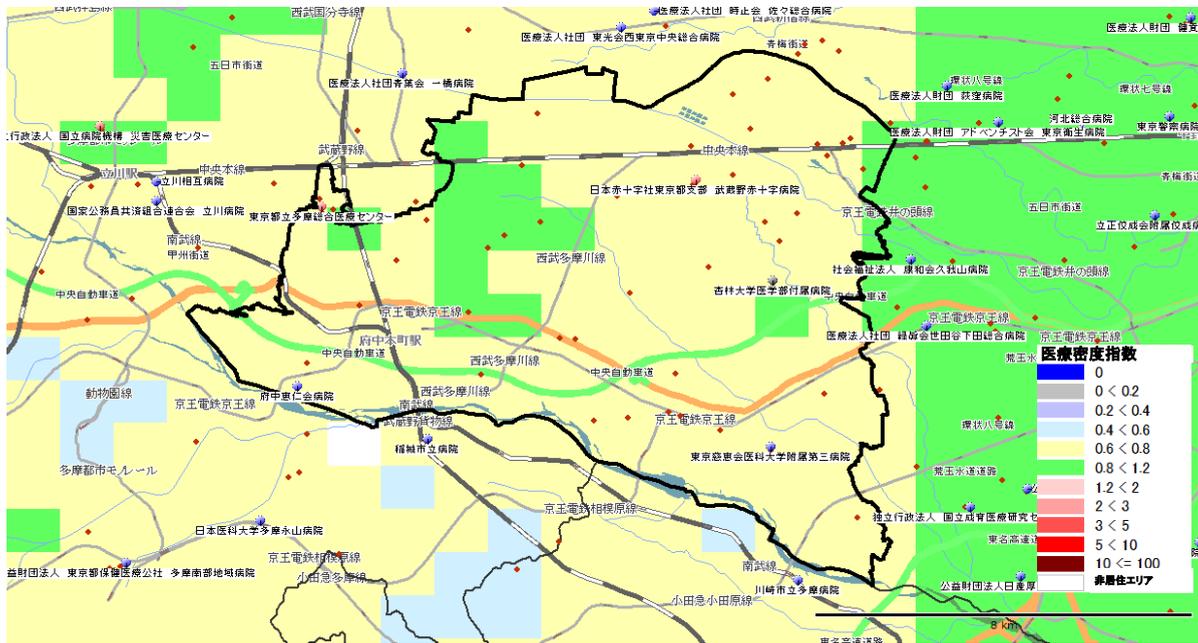
2004年の療養病床(病院+診療所)が1216床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に1464床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値44)と、248床の増加、率にして20%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1737床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



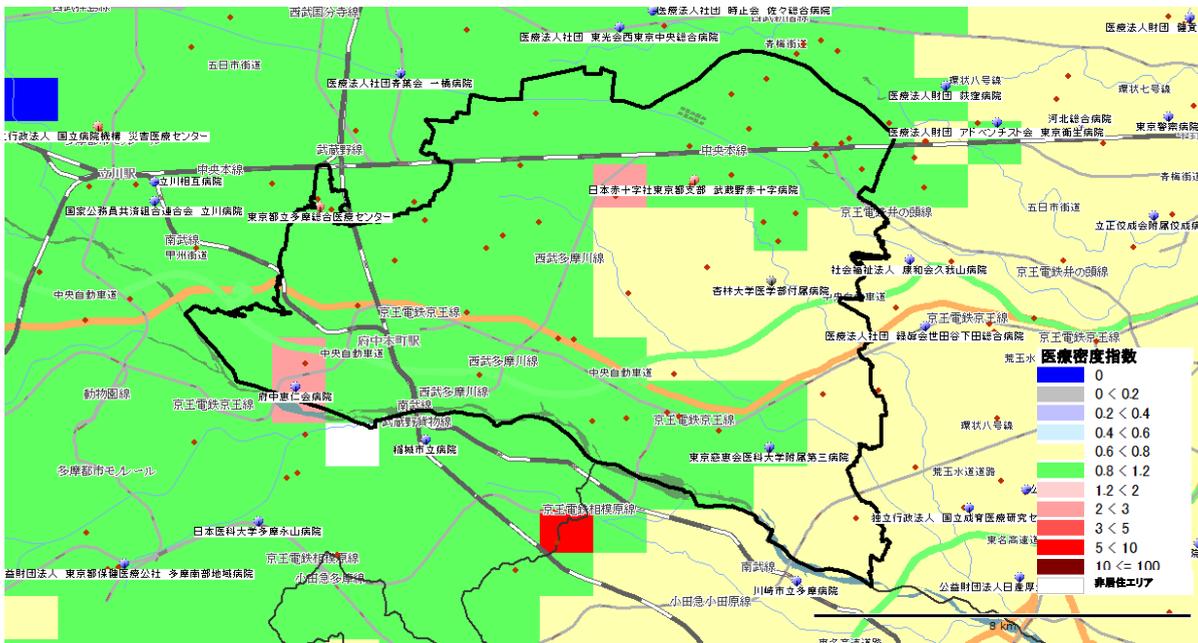
# 13. 東京都（2016年版）

## 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-11-1 急性期医療密度指数マップ



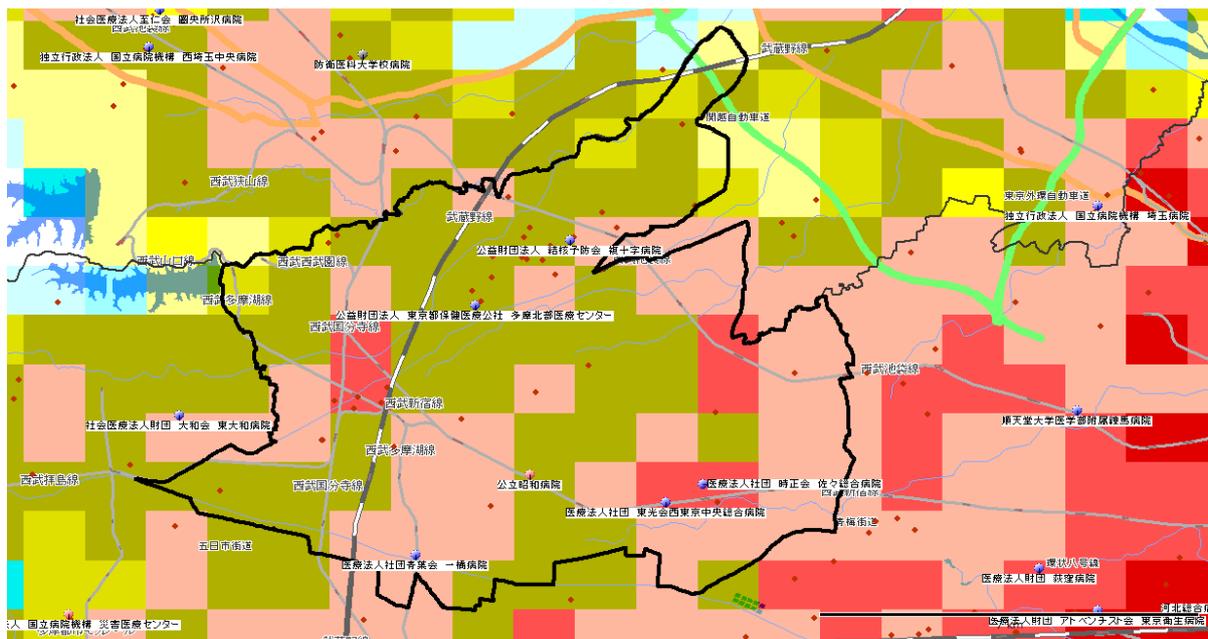
図表13-11-2 慢性期医療密度指数マップ



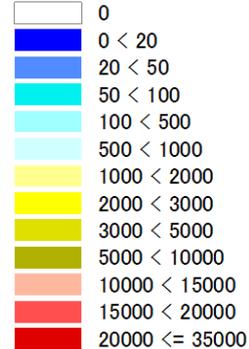
# 13-12. きたたまほくぶ 北多摩北部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [小平市](#) [東村山市](#) [清瀬市](#) [東久留米市](#)  
[西東京市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （北多摩北部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北多摩北部(小平市)は、総人口約736千人(2015年推計)、面積77km<sup>2</sup>、人口密度は9608人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北多摩北部の総人口は2025年に724千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に674千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の90千人が、2025年にかけて118千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には126千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北多摩北部の一人当たり医療費(国保)は296千円(偏差値44)、介護給付費は243千円(偏差値47)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北多摩北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.81で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が43(病院医師数44、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。北多摩北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の公立昭和病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の西東京中央総合病院(Ⅲ群)、佐々総合病院(Ⅲ群)、多摩北部医療センター(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北多摩北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8678人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4966床(偏差値46)、高齢者住宅等が3712床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5872人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム59、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1010人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-35%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

北多摩北部医療圏の総人口は、2005年707319人が、2015年に735880人と4%増加し、2025年の人口が723675人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

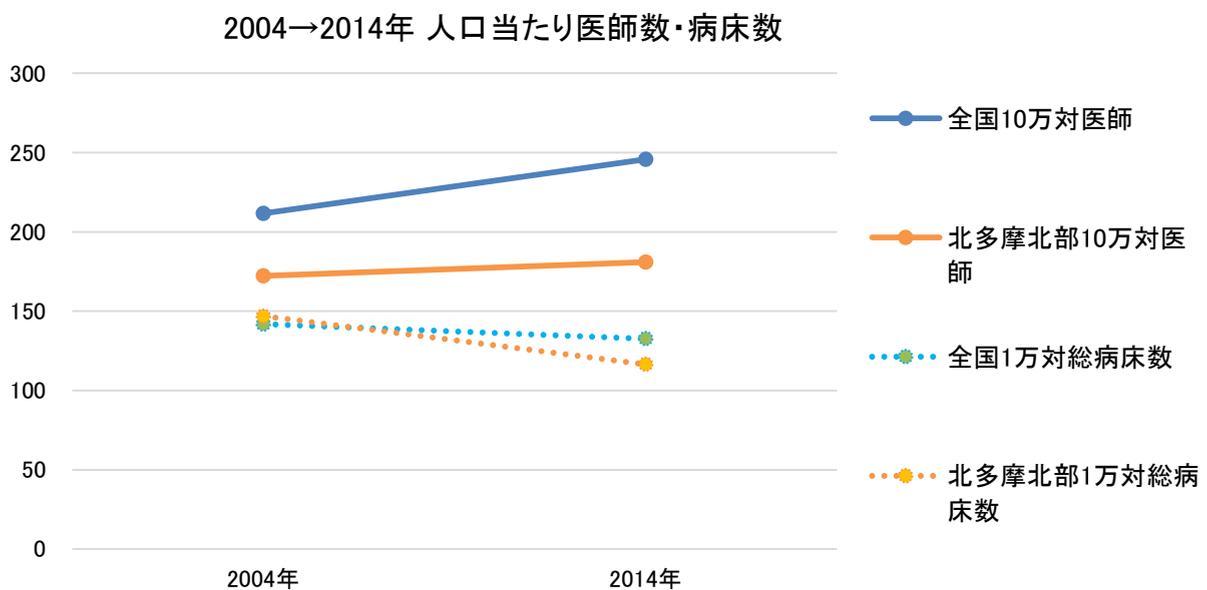
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が45(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に41(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が465(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に468(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が10392床(人口1万人当たり147(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に8570床(人口1万人当たり116(全国平均133)偏差値47)と、1822床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

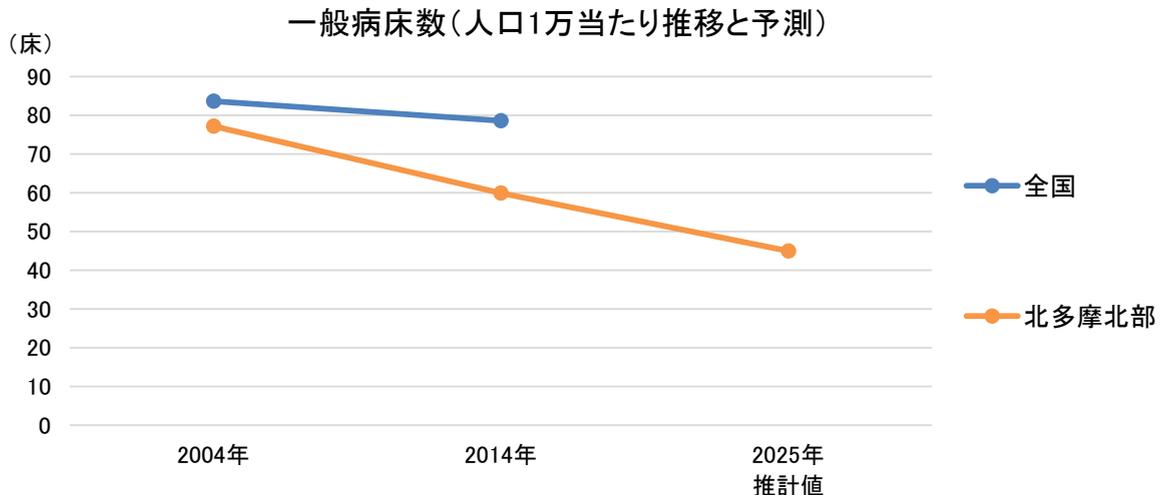
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1219人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に1332人(人口10万人当たり181人(全国平均246人)偏差値43)と、113人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



### 13. 東京都（2016年版）

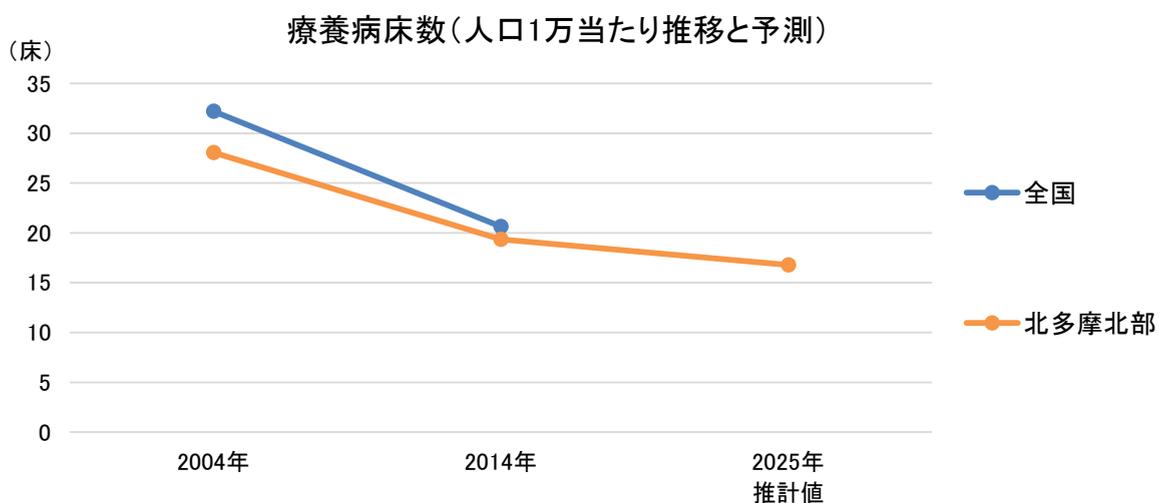
#### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5462床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に4412床(人口1万人当たり60(全国平均79)偏差値43)と、1050床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3257床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



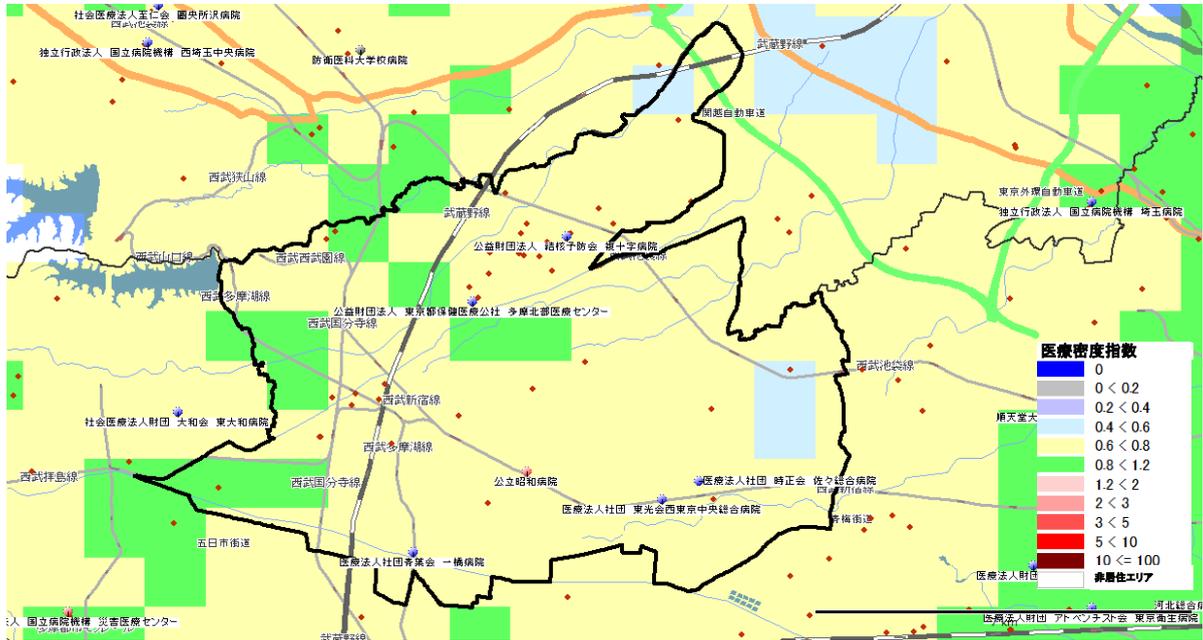
#### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1535床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1743床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、208床の増加、率にして14%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1972床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。

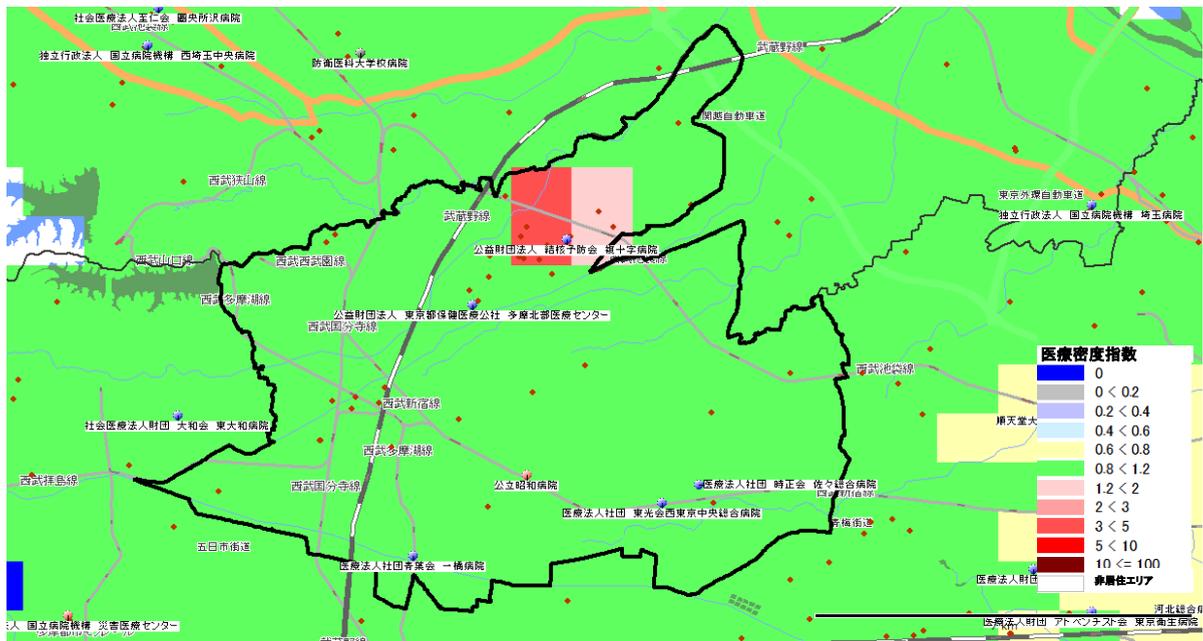


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表13-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-12-2 慢性期医療密度指数マップ



# 13-13. とう島しょ医療圏

構成市区町村<sup>10</sup>

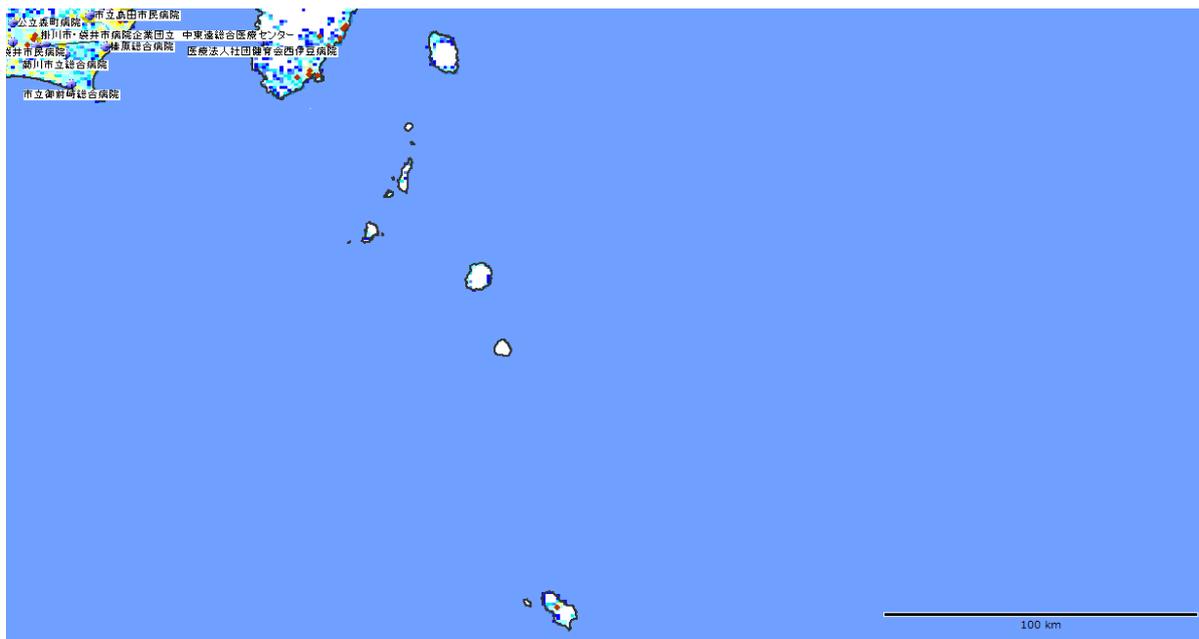
[大島町](#)  
[三宅村](#)  
[小笠原村](#)

[利島村](#)  
[御蔵島村](#)

[新島村](#)  
[八丈町](#)

[神津島村](#)  
[青ヶ島村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (島しょ医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 島しょ(大島町)は、総人口約27千人(2015年推計)、面積401km<sup>2</sup>、人口密度は67人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 島しょの総人口は2025年に23千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に19千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の4千人が、2025年にかけて5千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 島しょの一人当たり医療費(国保)は306千円(偏差値47)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 島しょの一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.18、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.37で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38(病院医師数29、診療所医師数59)と、総医師数は少ないが、診療所医師数は多く、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は28で、一般病床は非常に少ない。全身麻酔数は0件である。島しょには、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 療養病床は0である。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値33と非常に少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 島しょの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、336人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が327床(偏差値60)、高齢者住宅等が9床(偏差値25)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、321人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設なし(偏差値11)、特別養護老人ホーム89、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム33、サ高住なし(偏差値31)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは存在しない。介護職員(在宅)の合計は、39人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

島しょ医療圏の総人口は、2005年28744人が、2015年に26694人と7%減少し、2025年の人口が23443人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

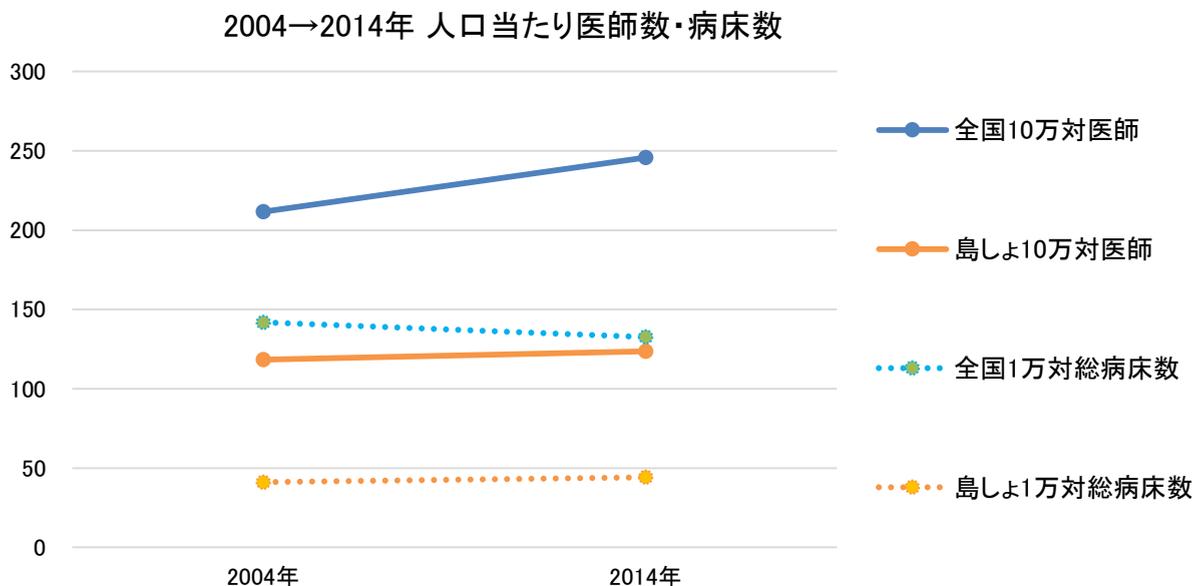
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が1(人口10万人当たり3.5病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に1(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が18(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に22(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値52)と、4診療所が増加した。

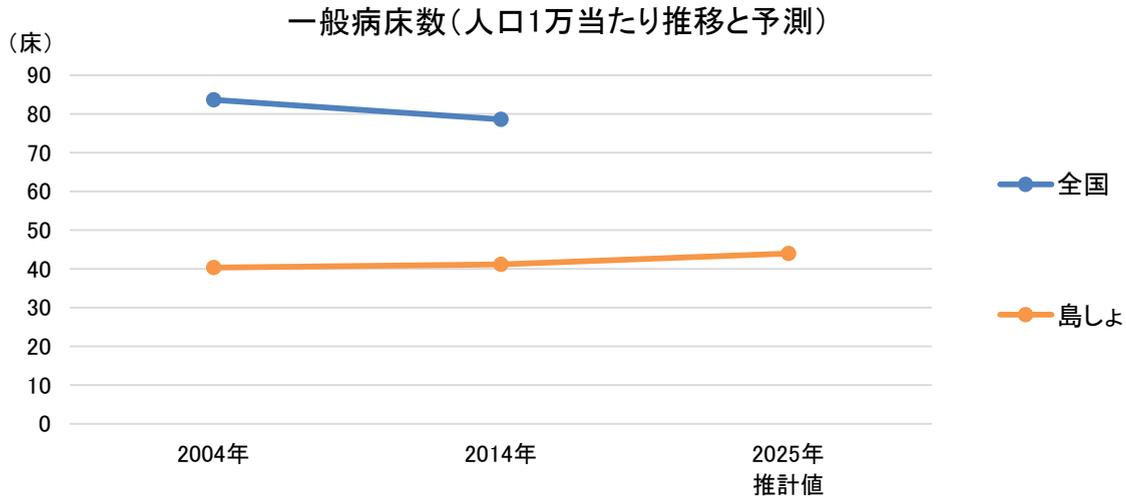
2004年の総病床数が118床(人口1万人当たり41(全国平均142)偏差値32)であったが、2014年に118床(人口1万人当たり44(全国平均133)偏差値34)と、増減がなかった(全国平均7%の減少)。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が34人(人口10万人当たり118人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に33人(人口10万人当たり124人(全国平均246人)偏差値38)と、1人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



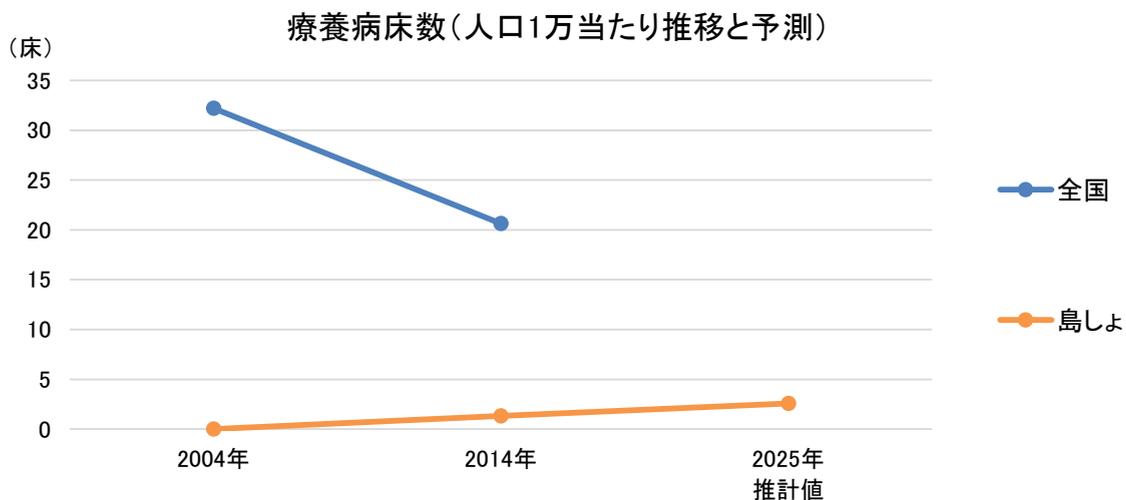
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が116床(人口1万人当たり40(全国平均84)偏差値35)であったが、2014年に110床(人口1万人当たり41(全国平均79)偏差値36)と、6床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には103床(2025年の推計人口1万人当たり44)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が0床(75歳以上1000人当たり0(全国平均32)偏差値32)であったが、2014年に6床(75歳以上1000人当たり1(全国平均21)偏差値33)と、6床の増加、率にして100%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には13床(2025年の推計75歳以上1000人当たり3)になることが予想される。





## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。